

# KENWOOD NEW ALLORA

コンパクト オーディオ

## XT-5MD

### 取扱説明書

お買い上げいただきまして、  
ありがとうございました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、  
使用を開始する前に必ず、この取扱説明書  
の「安全編」をお読みになり、十分にご理  
解ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読みくだ  
さるよう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要  
になったときにくり返してお読みください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国  
で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

Mini  
Disc



# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)

B60-3747-10 02 CH AP (J)  
99/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 98/12 11 10 9 8 7 6 5

安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) ..... 4

準備編

音を出す前に

はじめに ..... 8

本機の特長 ..... 8

接続のしかた ..... 9

各部のなまえ ..... 13

CDプレーヤー・レシーバー部 ..... 13

表示部(CDプレーヤー・レシーバー部) ..... 14

MDレコーダー部 ..... 15

表示部(MDレコーダー部) ..... 16

リモコン部 ..... 17

リモコンの使いかた ..... 18

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

MULTI CONTROL つまみの使いかた ..... 19

基本的な使いかた ..... 20

CDを聴く ..... 22

MDを聴く ..... 26

MDの聴きたい曲をタイトルで探す  
(MDタイトルサーチ) ..... 28

MDを連続して再生する(リレー再生) ..... 30

MDのディスク交換時間を短くして再生する  
(SEAMLESS再生) ..... 31

放送を聴く ..... 32

放送局をオートプリセットする ..... 34

放送局名リスト ..... 35

MDに録音する ..... 36

DIGITAL/ANALOGキーの使いかた ..... 38

DIGITAL AUXモニター機能について ..... 39

REC MODEキーの使いかた ..... 39

MDをディスクごとコピーする、いい曲があれば  
その曲だけコピーする(ダビング) ..... 43

応用編

楽しさが広がります

CDやMDのいろいろな再生 ..... 44

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) ..... 44

繰り返し聴く(リピート再生) ..... 47

ランダム再生を楽しむ ..... 50

便利な録音あれこれ ..... 52

3枚のCD、1枚のMDをワンタッチで録音する  
(ワンタッチエディット全曲録音) ..... 54

いい曲があれば、その曲だけ録音する  
(ワンタッチエディット1曲録音) ..... 56

CDから2枚のMDへ同時に録音する  
(ツイン・ワンタッチエディット全曲録音) ..... 58

複数枚のCDの1曲目だけを録音する  
(BEST HITS録音) ..... 59

1枚、または複数枚のCDを録音する(CD→MD)  
(プログラム録音) ..... 61

1枚、または複数枚のCDを録音する(CD→TAPE)  
(プログラム録音) ..... 62

編集した内容を取り消す(プログラム録音) ..... 63

テープの折り返してフェードアウト/フェードイン  
する(CD→TAPEのみ)(フェード編集録音) ..... 64

MDの編集機能 ..... 65

編集機能のタイプを選ぶ ..... 65

曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE) ..... 66

曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE) ..... 68

曲を分ける(TRACK DIVIDE) ..... 70

曲をつなぐ(TRACK COMBINE) ..... 72

曲をまとめて消す(QUICK ERASE) ..... 74

1曲消す(TRACK ERASE) ..... 76

全曲消す(ALL ERASE) ..... 77

曲の一部分を消す ..... 78

ミニディスクや曲にタイトルをつける  
(変更、消去する) ..... 80

タイトルをエリア別に消去する  
(TITLE AREA ERASE) ..... 82

タイトルをコピーして、ほかのミニディスクや曲  
につける(TITLE COPY) ..... 84

編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL) ..... 86

効果的な音質調整 ..... 87

音場効果を楽しむ ..... 87

好みの音質で音楽を聴く  
(イコライザー機能) ..... 88

バランスとインプットレベルの調整 ..... 90

多彩な表示を切り換える ..... 91

応用編

楽しさが広がります

時刻合わせ ..... 93

タイマーを使う ..... 94

カンタンにタイマーを設定する  
(Operate easy To use Timer : O.T.T.) ..... 94

音楽を聴きながら眠る(SLEEP機能) ..... 95

プログラムタイマー予約 ..... 96



デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)が用意されています。イコライザーや音場効果などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。



電源をオフ状態にし、キーを押す  
押すたびに切り換わります。

- ① "DEMO ON"(実行)
- ② "DEMO OFF"(デモンストレーション解除)

●電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に働きます。デモンストレーション中にキーを押すと解除できます。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ(1本)	AM ループアンテナ(1個)	AMループアンテナスタンド (1個)	デジタルコード (1本)
スピーカーコード(2本)	リモートコントロールユ ニット(1個)	リモコン用単3乾電池 (R6/SUM-3) (2本)	

知識編

知っているとかかと便利です

知っておきましょう ..... 101

メンテナンス ..... 101

参考 ..... 101

ディスクの取り扱いかた ..... 102

故障かな?と思ったら ..... 104

定格 ..... 109

保証とアフターサービス  
(よくお読みください) ..... 111

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜き)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

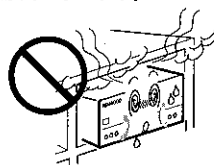


放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

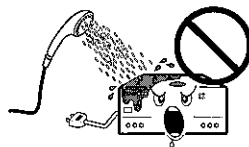


- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、おおむね、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



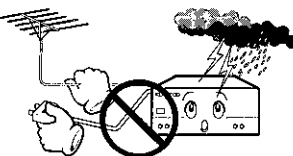
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。《火災や感電の危険があります》



雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。《感電の危険があります》



乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音が出る場合、機器の使用を中止してください。《火災や感電の危険があります》



- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く



電源コードの取扱い

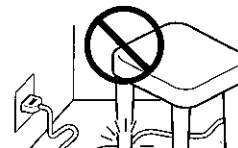
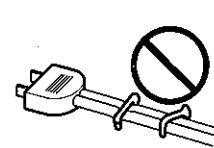
電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



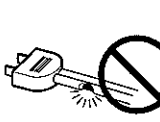
電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。



- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしなない。《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないでください。《火災や感電の危険があります》



- 修理をご依頼ください。

機器の内部に水を入れない

花瓶やコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。《火災や感電の危険があります》



水ぬれ禁止

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く



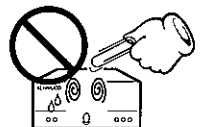
# 警告

安全上の注意

XT-SMD (J)


**機器の内部に異物を入れない**  
内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。  
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



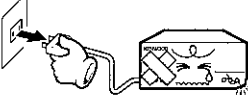
**電池を放置しない**  
電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。  
《電池を飲み込むおそれがあります》

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。




**落下した機器は使わない**  
落としたり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



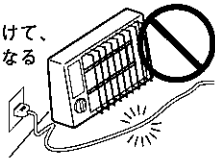
**ケースを絶対に開けないでください**  
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。  
《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご相談ください。

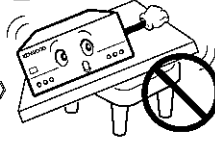


# 注意

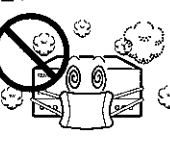
**電源コードを熱器具に近付けない**  
電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。  
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



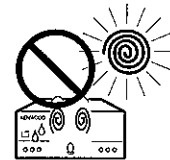
**不安定な場所には置かない**  
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》




**湿気やほこりのある場所に置かない**  
油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。  
《火災や感電の原因になることがあります》



**温度の高い場所には置かない**  
窓を開けきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

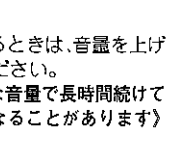


**長期間使用しないときは**  
長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



**音量に気をつけて**  
はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。  
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。  
《耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

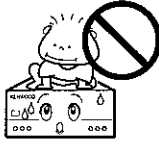


# 注意


安全上の注意

XT-SMD (J)

**機器に乗らない**  
お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。  
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》




**指をはさまない**  
お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。  
《けがの原因になることがあります》




**指定以外のコードを使わない**  
関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。  
《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》


- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。




**電池の取扱い**  
電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。




- 極性表示(プラス "+"とマイナス "-")の向きに注意し、表示通りに入れてください。




- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。




- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



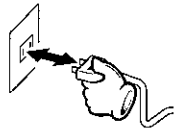
**電源プラグは清潔に**  
1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。  
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



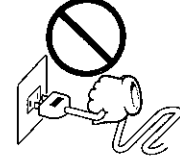
**お手入れの際は**  
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》



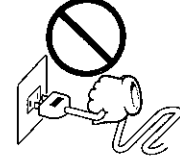
**電源プラグの抜き差しは**  
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
《感電の原因になることがあります》



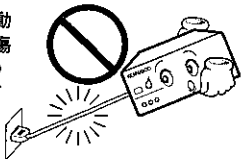
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



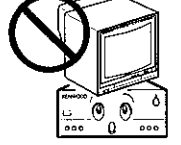
コードを引っ張らないでください。  
《コードの部分引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



**機器を移動させる際は**  
移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)をはずしてください。  
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



**指定機器以外のものを乗せない**  
機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。  
《乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



きれいにしましょう



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。  
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

安全

## 本機の特長

### 3枚チェンジャー2対(計6枚)のMDレコーダーを標準装備

デジタルならではの高音質を実現する3枚チェンジャー2対(計6枚)のMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーはもちろん、MDからMDへのダビングもカンタンにできます。1枚のMDからもう1枚のMDへ連続して再生するリレー再生機能、同様に連続して録音できるリレー録音機能、同時に2枚のMDに同じソースを録音するダブルレック機能も装備しています。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ替えなど、多彩な機能が自慢です。

### サンプリングレートコンバーター搭載

本機には各種デジタルソース(32kHz、44.1kHz、48kHz)に対応した、サンプリングレートコンバーターを搭載しています。

### CDのテキスト情報表示機能(CD-TEXT 対応)

CDに収録された各種のテキスト情報(ディスクタイトル、曲名)を表示することができます。(文字の種類によっては表示されないことがあります。)

### エリア別FM放送局名自動表示機能

都道府県を登録すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に設定します。FM放送を受信しているときには、表示部に放送局名が表示されます。

### 3D SURROUND

3次元的な音響空間を造り出すシステムです。奥行き感や音場の広さなどが明らかに向上し、リスニングエリアも広がります。

### 便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能をたくさん用意しました。カセットデッキ(別売)\*と接続することで、他のソースからテープへの編集録音もできます。

- ワンタッチエディット録音 : CD(3枚)またはMD(1枚)の全曲またはお好きな曲を、ワンタッチでMDまたはテープ(別売カセットデッキと接続時のみ)への録音ができます。
- ツイン・ワンタッチエディット録音 : CD(1枚)の全曲またはお好きな曲を、ワンタッチでMD2枚への同時録音ができます。CDを3枚、MDを6枚までセットしておけば、CD3枚の再生時間で、連続してCD3枚をMD2枚ずつにコピーします。
- ベストヒッツ録音 : シングルCDなどの1曲目だけを次々に録音していく機能です。録音中でも他の2枚のCDを取り替えることができるので、MDまたはテープ(別売カセットデッキと接続時のみ)がいっぱいになるまで続けて録音できます。
- プログラム録音 : 3枚のCDの中から好きな曲を好きな順に順番でMDまたはテープ(別売カセットデッキと接続時のみ)に録音することができます。
- フェード編集録音 : CD1枚を1曲目から順に録音します。その際、テープの折り返しにかかった曲はフェードアウトし、裏面はその曲の途中からフェードインします。(CD→TAPEのみ)(別売カセットデッキと接続時のみ)

### 便利なタイマー機能

- 2つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。
- AIタイマー機能 : タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、予め決められた音量まで上がります。
- O.T.T.機能 : 時刻をセットするだけのカンタンな操作で、1回限り1時間だけのタイマー再生が設定できます。
- スリープ機能 : 設定した時間を過ぎると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。

\*XT-5MD対応の別売カセットデッキの機種名などの詳細については、もよりの営業所、もしくはサービス・センターまでお問い合わせください。

XT-5MD (J)

本体と付属品、または別売品との接続方法です。図をよくご覧になり、正しく図のように接続してください。

### 注意 接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行なってください。

### マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら」を参照してマイコンをリセットしてください。



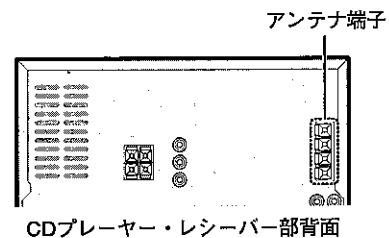
1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
3. システムコントロールコードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜きます。
4. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
5. セットの前面は揃えてください。
6. スピーカーコードの十と一は絶対にショートさせないでください。
7. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

## アンテナの接続

### 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

XT-5MD (J)



CDプレーヤー・レーザー部背面



## 付属アンテナの接続

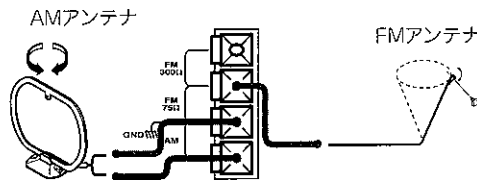
### FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。

### AMループアンテナ

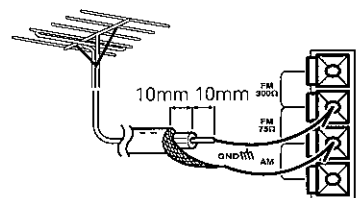
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



## 別売FM屋外アンテナの接続

### 別売FM屋外アンテナ

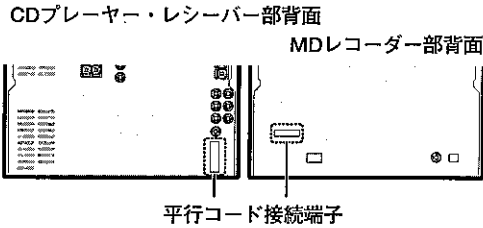
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。



準備編

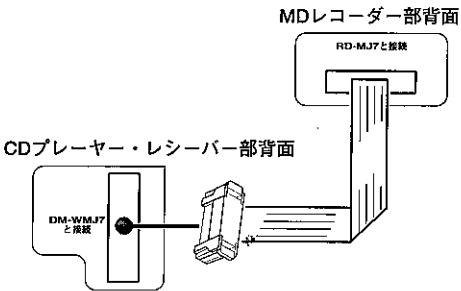
準備編

### システムの接続



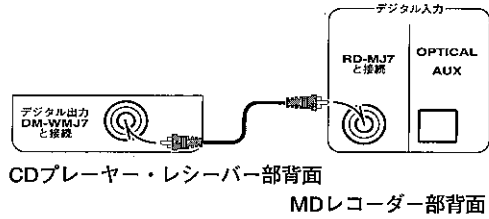
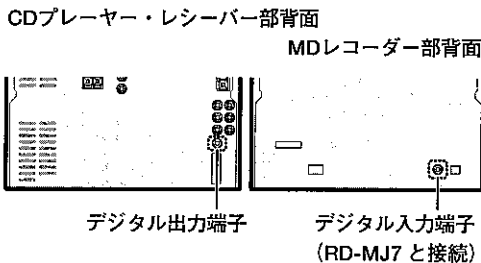
#### 平行コードの接続について

- 平行コードはカチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- 平行コードの白線を、上側にして接続してください。
- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらかまっすくに引き抜きます。



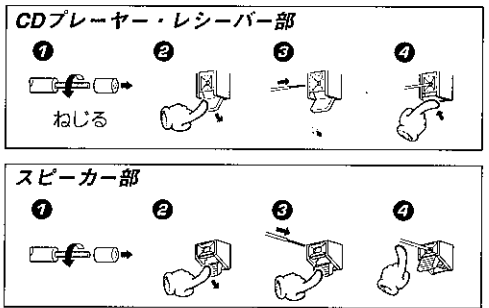
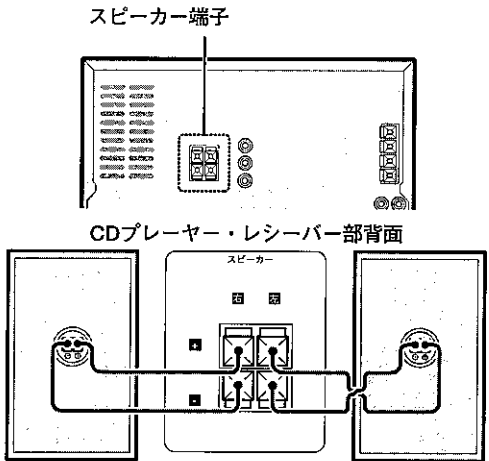
### デジタルコードの接続

CDプレーヤー部とMDレコーダー部のデジタル録音用の接続方法です。この接続を済ませないと、CDプレーヤーからMDレコーダーにデジタル録音できません。MDレコーダー部の接続は必ず、図のように"RD-MJ7と接続"に接続してください。

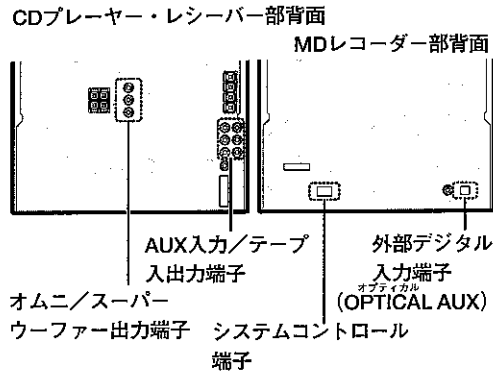


### スピーカーの接続

付属のスピーカーコードを使って、本体とスピーカーを十と十、一と一を正しく接続します。



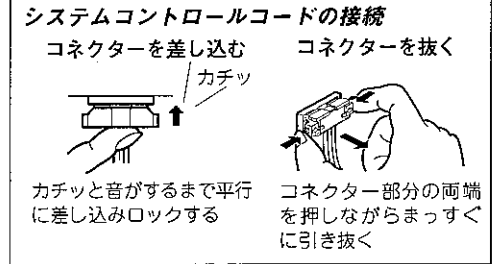
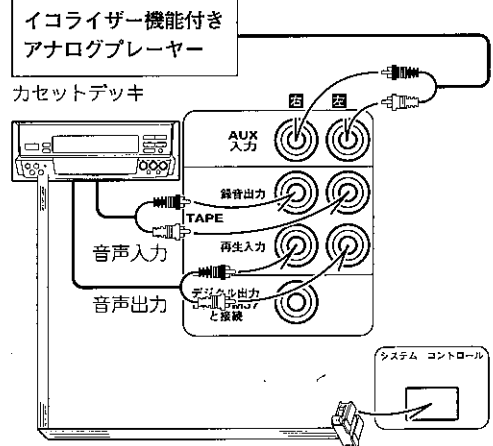
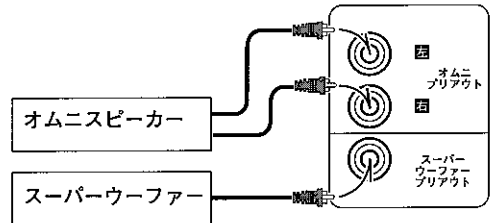
### 別売機器の接続



#### アナログ機器の接続

**オムニスピーカー (OMNI-A5) (別売)**  
音場の広がりを出します。自由なレイアウトを楽しめます。

**スーパーウーファー (SW-05) (別売)**  
重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。



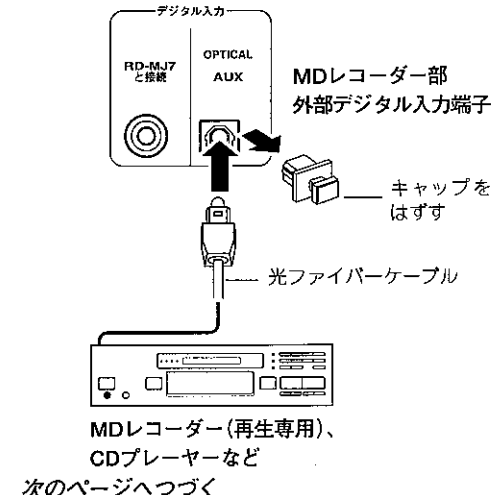
#### 外部デジタル機器の接続

外部デジタル機器(別売)との接続方法です。外部デジタル機器(別売)とMDレコーダー部の接続は必ず、図のように"OPTICAL AUX"に接続してください。

#### 光ファイバーケーブルの接続について

- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで平行に差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

保護キャップをはずして使います。(キャップの紛失にご注意ください。)



MDレコーダー(再生専用)、CDプレーヤーなど  
次のページへつづく

## サイバタイトラーの接続

MDのタイトル入力がJIS規格配列のキーボードにより、簡単に入力できます。また、入力した文字をプリントアウトして、ケースに貼ることにより、オリジナルソフトを作ることができます。

## サイバタイトラー(別売)使用上のご注意

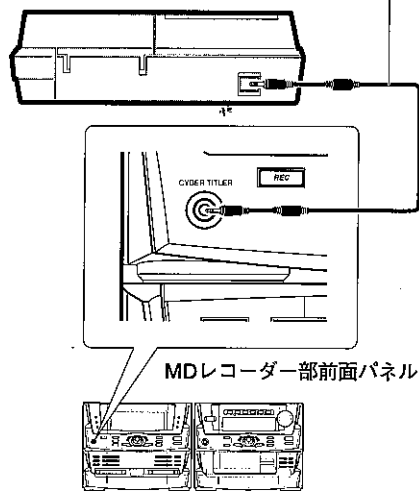
CDプレーヤー・レシーバー部(RD-MJ7)の上に直接、サイバタイトラーCT-H90(別売)を乗せてご使用になると、放熱の妨げとなります。他の場所に置いてください。

## サイバタイトラー(別売)との接続ケーブルについて

サイバタイトラー(別売)との接続には、必ずサイバタイトラー(別売)付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものをご使用になると正しく動作しません。また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器へ電波障害を与えることがあります。

CT-H90専用通信ケーブル(CT-H90に付属)

CT-H90



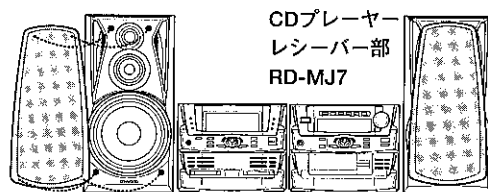
MDレコーダー部前面パネル

## システムの置きかた

本システムの置きかたです。図をよくご覧になり、正しく図のように置いてください。

## ⚠ 注意 設置のご注意

過熱による火災の原因となりますので、セットの置き方は図の通り行ってください。

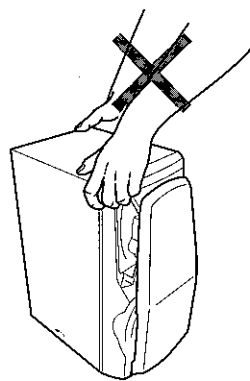


スピーカー部 MDレコーダー部 スピーカー部  
 LS-J7(L) DM-WMJ7 LS-J7(R)  
 左チャンネル 右チャンネル

## ⚠ 注意 スピーカー取り扱い上のご注意

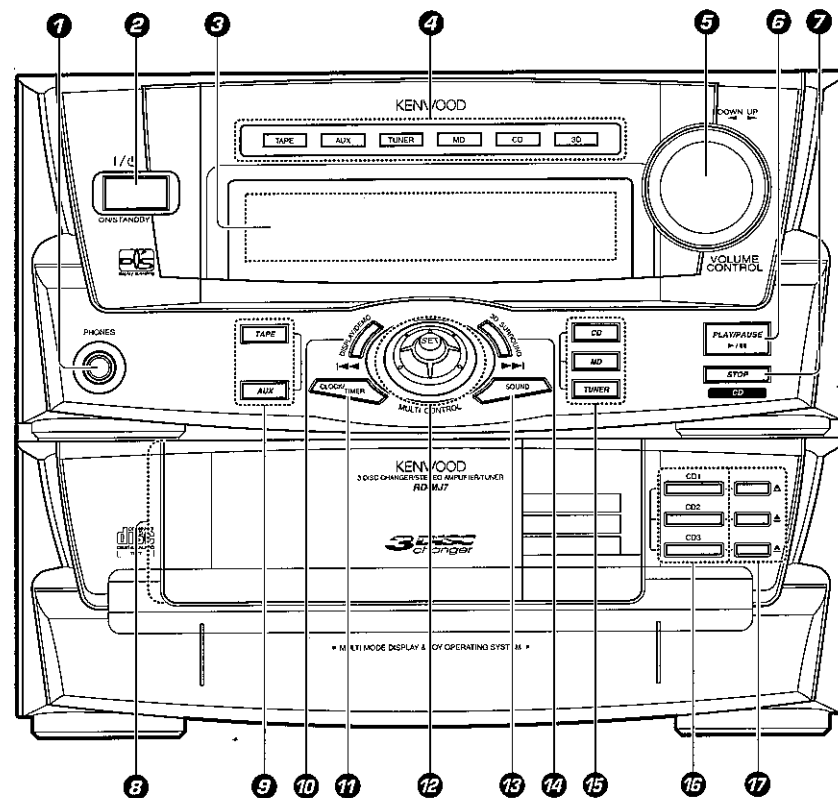
本システム付属スピーカーを包装箱から取り出すときや移動するとき、下図のようにスピーカーのパネルまたはサラネットに手をかけて持たないでください。

このような持ち方をされると、パネルやサラネットが破損する場合があります。



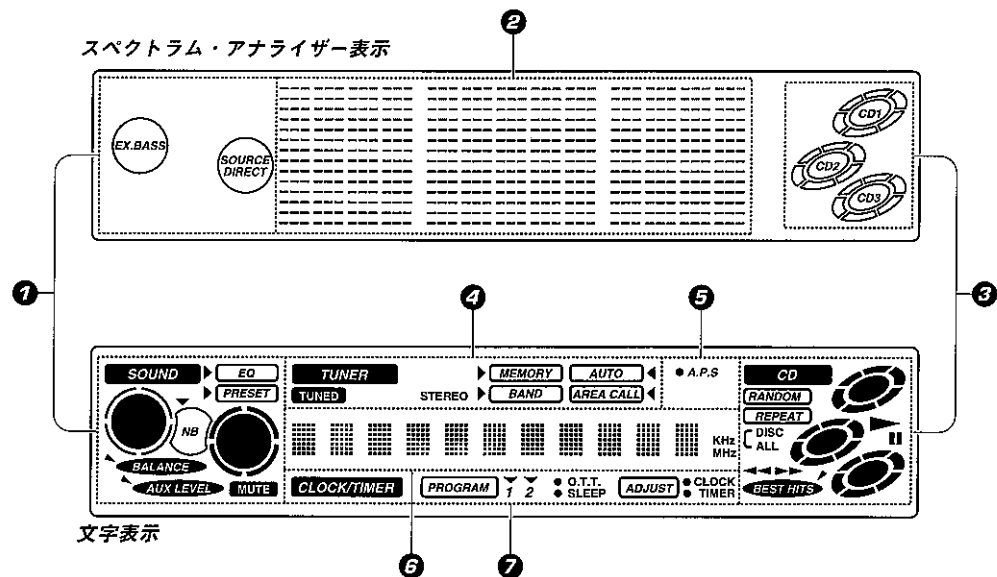
## 各部のなまえ

## CDプレーヤー・レシーバー部



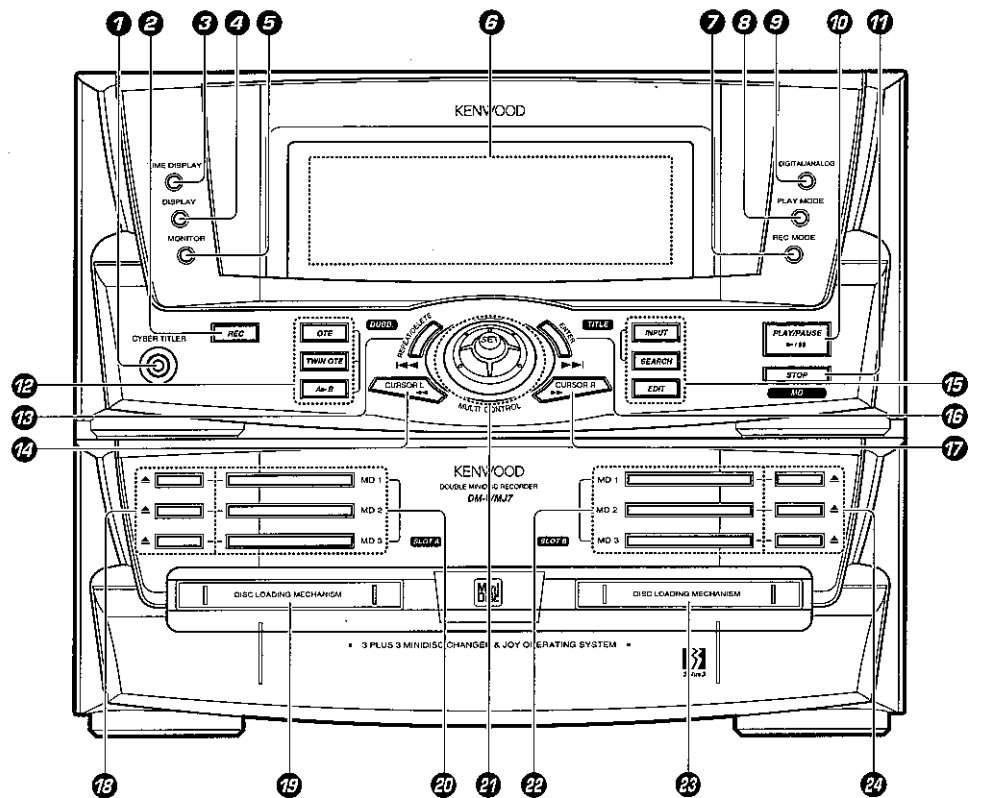
- |                              |      |                                  |           |
|------------------------------|------|----------------------------------|-----------|
| ① PHONES端子                   | - 20 | ⑩ ディスプレイ                         | - 91      |
| ② ON/STANDBY(I/O)キー          | - 20 | ⑪ DISPLAY/DEMOキー                 | - 91      |
| ③ 表示部                        | - 14 | ⑫ CLOCK/TIMERキー                  | - 21 - 93 |
| ④ 入力切換、3Dインジケータ              | - 20 | ⑬ MULTI CONTROLつまみ/SETキー         | - 19      |
| ⑤ VOLUME CONTROLつまみ          | - 20 | ⑭ SOUNDキー                        | - 21 - 88 |
| ⑥ PLAY/PAUSE(再生/一時停止、▶/  )キー | - 22 | ⑮ 3D SURROUNDキー                  | - 87      |
| ⑦ STOP(停止)キー                 | - 23 | ⑯ 内部入力切換キー(CD、MD、TUNER)          | - 20      |
| ⑧ ディスクトレイ                    | - 22 | ⑰ ディスクセクター(CD1~CD3)キー/ディスクインジケータ | - 23      |
| ⑨ 外部入力切換キー(TAPE、AUX)         | - 20 | ⑱ CD1~CD3(▲)キー                   | - 22      |

### 表示部 (CDプレーヤー・レシーバー部)



- ① イコライザー／音質 (サウンド) 関係表示  
 エクストラ バス EX.BASS 選択表示 - [21]  
 ソース ダイレクト SOURCE DIRECT 選択表示 - [21]  
 イコライザー EQ 選択表示 - [88]  
 プリセット PRESET 選択表示 - [89]  
 NB 選択表示 - [21]  
 バランス BALANCE 選択表示 - [90]  
 レベル AUX LEVEL 選択表示 - [90]  
 ミュート MUTE 選択表示 - [21]
- ② スペクトラム・アナライザー／イコライザーカーブ表示部
- ③ CDプレーヤー (CD) 関係表示  
 CD1、CD2、CD3 走行表示  
 ランダム RANDOM 選択表示 - [50]  
 リピート REPEAT 選択表示 - [47]  
 ディスク DISC 表示 (リピート、ランダム再生用) - [50]  
 オール ALL 表示 (リピート、ランダム再生用) - [51]  
 ▶ (再生) 表示  
 || (再生一時停止) 表示
- ▶▶ (早送り) 表示  
 ◀◀ (早戻し) 表示  
 BEST HITS 選択表示 - [59]
- ④ チューナー (TUNER) 関係表示  
 チューンド TUNED 表示 - [33]  
 ステレオ STEREO 表示 - [33]  
 メモリー MEMORY 選択表示 - [33]  
 バンド BAND 選択表示 - [32]  
 オート AUTO 選択表示 - [32]  
 エリア コール AREA CALL 選択表示 - [34]  
 A.P.S. 選択表示 - [21]
- ⑤ 文字情報、周波数 (kHz、MHz) 表示部
- ⑥ 時計／タイマー (CLOCK/TIMER) 関係表示  
 プログラム PROGRAM1 選択表示 - [96]  
 プログラム PROGRAM2 選択表示 - [96]  
 O.T.T. 選択表示 - [94]  
 スリープ SLEEP 選択表示 - [95]  
 アジャスト ADJUST/CLOCK 選択表示 - [93]  
 タイマー ADJUST/TIMER 選択表示 - [96]

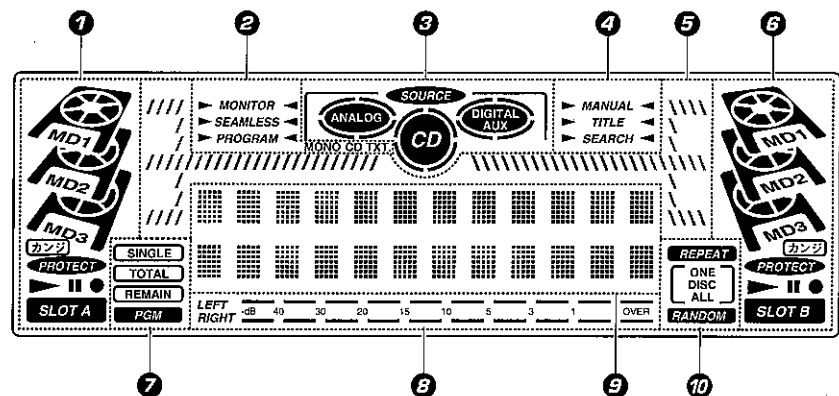
### MDレコーダー部



- ① CYBER TITLER 端子  
 サイバー タイトラー  
 レック スタイル  
 - [12]
- ② REC (録音) キー  
 タイム ディスプレイ  
 - [37]
- ③ TIME DISPLAY キー  
 ディスプレイ  
 - [29]
- ④ DISPLAY キー  
 タイトルの登録されたミニディスクの再生中に押すと、タイトルの表示またはスクロールをします。  
 - [39]
- ⑤ MONITOR キー  
 モニター  
 - [39]
- ⑥ 表示部  
 レック モード  
 - [16]
- ⑦ REC MODE キー  
 プレイ モード  
 - [39]
- ⑧ PLAY MODE キー  
 フォロ  
 - [30]
- ⑨ DIGITAL/ANALOG キー  
 プレイ ボース  
 - [38]
- ⑩ PLAY/PAUSE (再生／一時停止、▶/||) キー  
 プレイ ボース  
 - [27]
- ⑪ STOP (停止) キー  
 ストップ  
 - [27]
- ⑫ ダビング関連操作キー  
 OTE キー／インジケータ  
 ツイン OTE キー／インジケータ  
 A▶B キー／インジケータ  
 REPEAT/DELETE キー  
 - [54]  
 - [58]  
 - [43]  
 - [47] - [81]
- ⑬ CURSOR L (◀) キー  
 カーソル  
 - [81]
- ⑭ 編集関連操作キー  
 INPUT キー  
 SEARCH キー  
 EDIT キー  
 ENTER キー  
 CURSOR R (▶) キー  
 スロット A MD1~MD3 (▲) キー  
 - [80]  
 - [28]  
 - [66]  
 - [66]  
 - [81]
- ⑮ スロット A ミニディスク挿入部  
 スロット A ディスクセレクター (MD1~MD3) キー  
 ディスクインジケータ  
 MULTI CONTROL つまみ / SET キー  
 スロット B ディスクセレクター (MD1~MD3) キー  
 ディスクインジケータ  
 スロット B ミニディスク挿入部  
 スロット B MD1~MD3 (▲) キー  
 - [27]  
 - [26]  
 - [26]  
 - [19]  
 - [27]  
 - [26]  
 - [27]



### 表示部 (MDレコーダー部)



#### ① SLOT A状態表示

MD1、MD2、MD3走行表示

この表示のMD1～MD3の文字の点滅中は、ミニディスクのデータ情報をMDレコーダー内部で処理しています。点滅中は、電源コードを抜かないでください。また、点滅中は、タイトル入力、タイトル編集、タイトルサーチ、サイバータイ틀ー(別売)とのMD LINK機能ができない場合があります。

カンジ表示 - [83]

漢字エリアにタイトルが登録されたミニディスクがMD1～MD3キーで選ばれると、点灯します。

PROTECT表示 - [102]

▶(再生)表示

|| (一時停止)表示

●(録音)表示

#### ② プログラム、録音関係設定状態表示

MONITOR表示 - [39]

SEAMLESS表示 - [42]

PROGRAM表示 - [44]

MONO表示 - [40]

CD TXT.表示 - [41]

#### ③ 録音(モニター)ソース(SOURCE)表示

ANALOG表示

CD表示

DIGITAL AUX表示

#### ④ タイトル、トラック番号記録設定状態表示

MANUAL表示 - [40]

TITLE表示 - [28]

SEARCH表示 - [28]

#### ⑤ ダビング、録音信号経路表示

#### ⑥ SLOT B状態表示

MD1、MD2、MD3走行表示

この表示のMD1～MD3の文字の点滅中は、ミニディスクのデータ情報をMDレコーダー内部で処理しています。点滅中は、電源コードを抜かないでください。また、点滅中は、タイトル入力、タイトル編集、タイトルサーチ、サイバータイ틀ー(別売)とのMD LINK機能ができない場合があります。

カンジ表示

漢字エリアにタイトルが登録されたミニディスクがMD1～MD3キーで選ばれると、点灯します。

PROTECT表示 - [102]

▶(再生)表示

|| (一時停止)表示

●(録音)表示

#### ⑦ 録音、再生時間関係表示

SINGLE表示 - [29]

TOTAL表示 - [29]

REMAIN表示 - [29]

PGM表示 - [44]

#### ⑧ ピークレベルインジケータ

#### ⑨ 文字情報表示部

REPEAT表示 - [47]

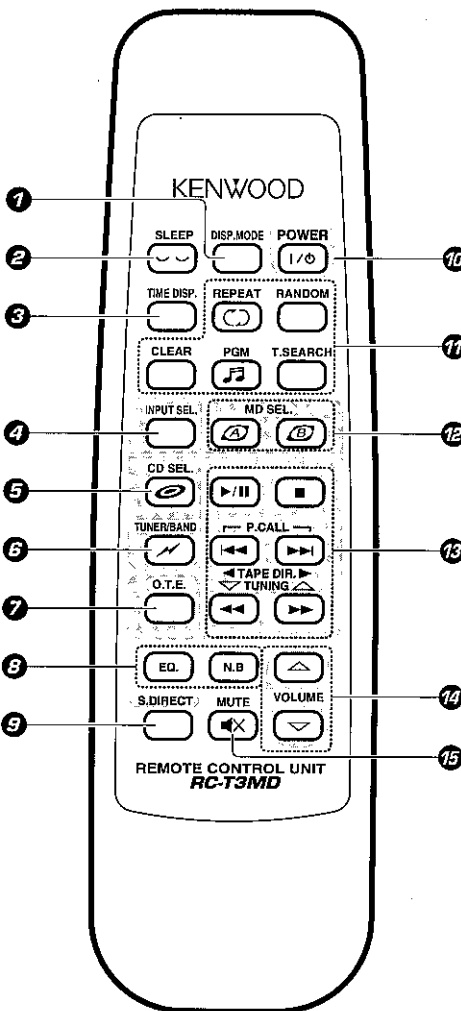
ONE表示 - [47]

DISC表示 - [48]

ALL表示 - [48]

RANDOM表示 - [50]

### リモコン部

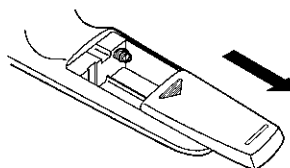


本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ動きをします。

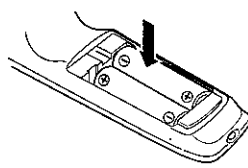
- ① DISP. MODEキー - [91]
- ② SLEEP(スリープ)キー - [95]
- ③ TIME DISP.キー - [24] - [29]
- ④ INPUT SEL.キー - [20]
- ⑤ CD SEL.キー - [23]
- ⑥ TUNER/BANDキー - [32]
- ⑦ O.T.E.キー - [54]
- ⑧ イコライザー関連キー
- EQキー - [88]
- N.B.キー - [21]
- ⑨ S.DIRECTキー - [21]
- ⑩ POWER(1/0)キー - [20]
- ⑪ CD、MD 特殊再生関連キー
- REPEAT(リピート)キー(CD、MD) - [47]
- RANDOMキー(CD、MD) - [50]
- CLEAR(CD、MD) - [45]
- PGM(プログラム)キー(CD、MD) - [44]
- T.SEARCHキー(MD) - [28]
- ⑫ MD SEL.キー - [26]
- ⑬ CD、MD、TUNER、TAPE操作関連キー
- 再生/一時停止(▶/||)キー - [22] - [27]
- 停止(■)キー - [23] - [27]
- P.CALL/スキップ(◀▶)キー/TAPE DIR.キー - [23] - [27] - [33]
- TUNING(△▽) / 早送り、早戻し(◀▶) - [23] - [27] - [33]
- ⑭ VOLUME(ボリューム)キー - [20]
- ⑮ MUTE(ミュート)キー - [21]

## 電池の入れかた

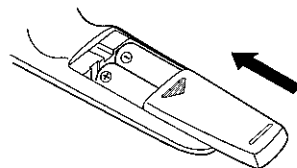
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



- 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

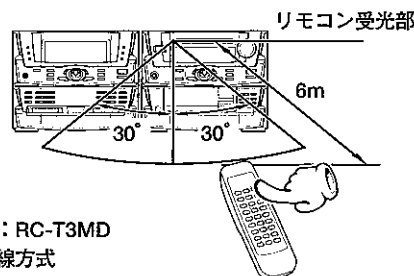
## 操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのON/STANBY (I/O) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフ(スタンバイ)にするときは、再度ON/STANBY (I/O) キーを押します。

時刻表示のみ点灯するスタンバイ状態になります。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。



型名：RC-T3MD  
赤外線方式

操作範囲のめやす

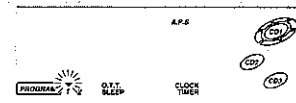
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

本機では、MULTI CONTROL つまみを使用することにより、多くの機能を簡単に操作(設定)できます。MULTI CONTROL つまみは、右図のようにCDプレーヤー・レシーバー部では上下左右斜め8方向に、MDレコーダー部では上下左右4方向に操作できます。一つの操作が終わり、その操作を確定する場合は、図の灰色の矢印のように上からSETキーを押して下さい。

MULTI CONTROL つまみの使いかたには、次の二通りがあります。

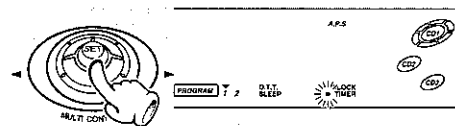
表示部から必要な機能を選択する場合  
(CDプレーヤー・レシーバー部のみ)

## 1 表示部の選択したい機能を表示させる

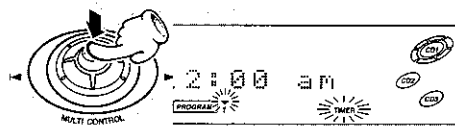


- 選択項目を表示させる方法については、本文の説明をお読み下さい。

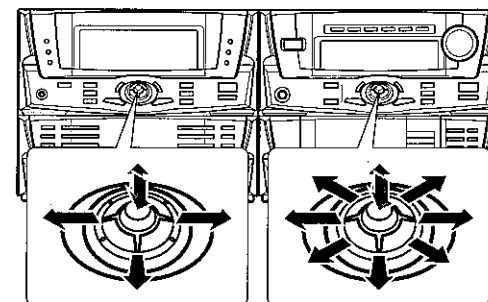
## 2 8秒以内に表示部の点灯している中から必要な機能を MULTI CONTROL つまみで選び、点滅にかえる



## 3 5秒以内にSETキーを押して、確定する



## 4 5秒以内に手順②、③と同様に MULTI CONTROL つまみを使って、必要な設定をする



## CD、MD、TUNERなどの操作する場合

## 1 AUX、TAPE 以外の聴きたいものを選ぶ

- カセットデッキ(別売)などのケンウッド製品がシステムコントロール接続されていても MULTI CONTROL つまみで操作することはできません。

## 2 MULTI CONTROL つまみで操作する

CDプレーヤー・レシーバー部のMULTI CONTROL 操作

入力切換がCDの場合

- 上方向の操作(↑)：早送り(▶▶)
- 下方向の操作(↓)：早戻し(◀◀)
- 右方向の操作(→)：曲の飛び越し(▶▶)
- 左方向の操作(←)：曲の飛び越し(◀◀)

入力切換がTUNERの場合

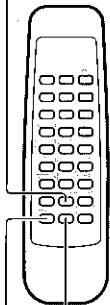
- 上方向の操作(↑)：周波数を上げる(▶▶)
- 下方向の操作(↓)：周波数を下げる(◀◀)
- 右方向の操作(→)：記憶した放送局を受信する(▶▶)
- 左方向の操作(←)：記憶した放送局を受信する(◀◀)

MDレコーダー部のMULTI CONTROL 操作

入力切換がMDの場合

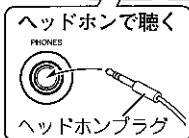
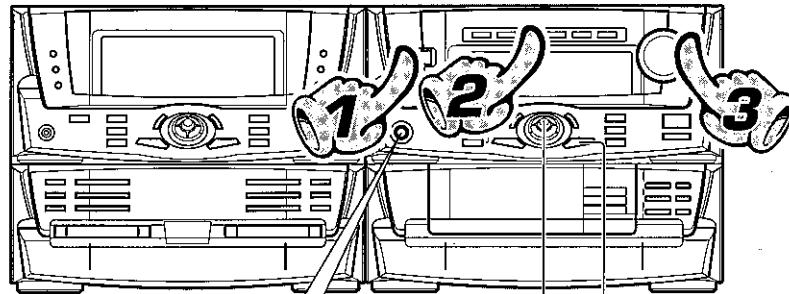
- 上方向の操作(↑)：SLOT A 側への切換
- 下方向の操作(↓)：SLOT B 側への切換
- 右方向の操作(→)：曲の飛び越し(▶▶)
- 左方向の操作(←)：曲の飛び越し(◀◀)

重低音を補正する



一時的に音を消す

ピュアな音を楽しむ



ヘッドホンで聴く

ピュアな音を楽しむ  
重低音を補正する  
低音と高音を強調する

ON/STANDBY (I/O) キーを押す

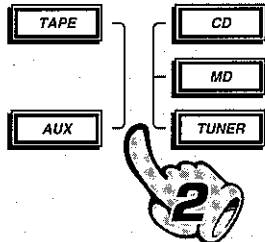


1. 電源をオンにする (オフ (スタンバイ) にする)

電源がオンのときに ON/STANDBY (I/O) キーを押すとオフ (スタンバイ) になります。

- CDプレーヤー・レシーバー部 (RD-MJ7) の ON/STANDBY (I/O) キーだけで、基本システムの電源オン/オフ (スタンバイ) ができます。
- 電源がオフ (スタンバイ) のときは表示部が暗くなります。(DIMMER機能)

2. 聴きたいものを選ぶ



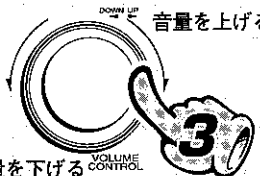
- CD - 22
- MD - 26
- TUNER - 32



CDを選んだとき

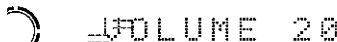
- リモコンを使うときは、INPUT SEL. キーを繰り返し押し続けて選んでください。
- CD、MDを選んだとき、すでにディスクが入っている場合は、再生が始まります。
- テープが聴きたい場合は、カセットデッキ (別売) 付属の取扱説明書をお読みください。

3. 音量を調節する



音量を上げる

音量の表示



音量を下げる

- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。

一時的に音を消す (リモコンのみ)



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

- 1 ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む
  - 2 スピーカーから音が出なくなります。
  - 3 音量を調節する
- プラグの抜き差しをするときは、先に音量を絞ってください。

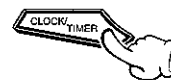
スタンバイ・モードについて

本機では電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源オフ (スタンバイ) 時に時刻表示が点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といえます。時刻表示が点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。

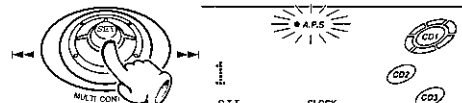
AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ (スタンバイ) になる機能です。この機能は、次の操作で、使う/使わないを選べます。

1. CLOCK/TIMERキーを押す



2. MULTI CONTROLつまみで表示部から "A.P.S" を選ぶ



3. 5秒以内にSETキーを押して、確定する

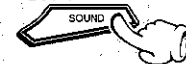
4. MULTI CONTROLつまみで設定を選ぶ; 左右方向の操作 (←→)

- ① "APS ON"... オートパワーセーブを使う
- ② "APS OFF"... オートパワーセーブを使わない

● 入力切替がMDでDIGITAL AUXモニターの場合は働きません。TUNER,AUXの時は、音量の表示がゼロの時に限り働きます。

- 低音と高音を強調する (EX.BASS) (本体のみ) 工場出荷時はオンの状態になっています。
- 重低音を補正する (N.B.: Natural Bass circuit) ナチュラル ベース サーキット
- ピュアな音を楽しむ (SOURCE DIRECT) ソース ダイレクト
- SOURCE DIRECTをオンにすると、音質が向上します。

1. SOUNDキーを押す



2. MULTI CONTROLつまみで表示部から "EX.BASS", "NB", "SOURCE DIRECT"のうち、いずれかを選ぶ



以下の表示の中から選べます。

- ① EQ
- ② PRESET
- ③ EX.BASS.....低音と高音を強調する
- ④ NB.....重低音を補正する
- ⑤ SOURCE DIRECT...ピュアな音を楽しむ
- ⑥ BALANCE
- ⑦ AUX LEVEL (入力切替がAUX、TAPE時のみ)

3. 5秒以内にSETキーを押して確定する



4. 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで目的の機能の設定を選ぶ; 左右方向の操作 (←→)

- 目的の機能がEX.BASSの場合
  - ① "EX.BASS ON".....設定
  - ② "EX.BASS OFF"....解除
- 目的の機能がNBの場合
  - ① "NB 1 ON"....音量に合わせて低音域を補正 (小音量時に有効です)
  - ② "NB 2 ON"....音量にかかわらず低音域を補正
  - ③ "NB OFF"....解除
- 目的の機能がSOURCE DIRECTの場合
  - ① "DIRECT ON".....設定
  - ② "DIRECT OFF"....解除
- SOURCE DIRECTの場合、バランス・コントロール以外の機能は、音声信号がその回路をバイパスするために使えません。

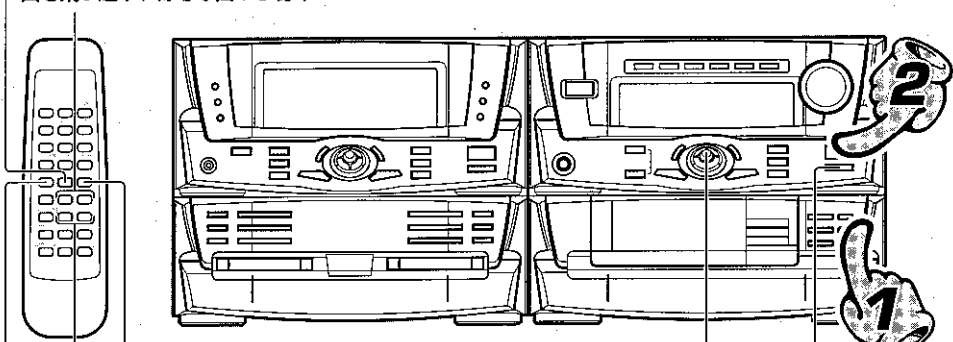
XT-5MD (J)

XT-5MD (J)

3枚のディスクを収納できます。また、再生中にも他の2枚のディスクの入れ替えができます。

一時停止する

曲を飛び越す、好きな曲から聴く



再生を止める

早送り、早戻しする

好きな曲から聴く

曲を飛び越す、早送り、早戻しする

再生を止める

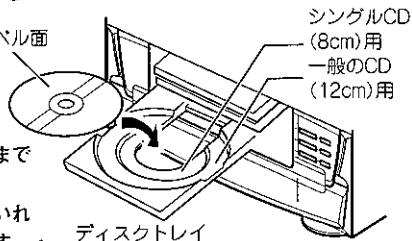
CD1  
CD2  
CD3

キーを押すとその番号のトレイが開き、もう一度押すと閉まります。トレイが開いているときに別の番号キーを押すと、自動的にトレイが閉まってから、押した番号のトレイが開きます。

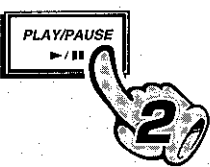
1. ディスクを入れる

- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

①～③を繰り返して、3枚までディスクを収納できます。ディスクを2枚以上重ねていれると、故障の原因になります。



シングルCD (8cm) 用  
一般のCD (12cm) 用

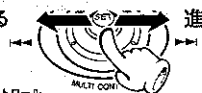


2. 再生をはじめる

**ディスク取扱上のご注意**  
ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

曲を飛び越す

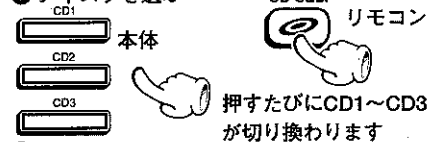
戻る 進む



- MULTI CONTROLつまみを倒した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中にMULTI CONTROLつまみを左に倒すと、その曲の最初に戻ります。

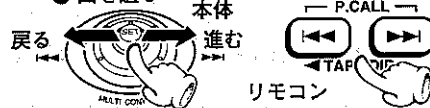
好きな曲から聴く

- ① ディスクを選ぶ

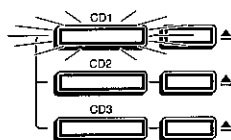


押すたびにCD1～CD3が切り換わります

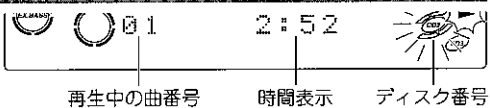
- ② 曲を選ぶ



開いたトレイの番号のインジケータが点滅します。



- 再生面には、触れないようにします。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは使用できません。



- 数秒後にCD1の、1曲目から再生します。
- 好きなディスクから聴くときは、CD1～CD3 (ディスクセレクター)キーで選んでください。

早送り・早戻しする

早戻し



早送り

- 手を離れたところから再生します。

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

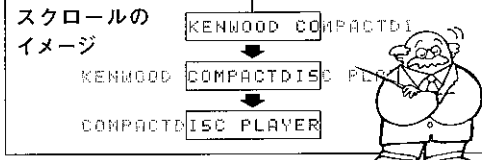
再生を止める



表示部のスクロールについて

CD-TEXTやミニディスクの場合、ディスクや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきれないことがあります。これを防ぐため、表示部の文字は右から左に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

表示される範囲(全体を表示できない)



ディスクの置きかた

ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

### CDプレーヤーの時間表示について (再生中のみ)

CDプレーヤー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。



リモコン

TIME DISP.



再生中に押す

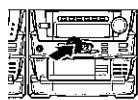
- ① 1:23 曲の経過時間
- ② -2:37 曲の残り時間
- ③ 23:45T ディスク全体の経過時間
- ④ -36:15T ディスク全体の残り時間

●プログラムモードとランダムモードは、再生中の曲の時間表示のみです。

### CDプレーヤー・レシーバー表示部の文字情報を切り換える

ディスプレイ/デモ DISPLAY/DEMOキーを使って、CDプレーヤー・レシーバー表示部の文字情報を切り換えることができます。

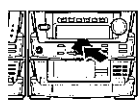
#### ① DISPLAY/DEMOキーを押す



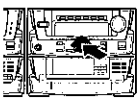
本体



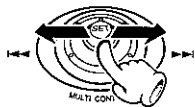
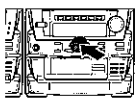
#### ② MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"DOT DISPLAY"を選ぶ



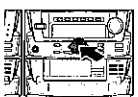
#### ③ 5秒以内にSETキーを押して確定する



#### ④ MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、好みの表示に切り換える



#### ⑤ 5秒以内にSETキーを押して確定する



マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみを左右に倒すたびに切り換わります。

- ① DOT DISPLAY ドット ディスプレイ : テキスト表示を切り換えます。
- ② SPEANA DISP スペアナ ディスプレイ : スペクトラムアナライザー表示を切り換えます。
- ③ DISP SELECT ディスプレイ セレクト : 2重表示を切り換えます。

マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみを左右に倒すたびに切り換わります。

入力切替が"CD"の場合

- ① CD TEXT テキスト : CD-TEXTディスクのテキスト表示 (CD-TEXTディスク時のみ)
- ② CD TIME タイム : PGMモード、CDの時間表示
- ③ CLOCK クロック : 時刻表示

入力切替が"チューナー"の場合

- ① ST. NAME ステーション ナーム : 受信中の放送局名表示 (放送局をオートプリセット済みのFM時のみ)
- ② FREQUENCY フリクエンシー : プリセットチャンネル、周波数の表示
- ③ CLOCK クロック : 時刻表示

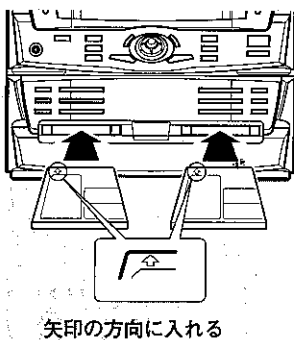
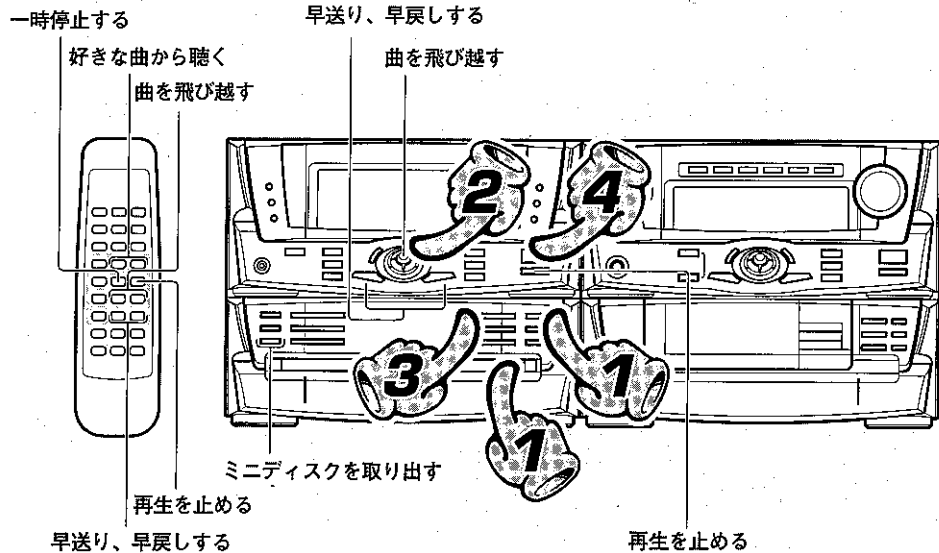
入力切替がその他の場合

- ① INPUT インプット : 入力切替の表示
- ② CLOCK クロック : 時刻表示



**注意** レーザー光源をのぞかない  
レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

ミニディスクを、イジェクトしたまま、挿入口に放置しないでください。同じスロットの他のミニディスクの録音、再生ができない場合があります。



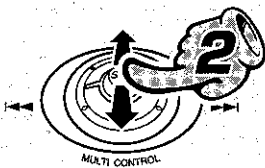
### 1. ミニディスクを入れる

- ① 入れたいスロット側のMD1~MD3(▲)キーの内、入れたい番号のキーを押す
  - ② ①で選んだSLOT側にミニディスクを入れる
- ミニディスクがセットされていることを示します
- ①~②を繰り返して、6枚までミニディスクを収納できます。ミニディスクを本機の挿入部に確実に差し込んでください。
- SLOT AまたはSLOT Bのディスクインジケーターが三つ同時に点滅しているときは、ディスクを入れないでください。

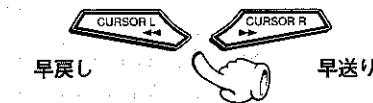


### 2. SLOT AまたはSLOT Bを選ぶ

- マルチコントロール MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)
- ① SLOT A : SLOT Aを選択
  - ② SLOT B : SLOT Bを選択
- サイバータイトラー(別売)との読み出し、書き込みも同様に切り換えます。

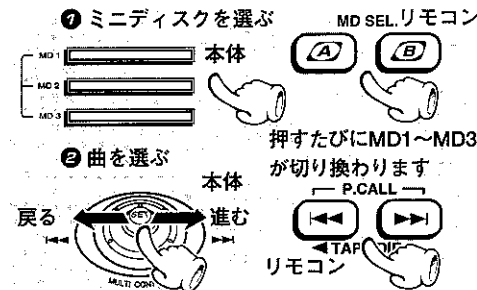


### 早送り、早戻しする



- 操作を止めた所から、再生が始まります。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。

### 好きな曲から聴く



### 曲を飛び越す



- MULTI CONTROLつまみを倒した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に左にMULTI CONTROLつまみを倒すと、その曲の最初に戻ります。

### 一時停止する

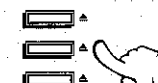


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

### 再生を止める



### ミニディスクを取り出す (本体のみ)



- ミニディスク挿入口からミニディスクを必ず取り出してください。

### 3. 再生するディスクを選ぶ

手順2.で選んだ側のSLOTに、2枚以上のミニディスクが入っているときは再生したいミニディスクを選びます。

●既に選ばれているMD1~MD3キーを押しと再生が始まります。



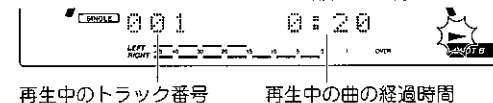
### SLOT BのMD1キーを押した場合の表示例



### 4. 再生をはじめる

リモコンで操作したい場合は、MD SEL.(A、B)キーで再生したいミニディスクを選んでください。

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。
- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGM(🎵)キーを押して消灯させてください。
- "READING"の点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。



## MDの聴きたい曲をタイトルで探す (MDタイトルサーチ)

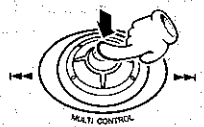
① プレイモード  
PLAY MODEキーを押す



② MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"TRACK"を選ぶ



③ SETキーを押して確定する



④ スロット Aまたはスロット BのMD1  
~MD3キーを押して、聴きたいディスクを選ぶ



⑤ SEARCHキーを押す

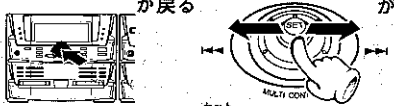


中止するときは、もう一度  
SEARCHキーを押します

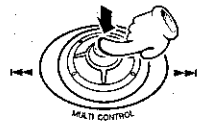
⑥ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ

(1) MULTI CONTROLつまみで  
曲名を選ぶ

トラック番号  
が戻る トラック番号  
が進む



(2) SETキーを押して確定する

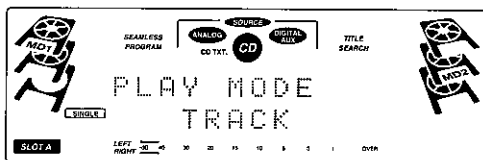


選んだ曲の再生が始まります

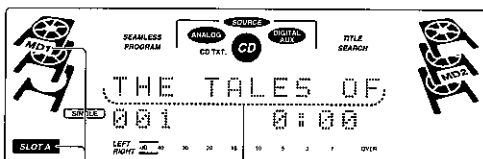
● 録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲のタイトルで探すことができます。

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

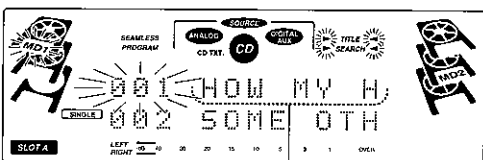
- ① "TRACK": トラックモード
- ② "SEAMLESS": シームレスモード
- ③ "PROGRAM": プログラムモード



● ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトルサーチできません。  
"表示部(MDレコーダー部)"



選ばれているディスクタイトル(ディスク名)  
スロット AのMD1が選ばれている場合点灯します

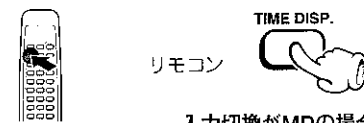


選ばれているトラックタイトル(曲名)



### MDレコーダーの時間表示について

MDレコーダー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。



入力切替がMDの場合のみ



- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されません)
- 再生専用MDでは、録音可能時間("REMAIN"点灯時)は表示できません。
- PROGRAMの停止中は、時間表示の切替はできません。

タイム ディスプレイ タイム ディスプレイ  
TIME DISP. (TIME DISPLAY)キーを押すたびに切り換わります。

停止中、再生中

① 曲の経過時間	001	0:00
② 曲の残り時間	001	-3:24
③ ミニディスクの経過時間	001	63:00
④ ミニディスクの残り時間	001	-11:00
⑤ ミニディスク全体の録音可能時間	001	R11:00

録音中

① 曲の経過時間	001	1:23
② ミニディスクの合計記録時間	001	63:00
③ ミニディスク全体の録音可能時間	001	R11:00

プログラム  
PROGRAMまたはRANDOM再生中

① 曲の経過時間	001	0:00
② の曲の残り時間	001	-3:24

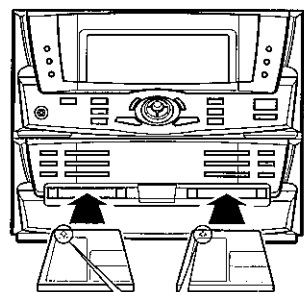
### モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

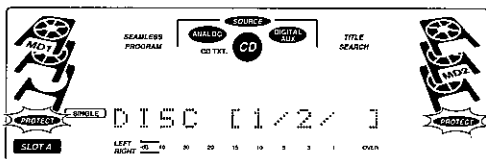
## MDを連続して再生する (リレー再生)

スロットA、またはスロットBに最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておくと、SLOT AのMD1、MD2、MD3、SLOT BのMD1、MD2、MD3の順番でセットされているミニディスクのみを再生します。

手順②で、録音用ミニディスクでは録音禁止(PROTECT)しないと、リレー再生できません。

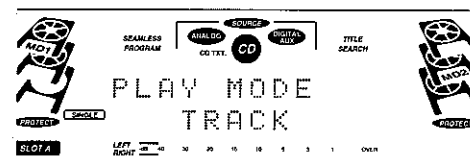


録音済みのMD、または再生専用MD  
録音済みのMD、または再生専用MD  
矢印の方向に入れる



マルチコントロール  
MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

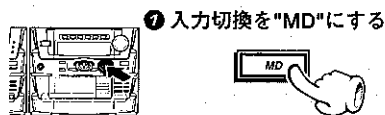
- ① "TRACK": トラックモード
- ② "SEAMLESS": シームレスモード
- ③ "PROGRAM": プログラムモード



リレー再生を止めるには



- リレー再生が終了すると、自動的に停止します。

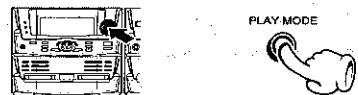


① 入力切換を"MD"にする

② 録音用ミニディスクを使う場合は、ミニディスクの誤消去防止つまみを録音禁止状態にする

③ SLOT A、またはSLOT Bに録音済み、または再生専用のミニディスクを入れる

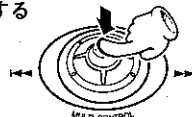
④ PLAY MODEキーを押す



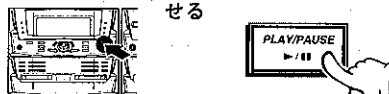
⑤ MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"TRACK"を選ぶ



⑥ 8秒以内にSETキーを押して確定する

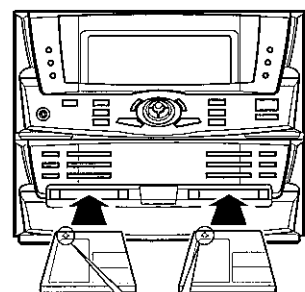


⑦ PLAY/PAUSEキーを押して、リレー再生をスタートさせる

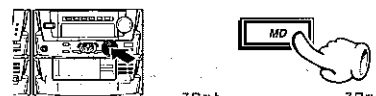


## MDのディスク交換時間を短くして再生する (SEAMLESS再生)

ミニディスクとミニディスクの交換時間をなるべく短くする機能です。SLOT AとSLOT Bの両方に最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておくと、SLOT AとSLOT Bを1枚ずつ交互にMD1~MD3の順番でセットされているミニディスクのみを再生します。ディスク間の無音部分を最小限に抑えるので、音の流れが連続再生ができます。



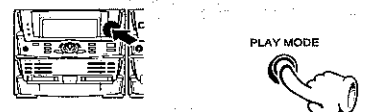
録音済みのMD、または再生専用MD  
録音済みのMD、または再生専用MD  
矢印の方向に入れる



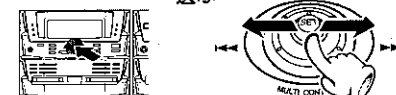
① 入力切換を"MD"にする

② SLOT A、またはSLOT Bに録音済み、または再生専用のミニディスクを入れる

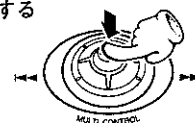
③ PLAY MODEキーを押す



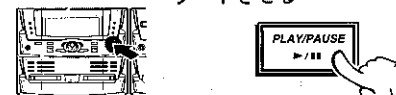
④ MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"SEAMLESS"を選ぶ



⑤ 8秒以内にSETキーを押して確定する

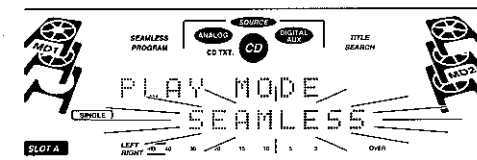


⑥ PLAY/PAUSEキーを押して、SEAMLESS再生をスタートさせる



マルチコントロール  
MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

- ① "TRACK": トラックモード
- ② "SEAMLESS": シームレスモード
- ③ "PROGRAM": プログラムモード



シームレス  
SEAMLESS再生を止めるには



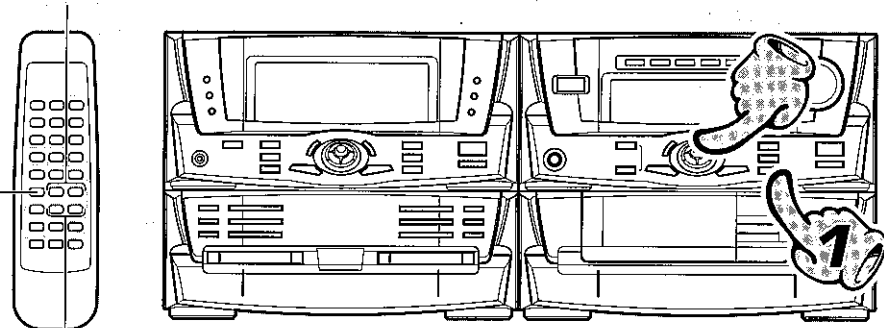
- SEAMLESS再生が終了すると、自動的に停止します。
- REPEATキーを押すと、SEAMLESS再生が繰り返されます。



放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。

3. 放送局を選ぶ

放送局を一つずつ記憶させる



3. 放送局を選ぶ

1. 放送バンドを選ぶ



1. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① "FM"
- ② "AM"



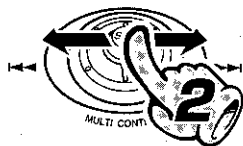
2. 選局方法を選ぶ

- ① SETキーを押す
- ② MULTI CONTROLつまみで表示部から"AUTO"を選ぶ
- ③ 5秒以内にSETキーを押して確定する
- ④ MULTI CONTROLつまみを左右に傾けて、"AUTO"または"MONO"を選ぶ
- ⑤ 5秒以内にSETキーを押して確定する

左右方向の操作(↔)

- ① "AUTO" : オート(自動)選局
- ② "MONO" : マニュアル選局

- 電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)
- 通常はAUTO(オート選局)にしておきます。



放送局を一つずつ記憶させる(プリセット)

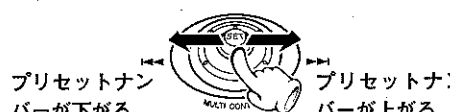
- ① 受信中にSETキーを押す



- ② 8秒以内にMULTI CONTROLつまみで表示部から"MEMORY"を選ぶ



- ③ 5秒以内にSETキーを押して確定する
- ④ 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで1~40のプリセットナンバーを選ぶ

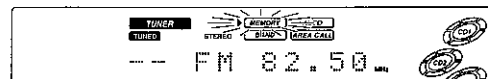


- ⑤ 5秒以内にSETキーを押して確定する

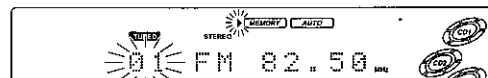
以下の表示の中から選べます。

- ① MEMORY
- ② AUTO
- ③ BAND
- ④ AREA CALL

"MEMORY"点灯(約5秒間)



プリセットナンバーの表示

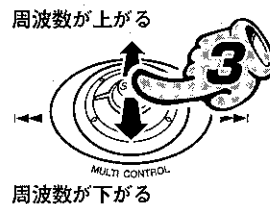


- プリセットを続けるときは、手順①~⑤を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

3. 放送局を選ぶ

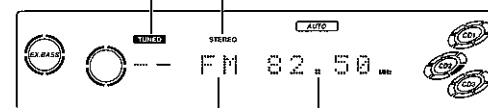
放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき： MULTI CONTROLつまみを傾けると、次の放送局を自動的に受信します。  
 マニュアル選局のとき： MULTI CONTROLつまみを受信するまで傾け続ける。  
 受信すると"TUNED"が点灯 ステレオ受信時に点灯



周波数が上がる

周波数が下がる

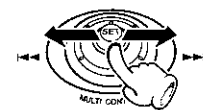


放送バンドの表示 周波数の表示

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

MULTI CONTROLつまみを傾けるたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。  
 右方向に傾けると... 1 → 2 → 3 ..... 38 → 39 → 40 → 1 .....  
 左方向に傾けると... 40 → 39 → 38 ..... 3 → 2 → 1 → 40.....

プリセットナンバーが上がる



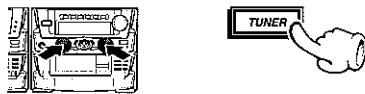
プリセットナンバーが下がる

- MULTI CONTROLつまみを傾けたままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- テレビ放送(1ch~3ch)の受信について  
 周波数を次のように合わせます。  
 1chのとき.....95.75MHz  
 2chのとき.....101.75MHz  
 3chのとき.....107.75MHz  
 ●テレビ放送はモノラル受信になります。

## 放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示)

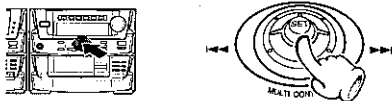
お住まいの地域で受信できる放送局を自動的にプリセットすることができます。このとき都道府県名を登録しておく、放送受信時に放送局名が表示されます。(FM放送のみ 放送局名リスト → 35)

① 入力切換を"**TUNER**"にする



② **SET**キーを押す

③ **MULTI CONTROL**つまみで表示部から"**AREA CALL**"を選ぶ



④ 5秒以内に**MULTI CONTROL**つまみでお住まいの都道府県名を選択する



⑤ 5秒以内に**SET**キーを押してオートプリセットを開始する



⑥ 記憶した放送局を受信する(プリセットコール) プリセットナンバールバーが上がる



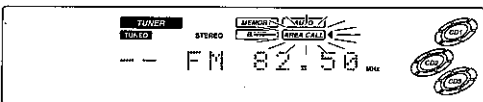
プリセットナンバールバーが下がる

**MULTI CONTROL**つまみを左右に倒すと、記憶されている放送局が順に切り換わります。

### 希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、リモコンの**PGM**キーを押すと放送局名を変えることができます。

① オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。

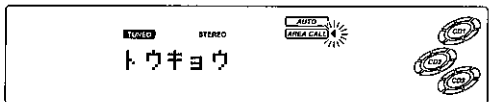


東京でNHK-FM(82.5MHz)を受信しているとき

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、"ケンメイ ミセツテイ"と表示されます。

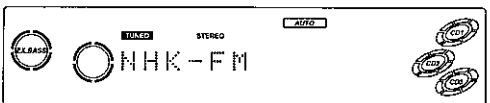
以下の表示の中から選べます。

- ① MEMORY
- ② AUTO
- ③ BAND
- ④ AREA CALL



トウキョウを選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を登録したときは、"放送局名リスト"に従ってオートプリセットされます。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。



FM受信中は放送局名が表示されます

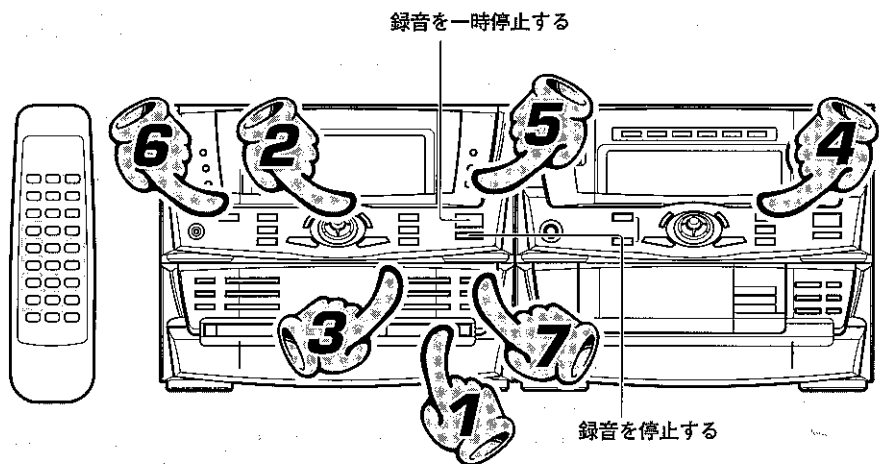
- 受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合、および"**TUNED**"が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- **MULTI CONTROL**つまみを傾けたままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- 都道府県名を登録していない場合でも、受信可能な放送局を最大40局まで自動的にプリセットします。ただし、放送局名は表示されません。

## 放送局名リスト

1997年7月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK-FM	NHK-FM
	エフエム北海道	AIR-G'
北海道地方	エフエム・ノースウェーブ	north wave
	エフエム青森	FMアオモリ
東北地方	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co-much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
	エフエム東京	TOKYO FM
関東地方	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
中部地方	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
	三重エフエム放送	FMミエ
近畿地方	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまくに	FM802
中国・四国地方	関西インターメディア	FM COCOLO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
九州・沖縄地方	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
エフエム鹿児島	ミュ- FM	
エフエム沖縄	FM Okinawa	
NHK 第一放送	NHKラジオ1	
FEN オキナワ	FEN オキナワ	

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。(下の図はSLOT Bに録音する場合の例です。)

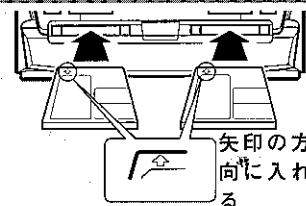


録音を一時停止する

録音を停止する



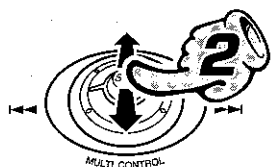
MD間の無録音部分をなくして連続録音したいときは、"REC MODEキーの使いかた"を参照してください。 -39-42



矢印の方向に入れる

## 1. 録音の準備をする

- ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする -102
- SLOT A, またはSLOT B挿入部にミニディスクを入れる -26
- SLOT AまたはSLOT Bのディスクインジケータが三つ同時に点滅しているときは、ディスクを入れないでください。

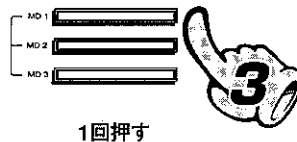


## 2. SLOT AまたはSLOT Bを選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

- SLOT A: SLOT Aを選択
  - SLOT B: SLOT Bを選択
- サイバタイタラー(別売)との読み出し、書き込みも同様に切り換えます。

## 3. 録音するディスクを選ぶ



1回押す

- 手順2.で選んだ側のSLOTに、2枚以上のミニディスクが入っているときは録音したいミニディスクを選びます。
  - 録音可能時間を確かめる -29
- 録音可能な残り時間の表示 (REMAIN表示のとき)
- 既に選ばれているMD1~MD3キーを押すと再生が始まります。

## 録音を一時停止する



- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- RECキーを押しても録音を始めることができます。

## 録音を停止する

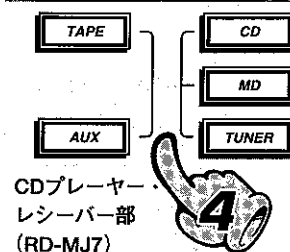


MDの録音中は、CT-H90(サイバタイタラー;別売)からの記録はできません。

### ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

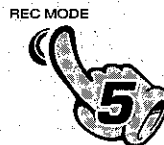
- "DISC FULL": ミニディスクが一杯になっている。  
→ 不要な曲を消す。 -24~27
- "PROTECTED": 誤消去防止つまみが開いている。  
→ 閉める。 -102
- "PLAY ONLY": 再生専用ミニディスクである。  
→ 録音用ミニディスクを入れる。



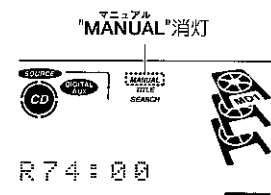
## 4. 何を録音するか選ぶ

- TAPE: アナログ録音のみ
  - CD: デジタルまたはアナログ録音 -38
  - AUX: アナログ録音のみ
  - MD: DIGITAL AUXの録音 -38
  - TAPE: アナログ録音のみ
- CDプレーヤーレシーバー部 (RD-MJ7)
- CD, AUXをアナログ録音したいとき "DIGITAL/ANALOG"キーの使いかた -38
- すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますのでSTOPキーを押して止めてください。
- カセットデッキ(別売)から録音する場合は、付属の取扱説明書をお読みください。

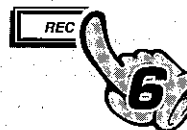
## 5. 曲番号の付け方を選ぶ



通常はAUTO("MANUAL"表示消灯)にしておきます。  
"TRACK MARK"について -40



## 6. 録音をはじめる



- REC(録音)キーを押す (録音一時停止状態になります)
  - 準備ができていれば、もう一度REC(録音)キーを押す
  - 録音する音楽ソースを再生する
- 録音中のディスクはMD1~MD3(▲)キーは受け付けません。
  - CDの再生と同時に録音を始めるときは、"CDから録音するときのポイント"をお読みください。 -38

## 7. 録音終了後、ミニディスクを取り出す



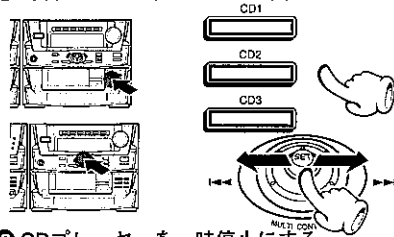
録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

"DISC WRITING"表示は、情報をミニディスクに書き込みのため、震動や衝撃を加えないでください。

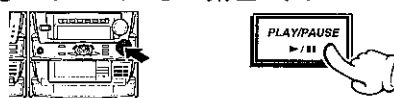
## CDから録音するときのポイント

次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

## ① 録音したいディスクまたは曲を選ぶ



## ② CDプレーヤーを一時停止にする



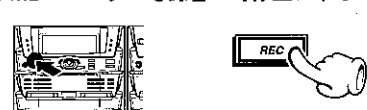
●アナログ録音の場合、曲の冒頭の音が録音できないことがあります。このときは、デジタル録音にしてください。

## ③ CDプレーヤーのMULTI CONTROLつまみを左に倒す



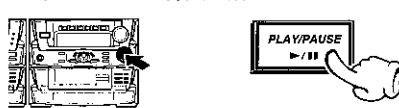
選んだディスク(曲)の最初で一時停止になります。

## ④ MDレコーダーを録音一時停止にする



RECキーを1回押すと、録音一時停止状態になります

## ⑤ CDプレーヤーの再生を始める

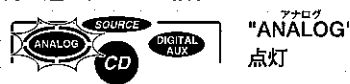
デジタル アナログ  
DIGITAL/ANALOGキーの使いかた

## ① 入力切替で"MD"以外を選ぶ

② DIGITAL/ANALOGキーを押して、MD録音の入力のタイプを選ぶ



停止中または録音一時停止中に押す  
アナログ入力が選ばれている場合



デジタル  
DIGITAL AUX入力が選ばれている場合



入力切替が"CD"の場合

DIGITAL/ANALOGキーを押すたびに切り換わります。

- ① "CD" : CDのデジタル録音
- ② "ANALOG" : アナログ録音

入力切替が"AUX"の場合

- ① "DIGITAL AUX" : OPTICAL AUXのデジタル録音  
(音声は、AUX入力のままです)
- ② "ANALOG" : アナログ録音

●入力切替がTAPE、TUNERの場合は、"ANALOG"以外選ばれません。

●REC MODEのANALOG RECが"MONO"に設定されているときは、録音一時停止中にDIGITAL/ANALOGキーを操作できません。この場合はSTOPキーを押して停止させてから押してください。

## サンプリング周波数について

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。

44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。

32 kHz: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、48kHz、32kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換して録音できます。

デジタル

## DIGITAL AUXモニター機能について

入力切替がMDで停止中の時、OPTICAL AUX端子に接続された機器の音をMDレコーダーのD/Aコンバーターを使って聴くことができます。また、このモニター状態のまま、録音をはじめると、OPTICAL AUX端子に接続された機器をデジタル録音することができます。

"MDに録音する"→[36]

## ① 入力切替で"MD"を選ぶ

② MONITORキーを押して、OPTICAL AUX端子に接続された機器のモニターをする、しないを選ぶ



停止中に押す

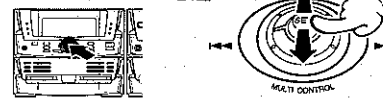
モード  
REC MODEキーの使いかた

## ① 録音を始める前にREC MODEキーを押す



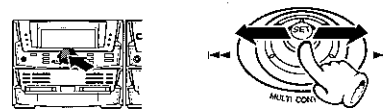
停止中に押す

## ② MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、目的の録音の設定を選ぶ



③ MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"TRACK MARK"について"MD間の無録音部分をなくして連続録音する"までの必要な設定をする

→[40] ~ [42]



④ 5秒以内にSETキーを押して確定する

入力切替がMDで、MDレコーダー停止中の場合  
MONITORキーを押すたびに切り換わります。

- ① "MONITOR"点灯: OPTICAL AUX端子に接続された機器のモニターをする
- ② "MONITOR"消灯: モニター解除

●MDの再生をはじめると、モニター機能は解除になります。  
●MD1~MD3キーを押した場合など、モニター音が一時的に途切れることがあります。

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↓)

- ① "TRACK MARK" : "TRACK MARK"について →[40]
- ② "ANALOG REC" : "モノラル録音するには" →[40]
- ③ "OTE&DUBBING" : "複数枚のMDをワンタッチエディット録音またはダビングするには" →[41]
- ④ "CD TEXT COPY" : "CD-TEXTディスクの文字情報をMDにコピーするには" →[41]
- ⑤ "D. TITLE COPY" : "CD、MDのディスクタイトルをコピーするには" →[41]
- ⑥ "SEAMLESS REC" : "MD間の無録音部分をなくして連続録音をする" →[42]

モノラル録音をしたい場合("ANALOG REC"を選ぶ場合は、"DIGITAL/ANALOGキー"の使いかたを参照して、MD録音の入力のタイプを"ANALOG"に設定します

→[38] - [40]

次のページにつづく

### トラック マーク TRACK MARKについて ("TRACK MARK"を選んだとき)

トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを切り換えます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

- ① "REC MODEキーの使いかた"の手順①②を行い、MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"AUTO"または"MANU"を選ぶ
- ② 5秒以内にSETキーを押して確定する

- MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)
- ① "AUTO" : トラック番号を自動的に付ける
  - ② "MANU" : トラック番号を録音中または録音後に手動で付ける

### AUTO

録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除できます。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。

### MANUAL

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中または録音後、トラック番号を付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などをミニディスクに録音するときなどに便利です。

### AUTO時消灯、MANUAL時点灯



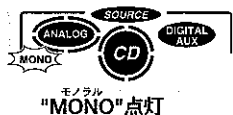
- 録音中にEDITキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

### モノラル録音するには ("ANALOG REC"を選んだとき)

本機は、ミニディスクをモノラル録音できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、記録時間(再生時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

- ① "DIGITAL/ANALOGキー"の使いかたを参照して、MD録音の入力のタイプを"ANALOG"に設定する
- ② "REC MODEキーの使いかた"の手順①②を行い、MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"STEREO"または"MONO"を選ぶ
- ③ 5秒以内にSETキーを押して確定する

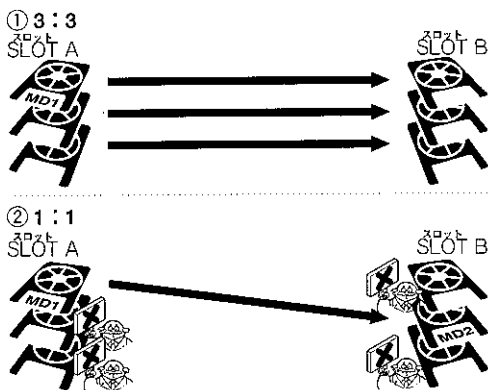
- MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)
- ① "STEREO" : 通常のステレオ録音モード
  - ② "MONO" : モノラル長時間録音モード



次のページにつづく

1. CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"曲をまとめて消す(QUICK ERASE)"、"1曲消す(TRACK ERASE)"または"全曲消す(ALL ERASE)"を参照して削除してください。
2. AUTOモードで、1曲が極端に短いと、トラック番号が正確に繰り上がらない場合があります。

### 複数枚のMDをワンタッチエディット録音またはダビングするには ("OTE&DUBBING"を選んだとき)

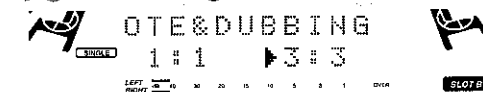


- ① "3:3" : SLOT AからSLOT Bへ、同じスロット番号のミニディスクへOTE録音またはダビングする方法(録音側と再生側の両方に対応するスロット番号のミニディスクがセットされていない場合、そのミニディスクはOTE録音またはダビングされません。)
- ② "1:1" : 最初に選ばれているSLOT AのミニディスクからSLOT Bへ1枚だけOTE録音またはダビングする方法(SLOT Aに2枚以上のミニディスクがセットされていても、最初の1枚をSLOT BのいずれかのミニディスクへOTE録音またはダビングし終わると、終了します。)

- ① "REC MODEキーの使いかた"の手順①②を行い、MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"1:1"または"3:3"を選ぶ
  - ② 5秒以内にSETキーを押して確定する
- プログラムしたミニディスクのダビングでは、"1:1"のみ選べます。

### MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

- ① "3:3" : ①のダビング方法
- ② "1:1" : ②のダビング方法



### CD-TEXTディスクの文字情報をMDにコピーするには ("CD-TEXT COPY"を選んだとき)

ワンタッチエディット録音で録音しようとしているCDがCD-TEXTのディスクの場合、その文字情報をミニディスクに記録する、しないを切り換えます。(英数字、記号のみ。一部の文字を除く)

- ① "REC MODEキーの使いかた"の手順①②を行い、MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"ON"または"OFF"を選ぶ
- ② 5秒以内にSETキーを押して確定する

### MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

- ① "OFF" : CDのテキスト情報をMDにコピーしない
- ② "ON" : CDのテキスト情報をMDにコピーする



### CD、MDのディスクタイトルをコピーするには ("D. TITLE COPY"を選んだとき)

CDまたはMDをディスクごとにワンタッチエディットで録音(ダビング)するときにコピー元のCDまたはMDに付けられているディスクタイトルをコピー先のMDにも付けるかどうかを切り換えます。(CDは、CD-TEXTのディスクのみ)

- ① "REC MODEキーの使いかた"の手順①②を行い、MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"ON"または"OFF"を選ぶ
- ② 5秒以内にSETキーを押して確定する

### MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

- ① "OFF" : CDまたはMDのディスクタイトルをMDにコピーしない
- ② "ON" : CDまたはMDのディスクタイトルをMDにコピーする



コピー先のMDに録音前にディスクタイトルが付けられている場合、1曲のみ録音する場合、プログラム録音の場合は、ディスクタイトルコピーは動きません。

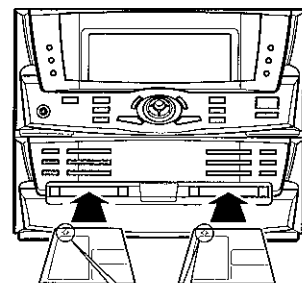
次のページにつづく

## MD間の無録音部分をなくして連続録音をする (SEAMLESSリレー録音; "SEAMLESS REC" を選んだとき)

ミニディスクとミニディスクの間の無録音部分をなくす機能です。SLOT A、またはSLOT Bに最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておく、SLOT AとSLOT Bのミニディスクを交互にMD1~MD3の順番でセットされているミニディスクのみを録音します。片側のSLOTの録音中のミニディスクの終わり約30秒間は、次のもう片側のSLOTのミニディスクの最初の約30秒間と重複して録音されるため、同じSLOT内部でミニディスクが交換されている間も途絶えずに、録音を続けることができます。

極端に残り時間の短いミニディスクがセットされていると、SEAMLESSリレー録音がうまく動作しない場合があります。

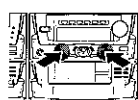
シームレス XT-SMD (J)



録音可能なMD 録音可能なMD

矢印の方向に入れる

- ① "REC MODE"キーの使いかた"の手順 ②を行い、MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"ON"または"OFF"を選ぶ → [39]
- ② 5秒以内にSETキーを押して確定する。
- ③ SLOT A、SLOT BのMDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → [102]
- ④ SLOT A、SLOT Bに録音可能なMDを入れる
- ⑤ SLOT A、SLOT Bの録音可能時間を確かめる → [29]
- ⑥ 何を録音するか選ぶ

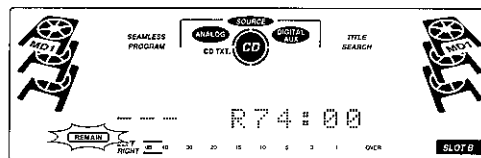
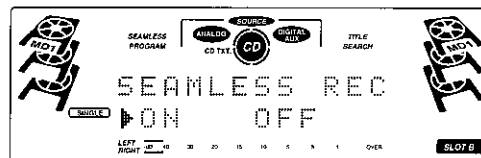


CD以外を選びます

- ⑦ MDの場合、MONITORキーを押してモニター状態にする → [39]
- ⑧ DIGITAL/ANALOGキーでデジタル録音、またはアナログ録音を選ぶ(AUXの録音時のみ) → [39]
- ⑨ RECキーを2回押して、録音を開始する



- マルチコントロール MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(↔)
- ① "OFF" : SEAMLESSリレー録音を行わない
  - ② "ON" : SEAMLESSリレー録音を行う



録音可能な残り時間の表示("REMAIN"表示点灯時)

- SEAMLESS録音が終了すると、自動的に停止します。

シームレス SEAMLESS録音を止めるには



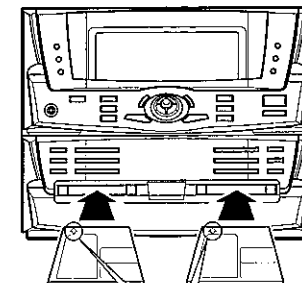
XT-SMD (J)

## MDをディスクごとコピーする、いい曲があればその曲だけコピーする (ダビング)

SLOT AにセットしたMDの内容をSLOT BのMDにコピーします。SLOT A、またはSLOT Bに最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておく、再生中は1曲のみ、停止中はディスク毎に、設定に応じた順番でSLOT AからSLOT Bへセットされているミニディスクのみを録音します。

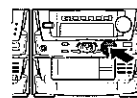
その際、トラック(曲の)タイトルも同様にコピーされます。ミニディスク1枚全部をダビングする場合は、ディスクタイトルをコピーする、しないをお好みに応じて選ぶことができます。

"複数枚のMDをダビングするには" → [41]  
"CD、MDのディスクタイトルをコピーするには" → [41]



録音済みのMD、または再生専用MD 録音可能なMD 矢印の方向に入れる

- ① 入力切換を"MD"にする



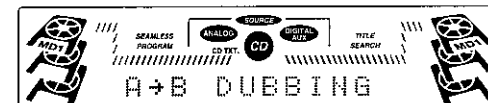
- ② SLOT BのMDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → [102]
- ③ REC MODEキーを押してから、"OTE&DUBBING"を選び、"3:3"または"1:1"のどちらかに設定する → [41]
- ④ ③で選んだ設定に合わせて、SLOT Aに録音済みの(または再生専用)MD、SLOT Bに録音可能なMDを入れる
- ⑤ SLOT Bの録音可能時間を確かめる → [29]
- ⑥ 1曲だけ録音する場合は、SLOT Aの録音したい曲を再生する → [26]
- ⑦ A>Bキーを押して、ダビングを始める



MDレコーダー表示部にダビングの内容が表示されます

## MDからMDへ曲順を並べ替えてコピー(ダビング)するには

- ダビングしたい録音済みのMDに、一部でもデジタル録音された曲があると、デジタル録音でダビングできません。その場合は、アナログ録音にしてください。
- "デジタル録音とSCMSについて" → [103]
- "デジタル録音とSCMSについて" → [39]
- ダビングが終了すると、自動的に停止します。
- 極端に短い曲は、トラック番号やタイトルがコピーできない場合があります。



デジタル録音、アナログ録音を切り換えるには

A>Bキーを押してから、5秒以内にDIGITAL/ANALOGキーを押す

- DIGITAL/ANALOG
- 押すたびに切り換わります。
- ① AUTO : 自動で選択
  - ② DIGITAL : デジタル録音
  - ③ ANALOG : アナログ録音


- AUTOを選んだとき、SLOT Aにセットされたディスクが再生専用MDの場合はデジタル、録音済みのMDの場合はアナログ(プログラム再生の場合はディスクにかかわらずアナログ)で録音されます。


ダビングを止めるには

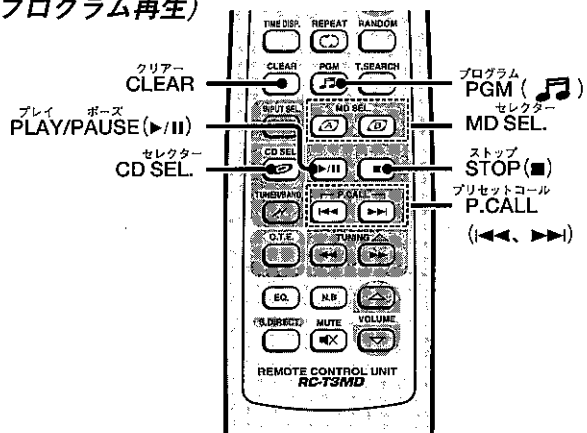


曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

 : CDプレーヤー・レシーバー部の表示内容を示します。

 : MDレコーダー部の表示内容を示します。



MDからMDへダビングする場合は、**SLOTA**のみをプログラムしてください。

MDの再生中は、**CT-H90**(サイバータイター;別売)からの記録はできません。

1 入力切換をCDまたはMDにして、停止状態を確認する

●再生中の時は、**STOP**(■)キーを押して、停止させてください。

2 **PGM**(🎵)キーを押して、"**P-**"表示(CD)または"**PGM**"表示(MD)を点灯させる

●本体の**PLAY MODE**キーを押してから、**MULTI CONTROL**つまみで"**PROGRAM**"を選び、**SET**キーを2回押しても同様の状態になります。

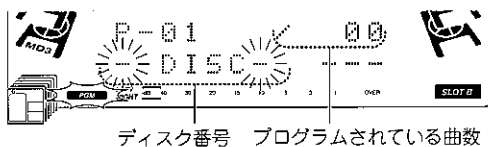
3 **CD SEL.**キーまたは**MD SEL.**キーでディスクを選ぶ

●8秒以内に次の手順に進んでください。  
●本体の**CD1~CD3**キー、**SLOTA**または**SLOTB**の**MD1~MD3**キーでも同様に選べます。

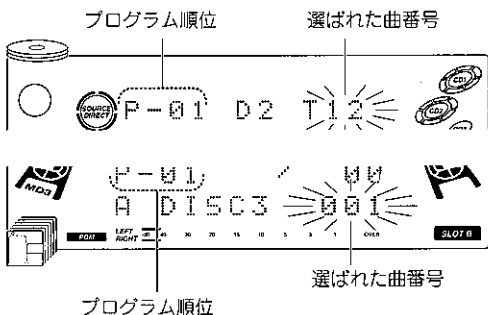
4 8秒以内に**P.CALL**(⏮️、⏭️)キーで曲を選ぶ

次のページにつづく

プログラムPGMキーを押したときの表示例



ディスクを選んだ後の表示例



5 8秒以内に**PGM**(🎵)キーを押して、選んだ曲を確定する

6 手順 3、4、5を繰り返してプログラムしていく

- CDプレーヤー・レシーバー部本体の**CD1~CD3**キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"**FULL**"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

7 **PLAY/PAUSE**(▶️/⏸️)キーを押して、再生する

- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に⏮️または⏭️キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に⏮️キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには (停止中のみ)

- 1 **CD SEL.**キーまたは**MD SEL.**キーでディスクを選ぶ
- 2 8秒以内に**P.CALL**(⏮️、⏭️)キーで曲を選ぶ
- 3 8秒以内に**PGM**(🎵)キーを押して、選んだ曲を確定する

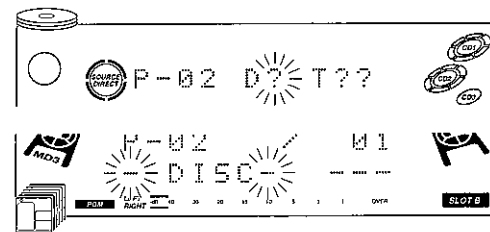
プログラムした曲を取り消すには

(MDは停止中のみ)

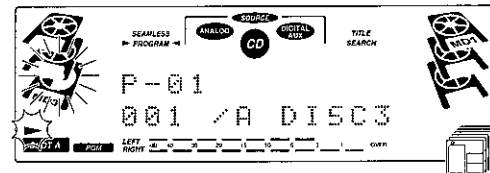
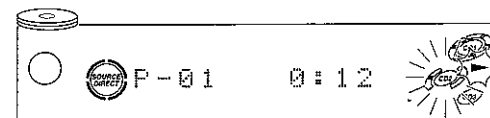
**CLEAR**キーを押してプログラムされた最後の曲から1曲ずつ取り消します

次のページにつづく

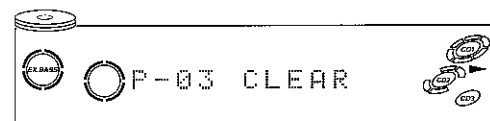
繰り返し、プログラムしていくときの表示例



再生中 **PLAY/PAUSE**(▶️/⏸️)キーを押したときの表示例

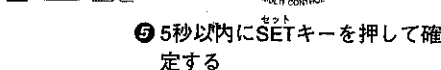
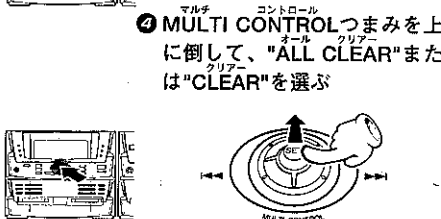
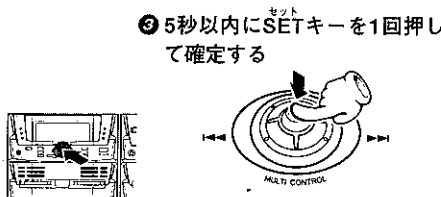
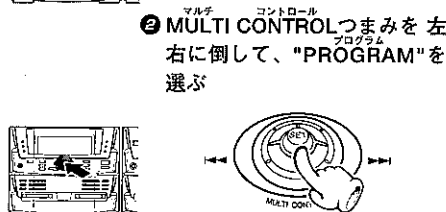
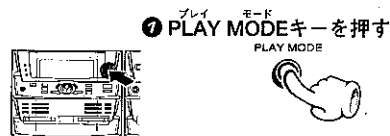


- 本体の**PLAY MODE**キーを押してから、**MULTI CONTROL**つまみで"**PROGRAM**"を選び、**SET**キーを2回押しても同様の状態になります。
- 本体の**CD1~CD3**キー、**SLOTA**または**SLOTB**の**MD1~MD3**キーでも同様に選べます。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。



- 再生中の曲は取り消せません。
- CLEAR**キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

MDのプログラムした曲を取り消すには (停止中のみ)



マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(↔)

- ① "TRACK" : トラックモード
- ② "SEAMLESS" : シームレスモード
- ③ "PROGRAM" : プログラムモード

● このとき、SETキーを2回押すとプログラムする曲を追加するモードになります

マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみ上方向の操作(↑)

- ↑ ; "CLEAR" : プログラムした曲を1曲づつ、最後の曲から取り消す
- ↑ ; "ALL CLEAR" : プログラムした曲全部を取り消す



プログラムを解除するには (MDは停止中のみ)



- CDのプログラムされた曲は消去されますが、MDは、オールクリアまたは全曲CLEARされないがぎり、再びPGMモードにしたときに前回のプログラムが残っています。
- 再生中は、その時聴いている曲から曲番号順の再生に戻ります。
- CD1~CD3(▲)キーを押すと、取り出されたディスクのみのプログラムから削除します。

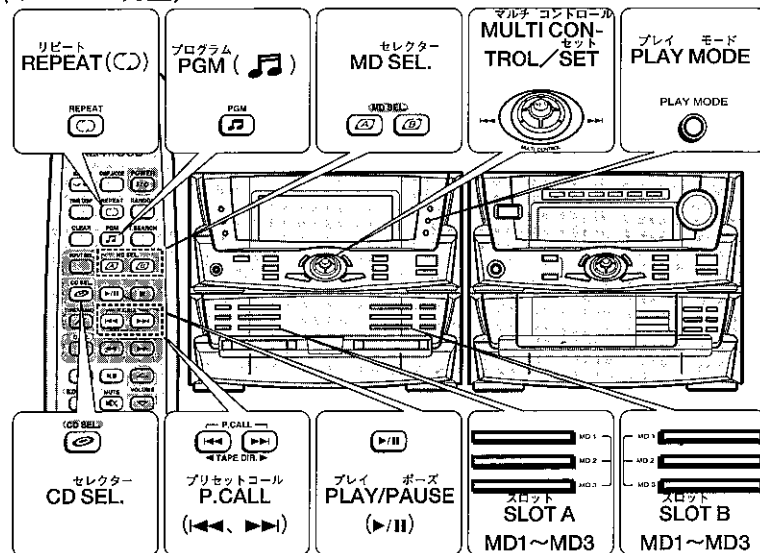
### SEAMLESSプログラム再生機能について

ミニディスクの曲と曲の間の無録音部分をなるべく短くする機能です。スロット Aとスロット Bの両方にミニディスクをセットして、スロット Aとスロット Bを交互にプログラムしておくことで曲と曲の間のディスク交換時間をなるべく短くする再生を自動的にを行います。ディスク間の無音部分を最小限に抑えるので、音の流れがつかず再生ができます。

"MDのディスク交換時間を短くして再生する (SEAMLESS再生)"

## 繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。



MDの再生中は、CT-H90 (サイバータイター; 別売) からの記録はできません。

## 一曲を繰り返し聴く (MDのみ)

① プレイ モード  
PLAY MODEキーを押す

② マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみを左右に倒して"TRACK"を選ぶ

③ 5秒以内にSETキーを押して、確定する

④ REPEAT (C) キーを押して、"REPEAT ONE"表示 (MD) を点灯させる

⑤ MD SEL. キーでディスクを選ぶ

● 8秒以内に次の手順に進んでください。

⑥ 8秒以内にP.CALL (P.CALL) キーで曲を選ぶ

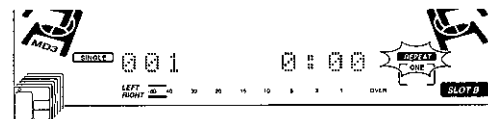


マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(↔)

- ① "TRACK" : トラックモード
- ② "SEAMLESS" : シームレスモード
- ③ "PROGRAM" : プログラムモード

REPEAT (C) キーを押すたびに切り換わります。

- ① "ONE" : 1曲を繰り返し再生する
- ② "DISC" : 1枚のディスクを繰り返し再生する
- ③ "ALL" : 全てのディスクを繰り返し再生する
- ④ "REPEAT"消灯 : 通常の再生



繰り返し再生をやめるには

REPEAT (C) キーを"REPEAT"表示が消えるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、元のモードに従った再生に戻ります。



一枚のディスクを繰り返し聴く (MDのみ)

- 1 プレイ モード  
PLAY MODEキーを押す
- 2 マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみを左右に倒して"TRACK"を選ぶ
- 3 5秒以内にSETキーを押して、確定する
- 4 REPEAT (C) キーを押して、"REPEAT DISC"表示(MD)を点灯させる
- 5 MD SEL. キーでディスクを選ぶ



マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

- ① "TRACK" : トラックモード
- ② "SEAMLESS" : シームレスモード
- ③ "PROGRAM" : プログラムモード

REPEAT (C) キーを押すたびに切り換わります。

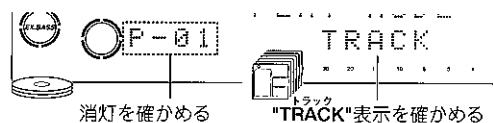
- ① "ONE" : 1曲を繰り返し再生する
- ② "DISC" : 1枚のディスクを繰り返し再生する
- ③ "ALL" : 全てのディスクを繰り返し再生する
- ④ "REPEAT"消灯 : 通常の再生



繰り返し再生をやめるには

REPEAT (C) キーを"REPEAT"表示が消えるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、元のモードに帰った再生に戻ります。

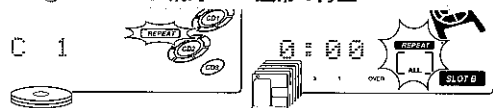


消灯を確認する "TRACK"表示を確認する

REPEAT (C) キーを押すたびに切り換わります。

- CDの場合
- ① "REPEAT" : 全てのディスクを繰り返し再生する
  - ② "REPEAT"消灯 : 通常の再生

- MDの場合
- ① "ONE" : 1曲を繰り返し再生する
  - ② "DISC" : 1枚のディスクを繰り返し再生する
  - ③ "ALL" : 全てのディスクを繰り返し再生する
  - ④ "REPEAT"消灯 : 通常の再生



繰り返し再生をやめるには

REPEAT (C) キーを"REPEAT"表示が消えるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、元のモードに帰った再生に戻ります。

全てのディスクを繰り返し聴く

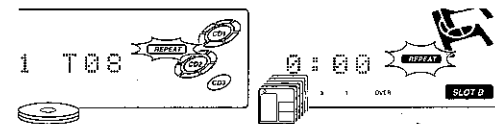
- 1 CDの場合、"P."表示(CD)の消灯を確認する
- 2 MDの場合、トラックモードにする
  - ① PLAY MODEキーを押す
  - ② MULTI CONTROLつまみを左右に倒して"TRACK"を選ぶ
  - ③ 5秒以内にSETキーを押して、確定する
- 3 REPEAT (C) キーを押して、"REPEAT ALL" (MD)表示を点灯させる
- 4 CD SEL. キーまたはMD SEL. キーで最初に再生を始めたいディスクを選ぶ

選んだ曲だけを繰り返し聴く

- 1 "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順 ③までを行い、聴きたい曲をプログラムする - 44
- 2 REPEAT (C) キーを押して、"REPEAT"表示(CD) (MD)を点灯させる
- 3 PLAY/PAUSE (▶/||) キーを押して、再生する

REPEAT (C) キーを押すたびに切り換わります。

- ① "REPEAT"点灯 : 繰り返し再生する
- ② "REPEAT"消灯 : 通常の再生



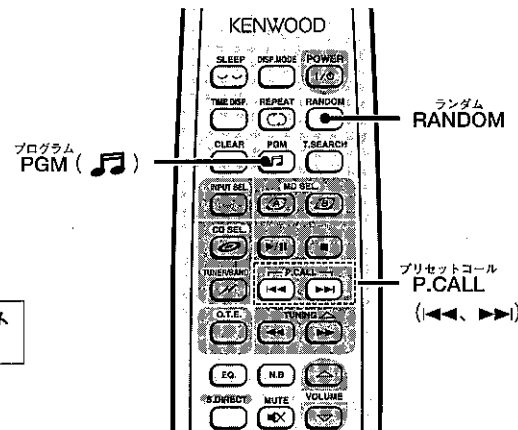
繰り返し再生をやめるには

REPEAT (C) キーを"REPEAT"表示が消えるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、元のモードに帰った再生に戻ります。

## ランダム再生を楽しむ

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

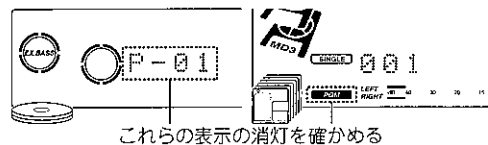


MDの再生中は、CT-H90(サイバータイトラー;別売)からの記録はできません。

### 一枚のディスクをランダム再生する

#### 1 "P-"表示(CD)または"PGM"表示(MD)の消灯を確かめる

- "PGM"表示が点灯しているときは、PGM (🎵)キーで消灯させてください。



#### 2 CD SEL.キーまたはMD SEL.キーでディスクを選ぶ

- 8秒以内に次の手順に進んでください。

#### 3 RANDOMキーを押して、"RANDOM DISC"表示(CD) (MD)を点灯させる

- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEAT (C)キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

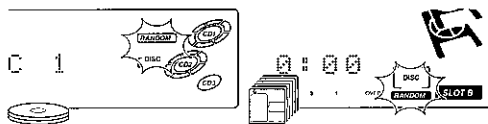
#### 曲の途中で別の曲を選ぶには

プリセットコール (P.CALL) (▶▶)キーを押す

- P.CALL (▶▶)キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

RANDOMキーを押すたびに切り換わります。

- ① "DISC": 1枚のディスクをランダム再生する
- ② "ALL": 全てのディスクをランダム再生する
- ③ "RANDOM"消灯: 通常の再生



#### ランダム再生をやめるには

RANDOMキーを"RANDOM"表示が消えるまで数回押す

- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。(CD)
- "RANDOM"表示が消灯し、停止します。(MD)

## 全てのディスクをランダム再生する

#### 1 "P-"表示(CD)または"PGM"表示(MD)の消灯を確かめる

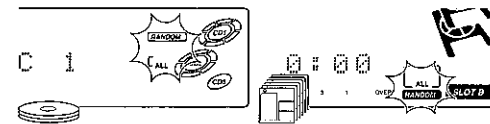
- "PGM"表示が点灯しているときは、PGM (🎵)キーで消灯させてください。



#### 2 RANDOMキーを押して、"RANDOM ALL"表示(CD) (MD)を点灯させる

- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEAT (C)キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

- RANDOMキーを押すたびに切り換わります。
- ① "DISC": 1枚のディスクをランダム再生する
  - ② "ALL": 全てのディスクをランダム再生する
  - ③ "RANDOM"消灯: 通常の再生



#### 曲の途中で別の曲を選ぶには

プリセットコール (P.CALL) (▶▶)キーを押す

- P.CALL (▶▶)キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

#### ランダム再生をやめるには

RANDOMキーを"RANDOM"表示が消えるまで数回押す

- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。(CD)
- "RANDOM"表示が消灯し、停止します。(MD)

### 録音のタイプを選ぶ

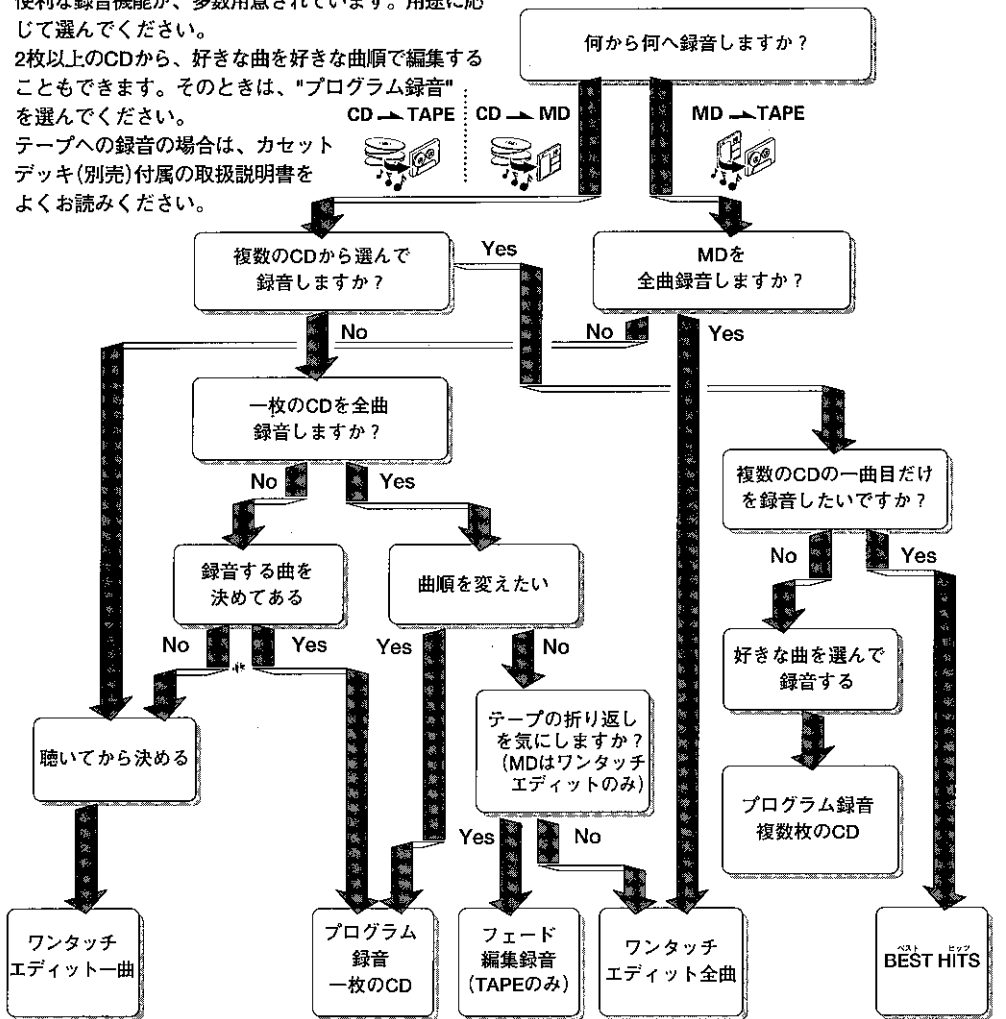
本章では、カセットデッキ(別売)と組み合わせた場合を考慮して、カセットデッキの録音機能も説明しています。

便利な録音機能が、多数用意されています。用途に応じて選んでください。  
2枚以上のCDから、好きな曲を好きな曲順で編集することもできます。そのときは、「プログラム録音」を選んでください。  
テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

MDからTAPEへの録音中は、CT-H90(サイバートイラー;別売)からの記録はできません。

**START!!**

何から何へ録音しますか?

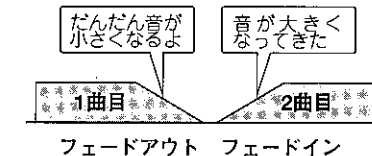


**便利な機能**

**ダビング機能:** SLOT AにセットしたMDの内容をSLOT BのMDにコピーします。 -[43]  
**リレー録音機能:** 片方のディスクの録音が終わると、自動的にもう一方のディスクが録音を始めます。 -[42]

**TWIN OTE機能:** CDからMD2枚へ同時に録音する機能です。CD1枚ぶんを全曲、または再生中の曲のみを録音できます。 -[58]

**フェードイン/フェードアウトとは**



**フェードアウト:** だんだん音を小さくして曲が終わること  
**フェードイン:** だんだん音を大きくして曲が始まること

**3枚のCD, 1枚のMDをワンタッチで録音する** (ワンタッチエディット全曲録音) -[54]  
CD3枚、またはMDの全曲を、ワンタッチで録音します。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。

テープの折り返しや、終わりにかかった曲は、そのままになります。

**1枚または、複数枚のCDを録音する** (CD→MD) (プログラム録音) (CD→TAPE) -[61] -[62]  
1枚のCDから プログラムした曲順でCDからMDまたはテープへ録音します。

テープの折り返しや、終わりにかかった曲は消去され、裏面はその曲の最初から録音します。(最大32曲まで)



: CDプレーヤー・レーザー部の表示内容を示します。  
 : MDレコーダー部の表示内容を示します。

**いい曲があれば、その曲だけ録音する** (ワンタッチエディット1曲録音) -[56]  
CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで、今聴いている曲だけを、始めから録音できます。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。  
初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。

**CDから2枚のMDへ同時に録音する** (ツイン・ワンタッチエディット録音) -[58]  
CD1枚の全曲、またはCDの今聴いている曲だけを、ワンタッチで同時に2枚のMDに録音します。

**複数枚のCDの1曲目だけを録音する** (BEST HITS機能) -[59]  
セットされている全てのCDの1曲目を、順にMDまたはテープへ録音する機能です。

**2枚以上のCDから** 複数のCDから、好きな曲だけを選んでCDからMDまたはテープへ録音します。

テープの折り返しや、終わりにかかった曲は消去され、裏面はその曲の最初から録音します。(最大32曲まで)

**テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする** (CD→TAPEのみ) (フェード編集録音) -[64]

CDの曲順で録音します。テープの折り返しにかかる曲をフェードアウトし、裏面はその曲の途中からフェードインします。

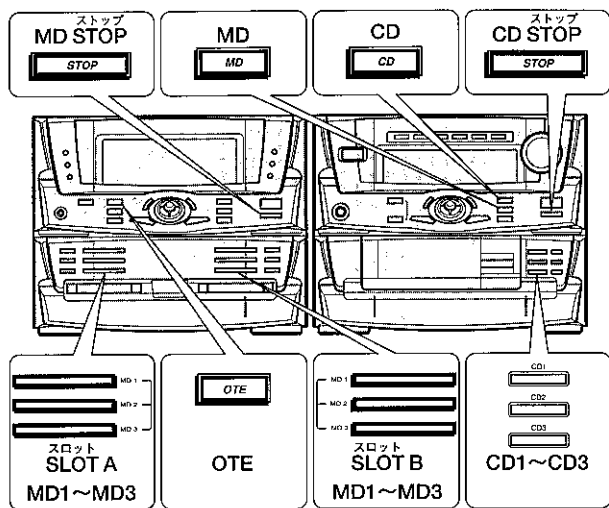
テープの終わりにかかった曲は、フェードアウトされます。

## 3枚のCD、1枚のMDをワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット全曲録音)

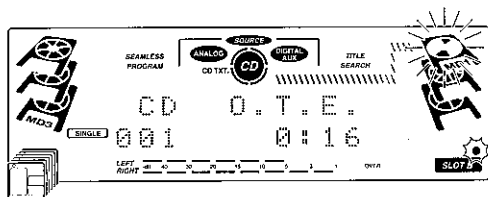
3枚までのCDまたはMD1枚の全曲を、ワンタッチで録音できます。

CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープへ録音します。CDからMDへの録音の場合、CD1～CD3の最高3枚までのディスクをSLOT AまたはBのMD1～MD3の最高3枚まで、ディスク毎にミニディスクに順に録音します。(どちらか一方のSLOTにしか録音できません。)テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



### CDからMDへワンタッチで録音する

- 1 <sup>スロット</sup> SLOT Aまたは<sup>スロット</sup> SLOT Bのどちらか一方に、録音可能なディスクを入れる - [26] - [102]
- 2 OTE&DUBBINGモードが "1 : 1" の場合、MD1～MD3キーを押して、手順 1 で入れた中からミニディスクを選ぶ - [41]
- 3 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]
- 4 OTE&DUBBINGモードが "1 : 1" の場合、CD1～CD3キーを押して、目的のディスクを選ぶ - [41]
- 5 CDの再生が始まる前に OTEキーを押して録音を始める



再生が始まってからOTEキーを押すと、その曲だけ録音されます。 - [43] - [56] - [58]

録音を途中でやめるには

CDプレーヤー・レシーバー部の<sup>ストップ</sup>STOPキーを押す

●録音、再生ともに停止します。

次のページにつづく

## MDからTAPEへワンタッチで録音する

- 1 テープを入れる
- 2 テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- 3 "⊃" (両面録音)を選ぶ
- 4 ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- 5 MDレコーダーに録音済みまたは再生専用のミニディスクを入れる - [26]
- 6 MD1～MD3キーを使って、目的のディスクを選ぶ
- 7 カセットデッキ(別売)の録音レベルを調整する
- 8 停止中に、カセットデッキ(別売)の<sup>テープ</sup>OTE (MD→TAPE)キーを押して、録音を始める

再生が始まってからOTEキーを押すと、その曲だけ録音されます。 - [66] - [58]

録音を途中でやめるには

MDレコーダー部の<sup>ストップ</sup>STOPキーを押す

●録音、再生ともに停止します。

## CDからTAPEへワンタッチで録音する

- 1 テープを入れる
- 2 テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- 3 "⊃" (両面録音)を選ぶ
- 4 ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- 5 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]
- 6 カセットデッキ(別売)の録音レベルを調整する
- 7 CD1～CD3キーを押して、目的のディスクを選ぶ
- 8 CDの再生が始まる前に、カセットデッキ(別売)の<sup>テープ</sup>OTE (CD→TAPE)キーを押して、録音を始める

●テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのふんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、他の録音方法をご利用ください。

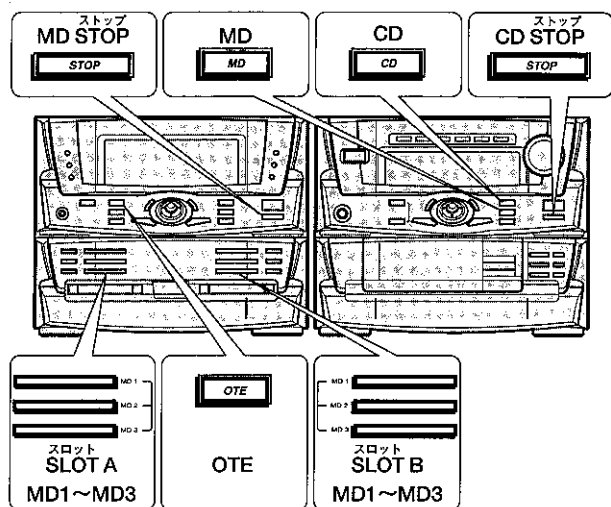
録音を途中でやめるには

CDプレーヤー・レシーバー部の<sup>ストップ</sup>STOPキーを押す

●録音、再生ともに停止します。

## いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)

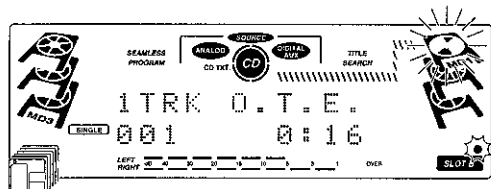
CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



### CDからMDへいい曲があれば録音する

- 1 <sup>スロット</sup> SLOTAまたは<sup>スロット</sup> SLOTBに、録音可能なミニディスクを入れる -[26]-[102]
- 2 MD1~MD3キーを押して、手順1で入れた中からミニディスクを選ぶ
- 3 CDプレーヤーにディスクを入れる -[22]
- 4 CDを再生する -[22]
- 5 録音したい曲の再生中に OTEキーを押して録音を始める

●再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。



録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。

再生側の機器(CDプレーヤー)は、一時停止になります。他の曲を録音するには.....手順7、8を繰り返してください。



録音を途中でやめるには

CDプレーヤー・レシーバー部の<sup>ストップ</sup>STOPキーを押す

●録音、再生ともに停止します。

次のページにつづく

## CDからTAPEへいい曲があれば録音する

## MDからTAPEへいい曲があれば録音する

- 1 テープを入れる
- 2 テープの動く向き(◀▶)を確認める
- 3 "D" (両面録音)を選ぶ
- 4 ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- 5 MDレコーダーに録音済みまたは再生専用のミニディスクを入れる -[26]
- 6 MD1~MD3キーを使って、目的のディスクを選ぶ
- 7 カセットデッキ(別売)の録音レベルを調整する
- 8 MDを再生する -[26]
- 9 録音したい曲の再生中にカセットデッキ(別売)の<sup>テープ</sup>OTE(MD→TAPE)キーを押して録音を始める

- 1 テープを入れる
- 2 テープの動く向き(◀▶)を確認める
- 3 "D" (両面録音)を選ぶ
- 4 ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- 5 CDプレーヤーにディスクを入れる -[22]
- 6 カセットデッキ(別売)の録音レベルを調整する
- 7 CDを再生する -[22]
- 8 録音したい曲の再生中にカセットデッキ(別売)の<sup>テープ</sup>OTE(CD→TAPE)キーを押して録音を始める

●再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

録音が終了すると.....

MDレコーダー : 停止します。

カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

再生側の機器(CDプレーヤーまたはMDレコーダー)は、一時停止になります。他の曲を録音するには....."MDから<sup>テープ</sup>TAPEへいい曲があれば録音する"の手順9、10または"CDから<sup>テープ</sup>TAPEへいい曲があれば録音する"の手順7、8を繰り返してください。



録音を途中でやめるには

MDレコーダー部の<sup>ストップ</sup>STOPキーを押す

●録音、再生ともに停止します。

録音を途中でやめるには

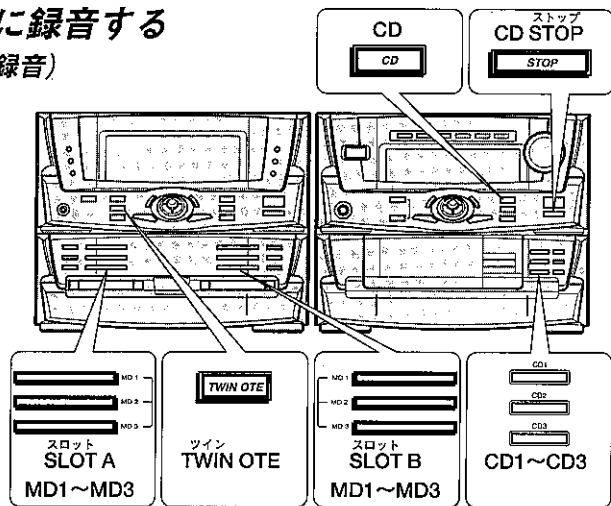
CDプレーヤー・レシーバー部の<sup>ストップ</sup>STOPキーを押す

●録音、再生ともに停止します。

## CDから2枚のMDへ同時に録音する (ツイン・ワンタッチエディット録音)

複数枚のCDをワンタッチで録音する  
(ツイン・ワンタッチエディット全曲録音)  
CD(1枚)全曲を、ワンタッチでSLOT AとSLOT B両方のMDに同時に録音できます。CD1枚ならSLOT A、BにMD1枚ずつ、CD3枚ならSLOT A、BにMD3枚ずつ入れておくと、連続してCDの同時録音を続けることができます。

いい曲があれば、その曲だけ録音する  
(ツイン・ワンタッチエディット1曲録音)  
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初からSLOT AとSLOT B両方のMDに同時に録音できます。



## 複数枚のCDをワンタッチで録音する (ツイン・ワンタッチエディット全曲録音)

- 1 SLOT AとSLOT B両方に、録音したいCDと同じ枚数の録音可能なミニディスクを入れる - [26] - [102]
- 2 OTE&DUBBINGモードが "1 : 1" の場合、SLOT AとSLOT B両方のMD1~MD3キーを押して、手順①で入れた中からミニディスクを選ぶ - [41]
- 3 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]
- 4 OTE&DUBBINGモードが "1 : 1" の場合、CD1~CD3キーを押して、目的のディスクを選ぶ - [41]
- 5 CDの再生が始まる前にTWIN OTEキーを押して録音を始める

## いい曲があれば、その曲だけ録音する (ツイン・ワンタッチエディット1曲録音)

- 1 SLOT AとSLOT B両方に、録音可能なディスクを入れる - [26] - [102]
- 2 SLOT AとSLOT B両方のMD1~MD3キーを押して、手順①で入れた中からミニディスクを選ぶ
- 3 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]
- 4 CDを再生する - [22]
- 5 録音したい曲の再生中にTWIN OTEキーを押して録音を始める
  - 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

録音を途中でやめるには

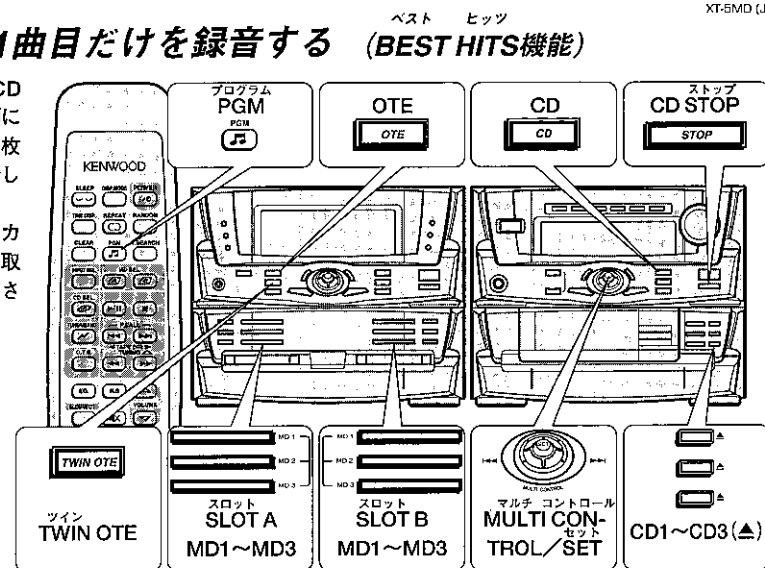
CDプレーヤー・レシーバー部のSTOPキーを押す

- 録音、再生ともに停止します。

- ツインワンタッチエディットの録音中に、MDレコーダーのMULTI CONTROLつまみを上下に倒すと、時間表示とピークレベルメーターの表示を現在表示されている例(例ではSLOT B)から逆側に切り換えることができます。

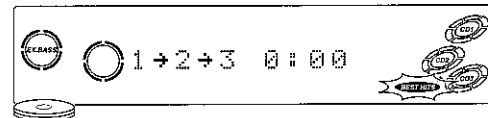
## 複数枚のCDの1曲目だけを録音する (BEST HITS機能)

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順にMD1枚、または同時に2枚へ、または、テープへ録音します。テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



## CDの1曲目だけをMDへ録音する

- 1 SLOT AまたはSLOT Bに、録音可能なミニディスクを入れる - [26] - [102]
- 2 MD1~MD3キーを押して、手順①で入れた中からミニディスクを選ぶ
- 3 CDキーを押して、入力切換を"CD"にする
- 4 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]
- 5 PGM(🎵)キーを押して、"P-"表示を消灯させる  
(CDは録音したい順に、CD1から入れます)
- 6 SETキーを押す
- 7 MULTI CONTROLつまみで表示部から"BEST HITS"を選ぶ - [19]
- 8 5秒以内にSETキーを押して、確定する
- 9 CDプレーヤーの停止中にOTEキーを押して録音を始める
- 10 必要に応じてCD1~CD3(▲)キーを押して、ディスクを入れ換える



- それぞれのCDの1曲目が自動的にプログラムされます。
- 次のディスクの録音中でも、すでに録音が終わったCDの入れ換えができます。



順にディスクを入れ換えていくと、中断することなく録音を続けることができます

録音を途中でやめるには

CDプレーヤー・レシーバー部のSTOPキーを押す

- 録音、再生ともに停止します。

次のページにつづく

## CDの1曲目だけをMD2枚同時に録音する

- 1 **スロット** SLOT Aと**スロット** SLOT B両方に、録音可能なミニディスクを入れる - [26] - [102]
- 2 **スロット** SLOT Aと**スロット** SLOT B両方の MD1~MD3キーを押して、手順 1 で入れた中からミニディスクを選ぶ
- 3 CDキーを押して、入力切換を"CD"にする
- 4 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]  
(CDは録音したい順に、CD1から入れます)
- 5 **プログラム** PGM (🎵) キーを押して、"P-"表示を消灯させる
- 6 **セット** SET キーを押す
- 7 **マルチ** MULTI CONTROL つまみで表示部から"BEST HITS"を選ぶ - [19]
- 8 5秒以内に**セット** SET キーを押して、確定する
- 9 CDプレーヤーの停止中に **ツイン** TWIN OTE キーを押して録音を始める
- 10 必要に応じてCD1~CD3(▲)キーを押して、ディスクを入れ換える



順にディスクを入れ換えていくと、中断することなく録音を続けることができます

- それぞれのCDの1曲目が自動的にプログラムされます。
- 次のディスクの録音中でも、すでに録音が終わったCDの入れ換えができます。
- テープが終了すると、録音が終了します。

## 録音を途中でやめるには

CDプレーヤー・レシーバー部の**ストップ** STOPキーを押す

- 録音、再生ともに停止します。

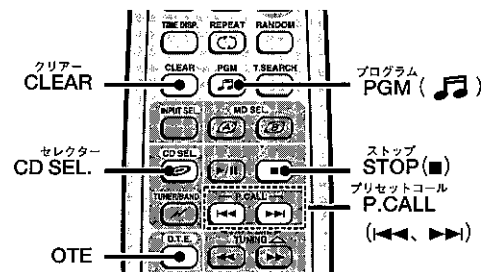
## CDの1曲目だけをTAPEへ録音する

- 1 テープを入れる
- 2 テープの動く向き(◀▶)を確認める
- 3 "D" (両面録音)を選ぶ
- 4 ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- 5 CDキーを押して、入力切換を"CD"にする
- 6 CDプレーヤーにディスクを入れる - [22]  
(CDは録音したい順に、CD1から入れます)
- 7 カセットデッキ(別売)の録音レベルを調整する
- 8 **プログラム** PGM (🎵) キーを押して、"P-"表示を消灯させる
- 9 CDプレーヤーの停止中にカセットデッキ(別売)の**ベスト** BEST HITS キーを押して録音を始める
- 10 必要に応じてCD1~CD3(▲)キーを押して、ディスクを入れ換える

テープ

## 1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→MD) (プログラム録音)

3枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを1枚のMDに収録することができます。



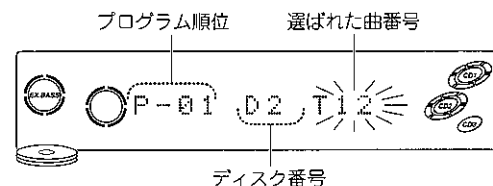
録音の準備が必要です(手順 1~4) - [56]

- 1 停止状態を確認する  
●再生中のときは、**ストップ** STOP(■)キーを押す
- 2 **プログラム** PGM (🎵) キーを押して、"P-"表示を点灯させる
- 3 **セレクター** CD SEL. キーを押して、ディスクを選ぶ
- 4 8秒以内に **プリセットコール** P.CALL (◀▶) で曲番号を選ぶ
- 5 8秒以内に **プログラム** PGM (🎵) キーを押して、選んだ番号を確定する
- 6 手順 3、4、5 を繰り返してプログラムしていく

- 使用するMDの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、**CLEAR** キーを押してから、**セレクター** CD SEL. キーを押して直してください。
- REPEAT** (C) キーは働きません。

- 7 **OTE** キーを押して、録音をスタートする

- CDがトレイ内で交換中は、MDの録音は一時停止しています。
- MDの収録時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。



プログラムした曲を取り消す  
プログラム録音を解除する

→ [63]

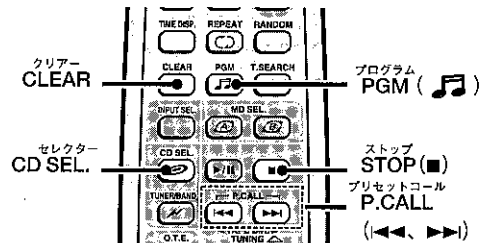
→ [63]



録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

## 1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→TAPE) (プログラム録音)

3枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに収録することができます。カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



録音の準備が必要です(手順 1~6)

### 1 停止状態を確認する

- 再生中のときは、<sup>ストップ</sup>STOP(■)キーを押す

### 2 PGM(🎵)キーを押して、"P-"表示を点灯させる

### 3 CD SEL.キーを押して、ディスクを選ぶ

### 4 8秒以内に<sup>プリセットコール</sup>P.CALL(⏮️、⏭️)で曲番号を選ぶ

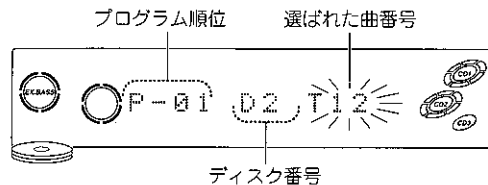
### 5 8秒以内に<sup>プログラム</sup>PGM(🎵)キーを押して、選んだ番号を確定する

### 6 手順 3、4、5を繰り返してプログラムしていく

- 使用するTAPEの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、<sup>クリア</sup>CLEARキーを押してから、<sup>リPEAT</sup>REPEAT(C)キーは働きません。

### 7 カセットデッキ(別売)の CCRSキーを押して、編集録音をスタートする

- 約60秒間で(CDの内容によって差があります)録音レベルの調整が行われた後、録音が始まります。
- 2枚以上のCDから編集する場合、ディスクが切り換わるたびに、CCRS設定が行われます。



CCRSとは (カセットデッキ(別売)のみ)

CDをワンタッチでカセットテープに録音する機能です。

CCRSキーを押すと、約60秒間で(CDの内容によって差があります)、CDの内容と、使用するテープの特性を調べて、録音レベルが自動的に設定され、録音が始まります。録音が終了すると、自動的に停止します。

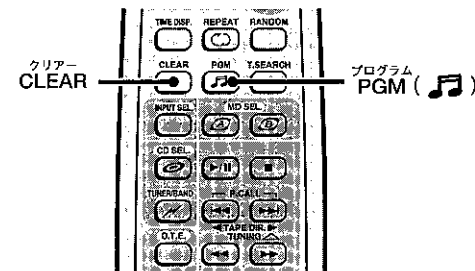
電源をオフ(スタンバイ)にしたり、CDを停止すると設定は解除されます。

プログラムした曲を取り消す - 63

プログラム録音を解除する - 63



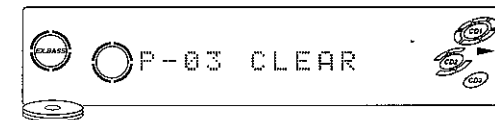
- CDプレーヤー・レシーバー部の再生中にCCRSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
- クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
- デッキが片面録音(☺️)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。



### プログラムした曲を取り消す(停止中)

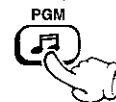


<sup>クリア</sup>CLEARキーを押したときの表示例



- <sup>クリア</sup>CLEARキーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

### プログラム録音を解除する(停止中)

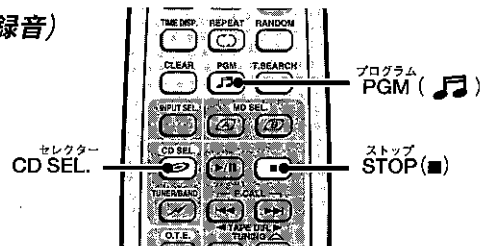


- CD1~CD3(▲)キーを押すと、取り出されたディスクのみプログラムから削除します。



# テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする (CD→TAPEのみ) (フェード編集録音)

テープの折り返しにかかった曲をフェードアウトし、うら面は、その曲の途中からフェードインします。テープ終端にかかった曲は、フェードアウトされます。カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



録音の準備が必要です(手順 1~4) - [53]

## 1 停止状態を確認する

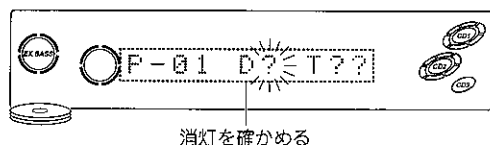
- 再生中のときは、STOP(■)キーを押す

## 2 プログラム PGM(🎵)キーを押して、"P-"表示を消灯させる

## 3 CD SEL.キーを押して、ディスクを選ぶ

## 4 カセットデッキ(別売)の CCRS キーを押して、編集録音をスタートする

- 約60秒で(CDの内容によって差があります)録音レベルの調整が行なわれた後、録音が始まります。
- CDの曲順で録音されます。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。



1. CDプレーヤー・レーザー部の再生中にCCRSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
3. デッキが片面録音(二)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。
4. テープ終端にかかった曲がフェードアウトされる時、前曲との曲間が短いと、前曲の最後も一部消去されることがあります。

## 編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。 - [102]

### MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませう。 - [103]

ミニディスクの編集中は、CT-H90(サイバータイター;別売)からの記録はできません。

### ミニディスクや曲にタイトルをつける (変更、消去する) - [80]

タイトルをエリア別に消去する (TITLE AREA ERASE) - [82]

タイトルをコピーして、他のミニディスクや曲につける (TITLE COPY) - [84]

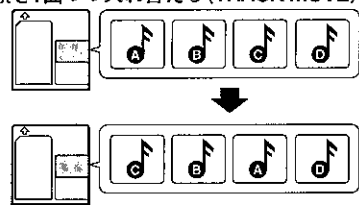
編集した内容を取り消す (EDIT CANCEL) - [86]

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります)

### 曲順の入れ替え

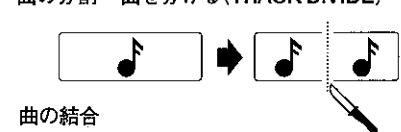
曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE) - [66]

曲順を1曲づつ入れ替える (TRACK MOVE) - [68]



### 曲の分割と結合

曲の分割 曲を分ける (TRACK DIVIDE) - [70]

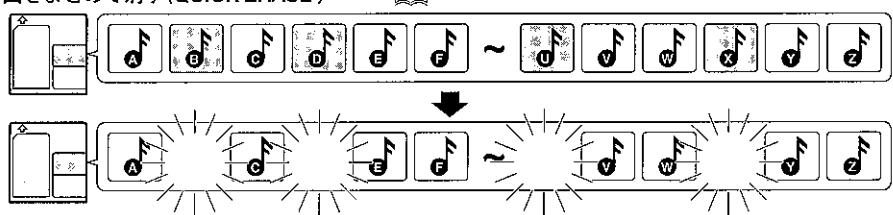


曲の結合

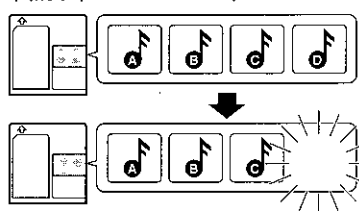


### 曲の消去

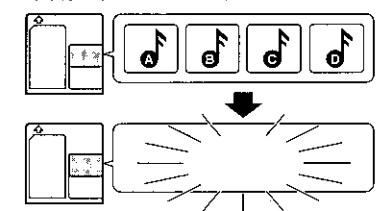
曲をまとめて消す (QUICK ERASE) - [74]



1曲消す (TRACK ERASE) - [76]



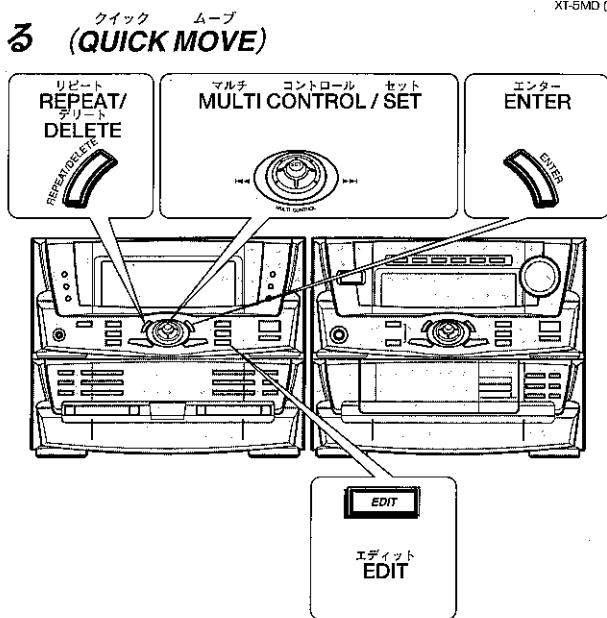
全曲消す (ALL ERASE) - [77]



応用編

# 曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。



1回の処理で入れ替えられるのは、32曲までです。

停止中に操作してください。SLOT A または SLOT B の MD1~MD3 キーで編集したいミニディスクを選んでください。

**1** EDIT キーを押す

**2** MULTI CONTROL つまみを上下に倒して、"Q.MOVE" を選ぶ

**3** SET キーを押して、確定する

途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

**4** MULTI CONTROL つまみを左右に倒して、移動したい曲(トラック番号)を選ぶ

**5** SET キーを押して、確定する

手順2~5を繰り返して、入れ替えたい順に曲を選びます。

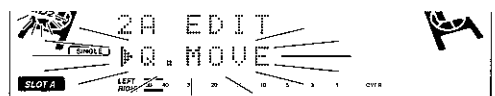
**6** ENTER キーを押して、移動したい曲を確定する

**7** MULTI CONTROL つまみを左右に倒して、選んだ曲をどの曲(トラック番号)の間に移動するかを選ぶ

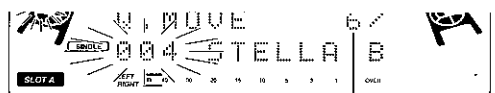
次のページにつづく

途中で中止するときは、もう一度EDITキーを押します。

- MULTI CONTROL つまみ上下方向の操作(↑)
- ① "Q.MOVE" : 曲順をまとめて入れ替える
- ② "Q.ERASE" : 曲をまとめて消す
- ③ "EDIT CANCEL" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ-86)

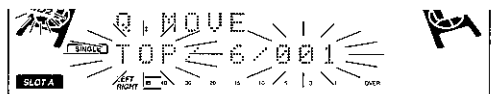


選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しには、MULTI CONTROL つまみとSETキーを使います。詳しくは、"選んだ曲を確認するには"、"選んだ曲を取消すには"を参照してください。



選ばれている曲(トラック)数

選んだ曲をミニディスクの冒頭に移動する場合(ミニディスクの最初と1曲目の間)の例

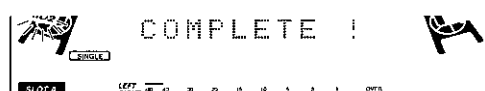
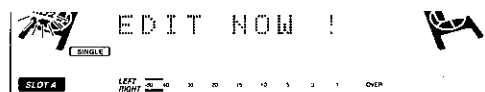


**8** SET キーを押して、確定する

**9** "MOVE ok?" と表示したら、ENTER キーを押して、曲の入れ替えを実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ替えの途中でEDITキーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON/STANDBY(I/O)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

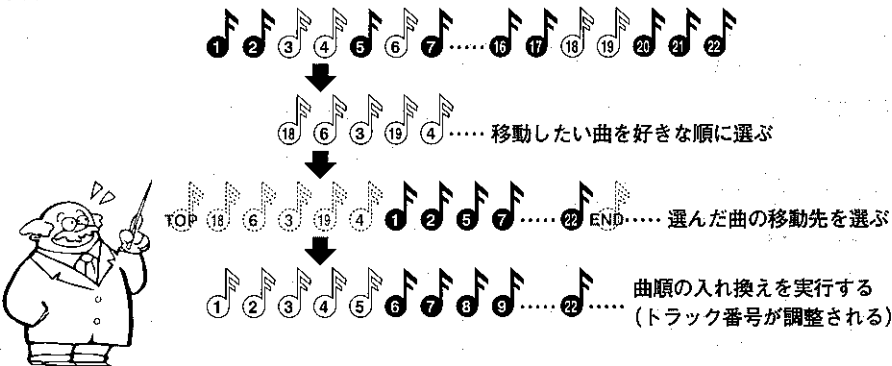
**10** 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -86

"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

## 曲順をまとめて入れ替えるイメージ



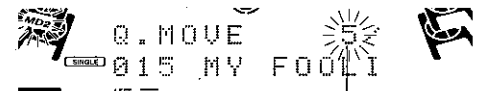
選んだ曲を確認するには

- MULTI CONTROL つまみを一旦上に倒してから、左右に倒して確認する
- MULTI CONTROL つまみを下に倒して選択モードに戻る

選んだ曲を取消すには

- REPEAT/DELETEキーを押して、最後に選んだ曲番号(トラック番号)から順に取消す

5番目にトラック番号15の曲が予約されている場合



選ばれている曲数の点滅中に確認する

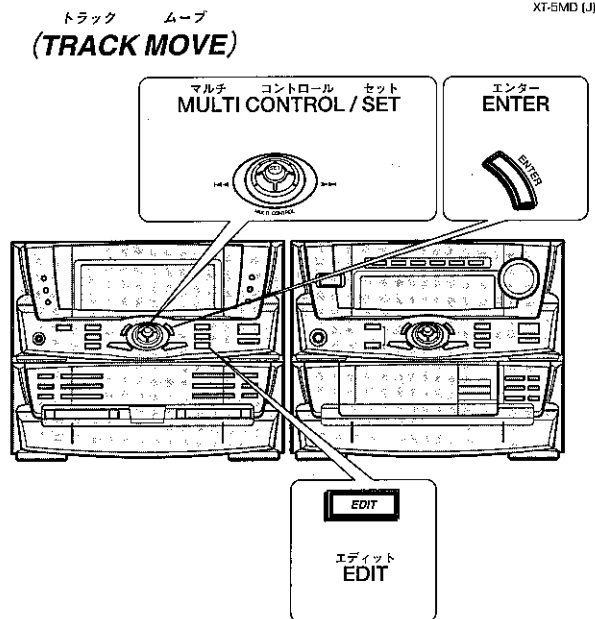
16番目に選ばれているトラック番号22の曲を取消す場合



取り消されたトラック番号(曲番号)がスクロールします

## 曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

再生中の曲を、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ換えることができます。



再生中または再生一時停止中に操作してください。SLOTAまたはSLOTBのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。

### 1 移動したい曲の再生中または再生一時停止中にEDITキーを押す

途中で中止するときは、もう一度EDITキーを押します。

### 2 MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"MOVE"を選ぶ

- マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑↓)
- ① "DIVIDE" : 曲を分ける
  - ② "COMBINE" : 曲をつなぐ
  - ③ "ERASE" : 1曲消す
  - ④ "MOVE" : 曲順を1曲ずつ入れ替える

### 3 SETキーを押して、確定する

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されず。

### 4 SETキーを押して、移動したい曲を確定する

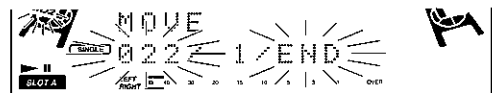
手順④で7曲目の再生中(または再生一時停止中)にEDITキーを押した場合の例

### 5 MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、何曲目(トラック番号)に移動するかを選ぶ



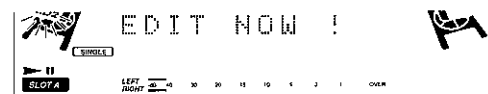
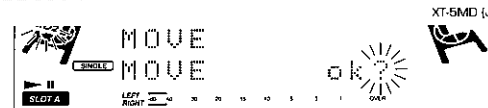
### 6 SETキーを押して、確定する

選んだ曲をミニディスクの末尾に移動する場合(ミニディスクの最後と22曲目の間)の例



次のページにつづく

### 7 "MOVE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の入れ替えを実行する



- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON/STANDBY(I/O)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - 86

### 8 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

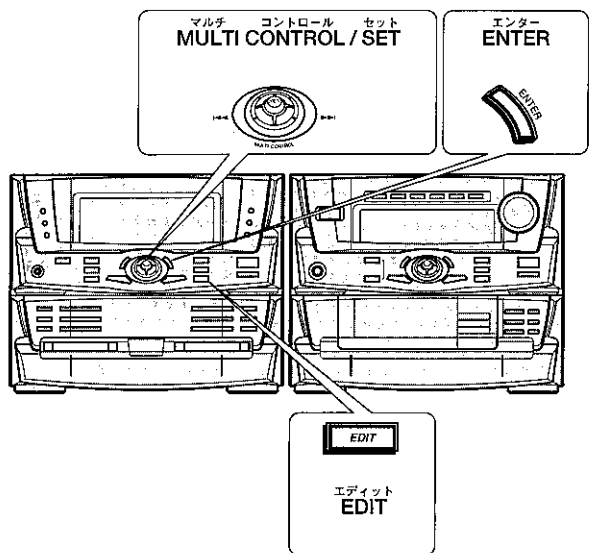
"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

#### 曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ



# 曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。



再生中または再生一時停止中に操作してください。SLOTAまたはSLOT BのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。

## 1 分割したい曲を再生する

## 2 分割したいところまできたら、EDITキーを押す

## 3 MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"DIVIDE"を選ぶ

## 4 SETキーを押して、確定する

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

分割の微調整をしないときは、手順 2の後にENTERキーを押してから手順 3へ進みます。("DIVIDE ok?"と表示されます。)

## 5 MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、分割したいところを微調整する(プレビュー再生)

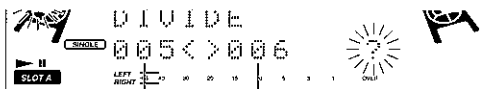
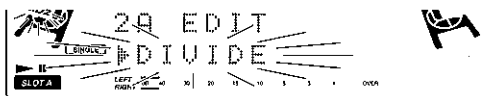
一時停止しているところから後の約3秒間を繰り返し再生します。

- 音を聴きながら、微調整することができます。
- 調整できる範囲は、手順 2でEDITキーを押して一時停止したところから、後に32ステップです。(1ステップは約6/100秒)

次のページにつづく

途中で中止するときは、もう一度EDITキーを押します。

- マルチ コントロール  
MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)
- ① "DIVIDE" : 曲を分ける
  - ② "COMBINE" : 曲をつなぐ
  - ③ "ERASE" : 1曲消す
  - ④ "MOVE" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



再生一時停止中の曲のトラック番号

分割によってできる曲のトラック番号



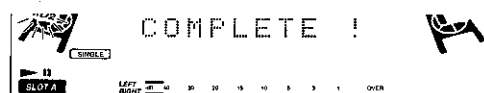
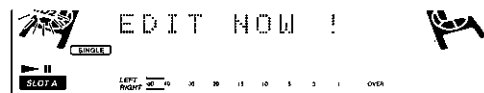
## 6 SETキーを押して、確定する

## 7 "DIVIDE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の分割を実行する

- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲の最初で再生一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、分割が途中で中断されることがあります。

手順 7~8を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

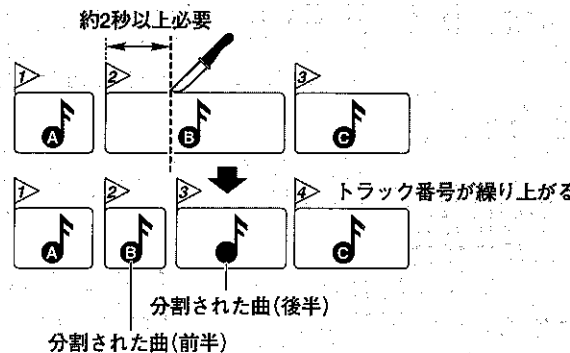
## 8 編集終了後、MD1~MD3 (▲) キーを押してミニディスクを取り出す



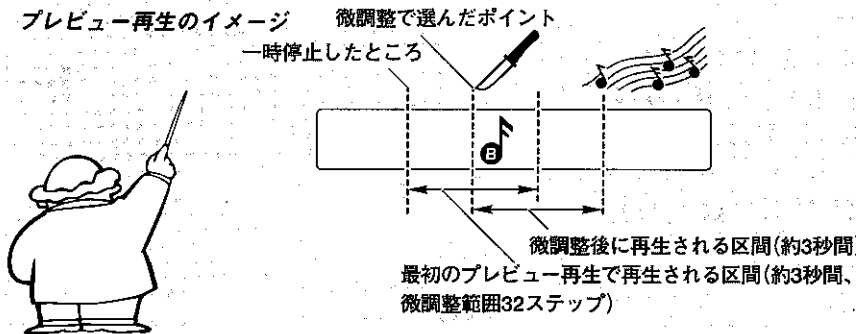
ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態で戻すことができます。 -86-

"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 曲を分割するイメージ

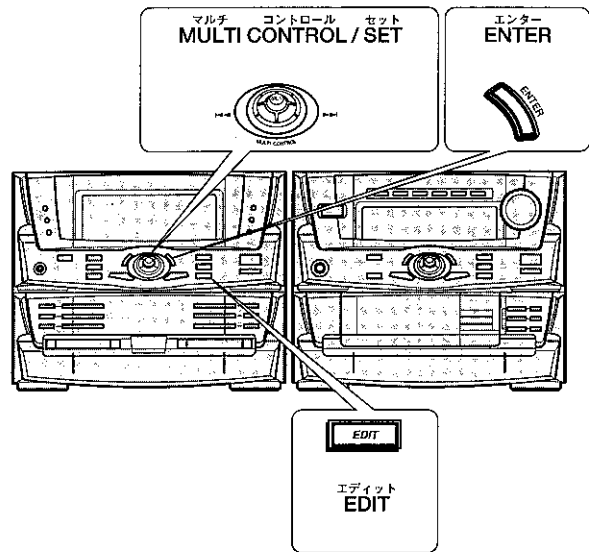


### プレビュー再生のイメージ



## 曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。コンバイン実行後は、トラック番号が自動的に減少する場合があります。



再生中または再生一時停止中に操作してください。SLOT AまたはSLOT BのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。

**1** つないだときに前半にしたい曲を再生する

**2** 再生中にEDITキーを押す

**3** MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"COMBINE"を選ぶ

**4** SETキーを押して、確定する

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

**5** MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、つないだときに後半となる曲(トラック番号)を選ぶ

**6** SETキーを押して、確定する

次のページにつづく

途中で中止するときには、もう一度EDITキーを押します。

- MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)
- ① "DIVIDE" : 曲を分ける
  - ② "COMBINE" : 曲をつなぐ
  - ③ "ERASE" : 1曲消す
  - ④ "MOVE" : 曲順を1曲ずつ入れ替える

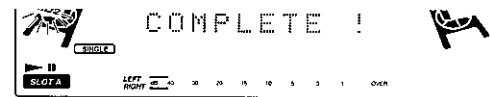
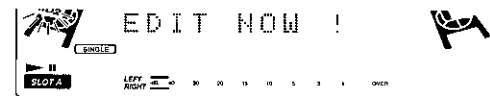


4曲目と1曲目をつなぐ場合の例



**7** "COMBINE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の結合を実行する

- 結合された曲の最初で再生一時停止になります。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、結合が途中で中断されることがあります。



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - [86]

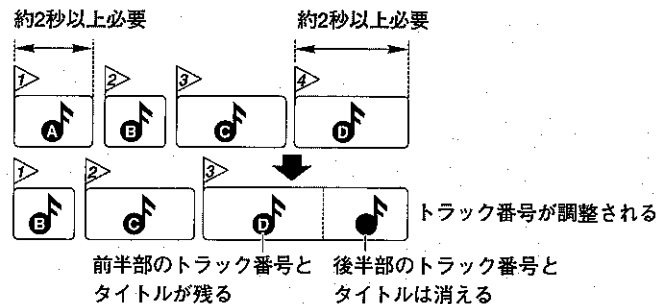
**8** 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

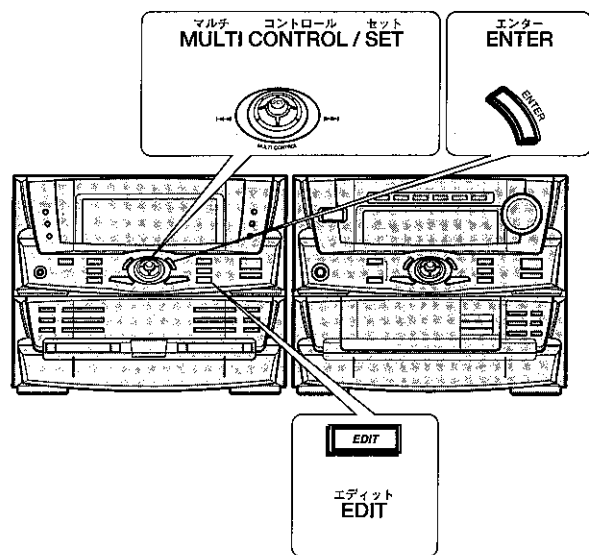
曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



## 曲をまとめて消す (QUICK ERASE)

曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲を消去することができます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。



1回の処理で消せるのは、32曲までです。

停止中に操作してください。SLOTA または SLOT B の MD1~MD3 キーで編集したいミニディスクを選んでください。

### 1 エディット EDIT キーを押す

### 2 MULTI CONTROL つまみを上下に倒して、"Q.ERASE" を選ぶ

### 3 SET キーを押して、確定する

途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

### 4 MULTI CONTROL つまみを左右に倒して、消したい曲(トラック番号)を選ぶ

### 5 SET キーを押して、確定する

手順 ④~⑤ を繰り返して、消したい曲を選びます。

●全曲消したい場合、("ALL ERASE"表示を選ぶ)場合は、"全曲消す"を参照してください。

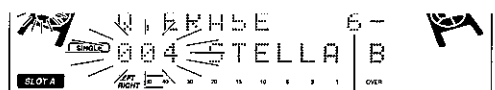
### 6 ENTER キーを押して、消したい曲を確定する

次のページにつづく

途中で中止するときは、もう一度 EDIT キーを押します。



選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しには、MULTI CONTROL つまみと SET キーを使います。詳しくは、"選んだ曲を確認するには"、"選んだ曲を取消すには"を参照してください。

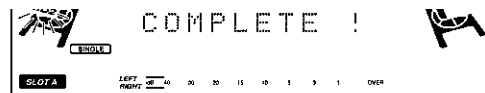


選ばれている曲(トラック)数



### 7 "ERASE ok?" と表示したら、ENTER キーを押して、曲の消去を実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 消去の途中で EDIT キーを押した場合、選ばなかった曲は、消す範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE"表示中に MD1~MD3 (▲) キーや、ON / STANDBY (I/O) キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。



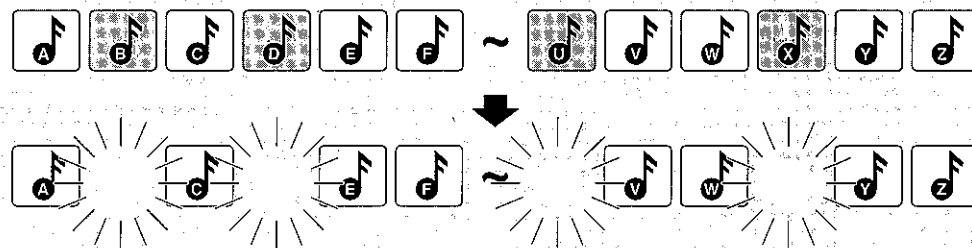
ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。

### 8 編集終了後、MD1~MD3 (▲) キーを押してミニディスクを取り出す



"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 曲をまとめて消すイメージ

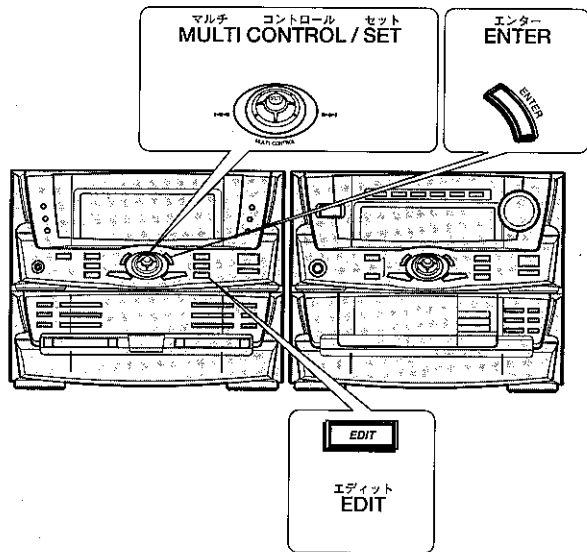


## 1曲消す (TRACK ERASE)

トラック イレース

選んだ1曲のみを消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。  
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

再生中または再生一時停止中に操作してください。スロットAまたはスロットBのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。



### 1 消したい曲を再生する

### 2 再生中に EDIT キーを押す

### 3 MULTI CONTROL つまみを上下に倒して、"ERASE" を選ぶ

### 4 SET キーを押して、確定する

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

### 5 SET キーを押して、消したい曲(トラック番号)を確定する

### 6 "ERASE ok?" と表示したら、ENTER キーを押して、曲の消去を実行する

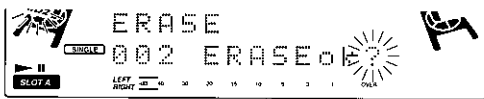
- 消去された次の曲の最初で再生一時停止になります。
- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

### 7 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

途中で中止するときは、もう一度EDITキーを押します。

MULTI CONTROL つまみ上下方向の操作(↑)

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ① "DIVIDE"  | : 曲を分ける        |
| ② "COMBINE" | : 曲をつなぐ        |
| ③ "ERASE"   | : 1曲消す         |
| ④ "MOVE"    | : 曲順を1曲ずつ入れ替える |



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - (86)

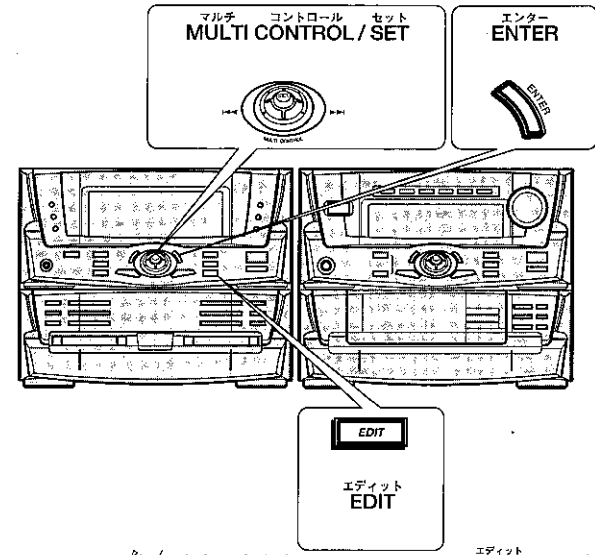
"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

## 全曲消す (ALL ERASE)

オール イレース

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

停止中に操作してください。スロットAまたはスロットBのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。



### 1 EDIT キーを押す

### 2 MULTI CONTROL つまみを上下に倒して、"Q.ERASE" を選ぶ

### 3 SET キーを押して、確定する

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

### 4 "ALL ERASE" と表示したら、SET キーを押して、確定する

### 5 "ALL ERASE ok?" と表示したら、ENTER キーを押して、曲の消去を実行する

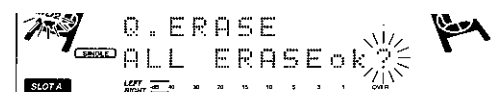
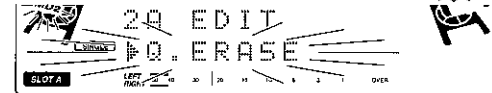
- ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

### 6 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

途中で中止するときは、もう一度EDITキーを押します。

MULTI CONTROL つまみ上下方向の操作(↑)

- |                 |                                  |
|-----------------|----------------------------------|
| ① "Q.MOVE"      | : 曲順をまとめて入れ替える                   |
| ② "Q.ERASE"     | : 曲をまとめて消す                       |
| ③ "EDIT CANCEL" | : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ) - (86) |



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - (86)

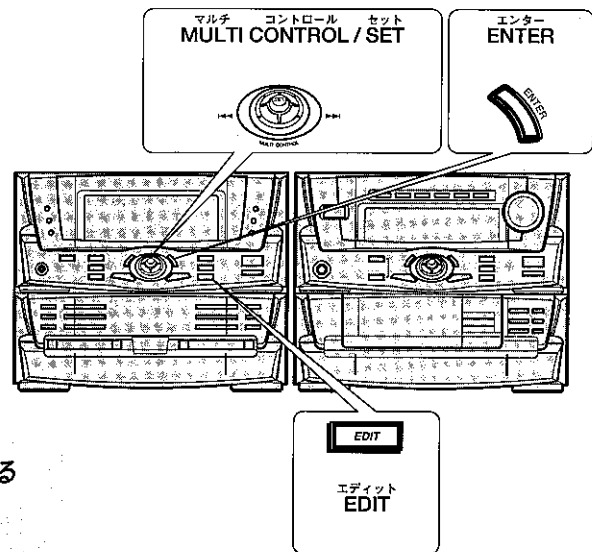
"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

## 曲の一部分を消す

- ① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にする。
- ② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。

この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

再生中または再生一時停止中に操作してください。SLOT AまたはSLOT BのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。



### 1 一部分を消したい曲を再生する

### 2 消したい部分の最後を決める

- ① 消したい部分の最後まできたら、EDITキーを押す
  - ② MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"DIVIDE"を選ぶ
  - ③ SETキーを押して、確定する
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

分割の微調整をしないときは、手順③の後にENTERキーを押してから手順④へ進みます。("DIVIDE ok?"と表示されます。)

- ④ MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、分割したいところを微調整する(プレビュー再生)
- 一時停止しているところから後の約3秒間を繰り返して再生します。

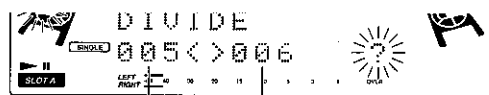
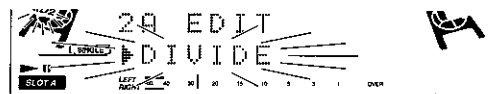
- 音を聴きながら、微調整することができます。
- 調整できる範囲は、手順①でEDITキーを押して一時停止したところから、後に32ステップです。(1ステップは約6/100秒)

- ⑤ SETキーを押して、確定する
- ⑥ "DIVIDE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の分割を実行する

途中で中止するときは、もう一度EDITキーを押します。

### MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

- ① "DIVIDE" : 曲を分ける
- ② "COMBINE" : 曲をつなぐ
- ③ "ERASE" : 1曲消す
- ④ "MOVE" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



再生一時停止中の曲のトラック番号 分割によってできる曲のトラック番号



次のページにつづく

- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲の最初で再生一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON/STANDBY(I/O)キーを押すと、分割が途中で中断されることがあります。

### 3 同様に、消したい部分の最初を決める

### 4 ERASEを選ぶ

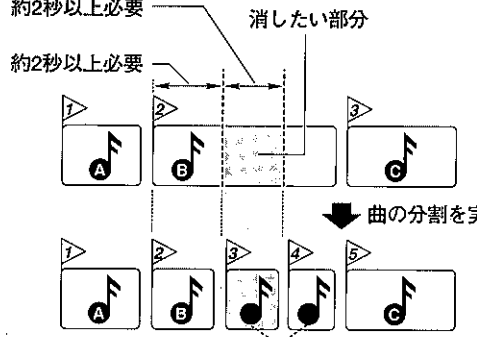
- ① EDITキーを押す
- ② MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"ERASE"を選ぶ
- ③ SETキーを押して、確定する
- ④ SETキーを押して、消したい曲(トラック番号)を確認する

### 5 "ERASE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の消去を実行する

- 消された次の曲の最初で再生一時停止になります。
- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON/STANDBY(I/O)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。

### 6 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

曲を分ける (TRACK DIVIDE) イメージ 約2秒以上必要



DIVIDE機能で分割され、「曲」になる

- 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけTRACK DIVIDEを行なってください。



### MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↓)

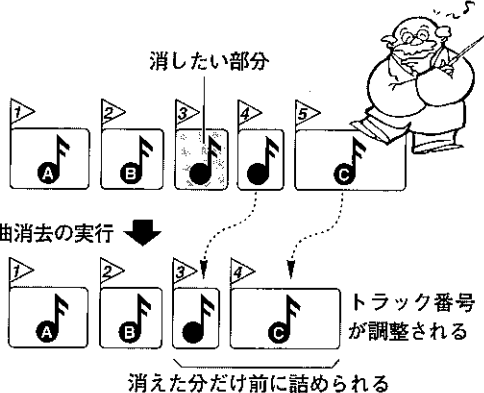
- ① "DIVIDE" : 曲を分ける
- ② "COMBINE" : 曲をつなぐ
- ③ "ERASE" : 1曲消す
- ④ "MOVE" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -86-

"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 1曲消す (TRACK ERASE) イメージ

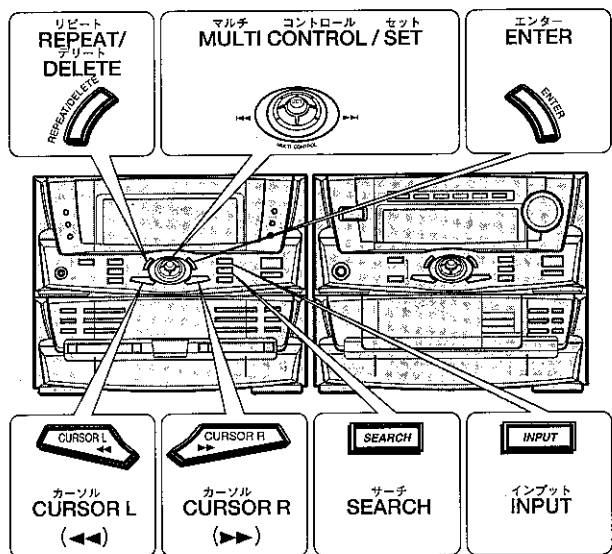


消えた分だけ前に詰められる



### ミニディスクや曲にタイトルをつける (変更、消去する)

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。



停止中、または再生中に操作してください。SLOTAまたはSLOT BのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。

#### 1 INPUTキーを押す

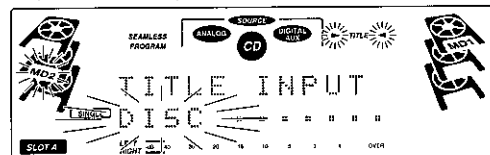
- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。  
"表示部(MDレコーダー部)"
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

#### 2 MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

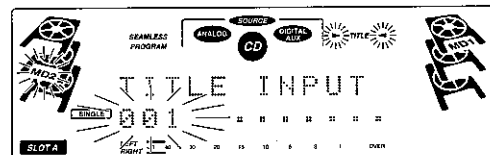
#### 3 SETキーを押して、確定する

途中で中止するときは、もう一度INPUTキーを押します。

ディスクタイトル(ミニディスク名)の場合



トラックタイトル(曲名)の場合



#### 4 MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、入力する文字グループ(記憶させたタイトル)を選ぶ

#### 5 MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、目的の文字(記憶させたタイトルの番号)を選択カーソルに合わせる

#### 6 SETキーを押して、確定する

- 入力カーソルは、CURSOR R(▶▶)、CURSOR L(◀◀)キーで移動できます。
- 途中で文字グループをかえたい場合は、MULTI CONTROLつまみを上下に傾けて、選び直します。

手順⑤~⑦を繰り返して、タイトルを入力します。

#### 7 ENTERキーを押して、タイトルを書き込む

#### 8 INPUTキーを押して、終了する

#### 9 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

ミニディスクを取り出したたり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。

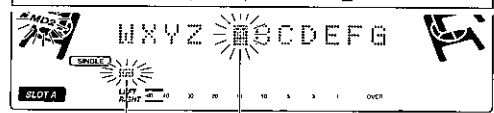
#### 入力できる文字数について

ミニディスク全体で"カナ"エリアは最大1792文字、"漢字"エリアは最大896文字(別売サイバータイトラーCT-H90と接続時のみ)、1曲につき最大80文字まで入力できます。(文字の種類によっては最大の文字数まで入力できない場合があります。)

#### MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

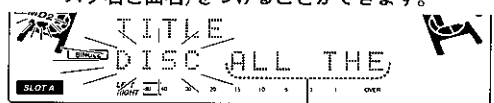
- ① "...ABCDEFGG..." : アルファベット大文字
- ② "...abcdefg..." : アルファベット小文字
- ③ "...?@^\_`0123..." : 各種記号
- ④ "...アイエオカキ..." : カタカナ
- ⑤ "...アイエオツヤ..." : ④で選ばれた文字の小文字、濁音、半濁音
- ⑥ "[123]" : タイトルコピーで記憶されている文字の呼び出し

各種の記号について 次の各種の記号を選ぶことができます。  
!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@\_`



入力カーソル 選択カーソル

手順⑨の前に続けて手順③~⑧を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。



入力されたタイトル タイトルがスクロールします

"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

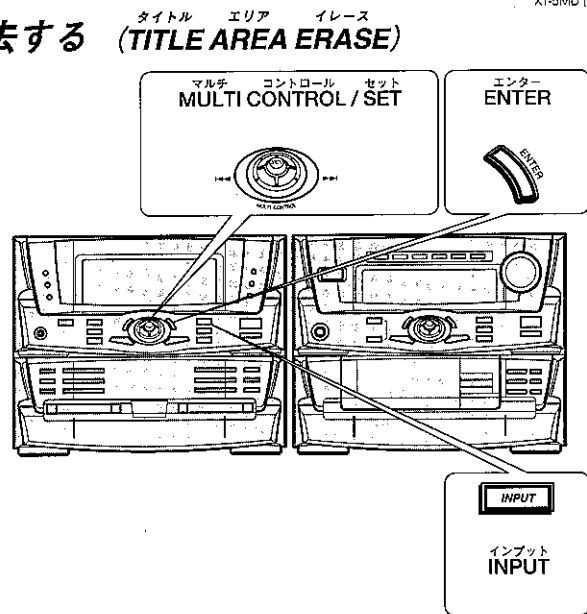
キー機能について  
CURSOR L(◀◀)、CURSOR R(▶▶)キー：入力カーソルの位置を移動します。  
REPEAT/DELETEキー：カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。  
SEARCHキー：カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力すること)もできます。

本機では、漢字の入力および表示はできません。サイバータイトラーCT-H90(別売)と接続した場合のみ、タイトラー本体で可能です。

XT-5MD (J)

### タイトルをエリア別に消去する (TITLE AREA ERASE)

"漢字"エリア、"カナ"エリアをエリア別に消去することができます。  
"本機で入力できる文字について("カナ"エリアと"漢字"エリアの違い)" - 83



停止中。または再生中に操作してください。SLOT AまたはSLOT BのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。

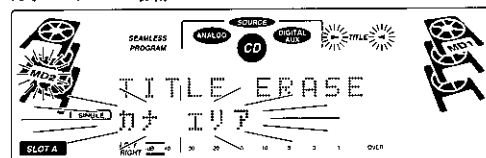
#### 1 INPUTキーを押す

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。  
"表示部(MDレコーダー部)" - 84
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかります。

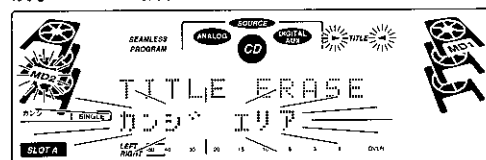
#### 2 MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"カナ エリア"または"カンジ エリア"を選ぶ

#### 3 SETキーを押して、確定する

カナエリアの場合



漢字エリアの場合



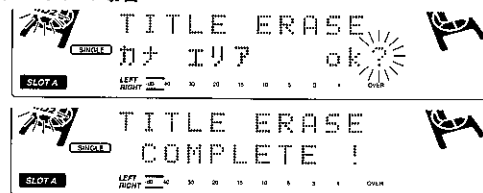
次のページにつづく

本機では、漢字の入力および表示はできません。サイバータイトラーCT-H90(別売)と接続した場合のみ、タイトラー本体で可能です。

XT-5MD (J)

#### 4 "TITLE ERASE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、タイトルの消去を実行する

カナエリアの場合



#### 5 INPUTキーを押して、終了する



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - 86

#### 6 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

本機で入力できる文字について("カナ"エリアと"漢字"エリアの違い)

本機で入力できる文字は以下の"カナ"エリアのみです。

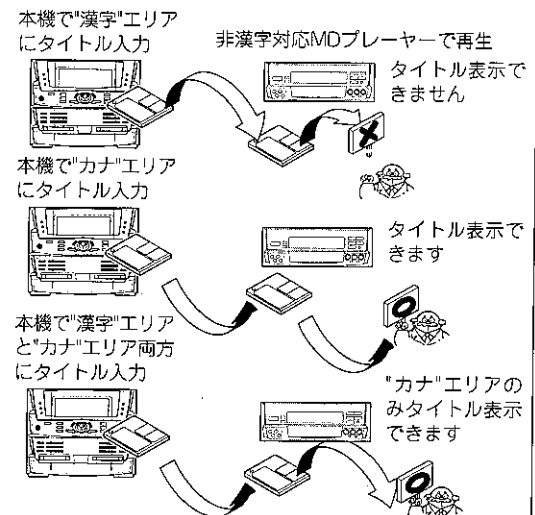
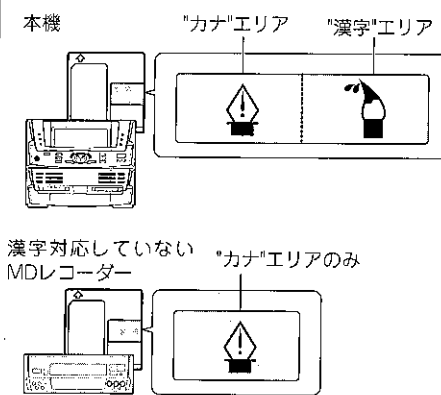
"カナ"エリア；  
カタカナ、数字、アルファベット、記号

本機と別売サイバータイトラーCT-H90が接続されている場合、サイバータイトラーからのみ以下の"漢字"エリアが入力できます。

"漢字"エリア；  
ひらがな、漢字、カタカナ、数字、アルファベット、記号

従来のMDレコーダーの漢字に対応していなかったものは"カナ"エリアのみしか使えません。

したがって、従来の(漢字対応以外)MDレコーダーでタイトルをつけたミニディスクを本機で再生すると、上記の"カナ"エリアのみ表示します。また、逆に本機で"漢字"エリアのみタイトルをつけたミニディスクを本機以外(漢字対応以外)のMDレコーダー(またはプレーヤー)で再生しても、タイトルを表示しません。この場合は"カナ"エリアにもタイトルをつけてください。本機のみで録音・再生する場合は、"漢字"エリアのみにタイトルをつけても問題はありません。



応用編

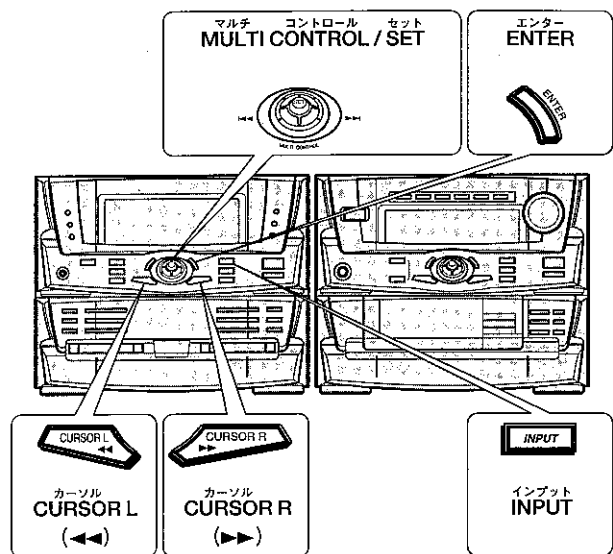
本機では、漢字の入力および表示はできません。サイバータイトラーCT-H90(別売)と接続した場合のみ、タイトラー本体で可能です。

MDの編集機能

XT-5MD (J)

## タイトルをコピーして、他のミニディスクや曲につける (TITLE COPY)

すでに入力されているディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)をコピーして、他のタイトルとして使うことができます。同時に三つまでのタイトルを記憶しておくことができます。



再生用または録音禁止 (PROTECT) のミニディスクのタイトルはコピーできません。

停止中、または再生中に操作してください。SLOT AまたはSLOT BのMD1~MD3キーで編集したいミニディスクを選んでください。

### 1 タイトルをコピーする

① INPUTキーを押す

② MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"TITLE COPY [1]"~"TITLE COPY [3]"のうちのいずれかを選ぶ

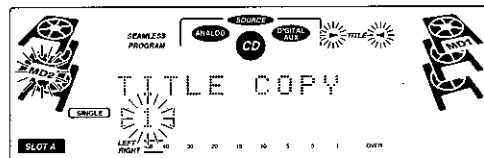
③ SETキーを押して、確定する

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。"表示部(MDレコーダー部)"
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

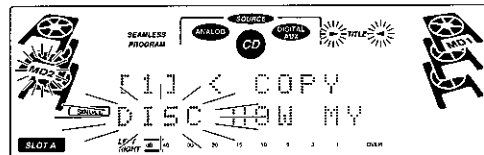
④ MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、タイトルをコピーしたいディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

途中で中止するときは、もう一度INPUTキーを押します。

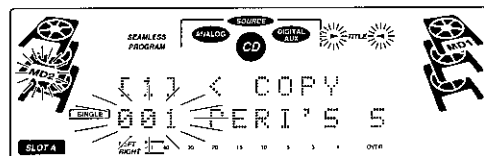
"TITLE COPY [1]"を選んだ場合



ディスクタイトル(ミニディスク名)の場合



トラックタイトル(曲名)の場合



次のページにつづく

MDの編集機能

XT-5MD (J)

本機では、漢字の入力および表示はできません。サイバータイトラーCT-H90(別売)と接続した場合のみ、タイトラー本体で可能です。

- ENTERキーを押して、タイトルのコピーを実行する
- INPUTキーを押して、終了する

手順②~⑤を繰り返して、タイトルコピー1~タイトルコピー3まで記憶できます。

### 2 コピーしたタイトルを他のミニディスクや曲に付ける

- SLOT AまたはSLOT BのMD1~MD3キーを押して、目的のミニディスクを選ぶ
- INPUTキーを押す

- MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、コピーしたタイトルを付けたいディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ
- SETキーを押して、確定する
- CURSOR L(◀)、CURSOR R(▶)キーで入力カーソルをコピーしたタイトルを挿入したい所の直後の文字に合わせる

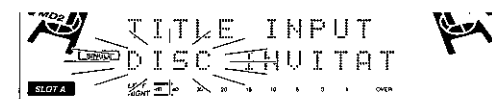
- 既に付けられているタイトルをコピーしたタイトルと入れ換えたい場合は、REPEAT/DELETEキーを使って元のタイトルをすべて削除します。

- MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"[1 2 3]"を選ぶ
- MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"[1 2 3]"のうちから目的のタイトルを選ぶ
- SETキーを押して、確定する
- ENTERキーを押して、コピーしたタイトルの挿入を実行する
- INPUTキーを押して、終了する

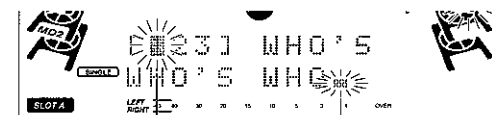
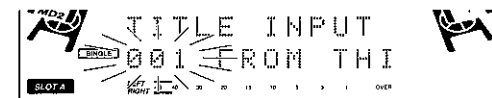
### 3 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



ディスクタイトル(ミニディスク名)の場合



トラックタイトル(曲名)の場合



選択カーソル 入力カーソル  
MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

- "...ABCDEFGH..." : アルファベット大文字
- "...abcdefgh..." : アルファベット小文字
- "...?@^\_`0123..." : 各種記号
- "...アイウエオカキ..." : カタカナ
- "...アイウエオツヤ..." : ④で選ばれた文字の小文字、濁音、半濁音
- "[123]" : タイトルコピーで記憶されている文字の呼び出し

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←)

- "1" : タイトルコピー1
- "2" : タイトルコピー2
- "3" : タイトルコピー3



ミニディスクを取り出したり、新たな録音をしたり、MD1~MD3キーで別のディスクを選ぶ前に、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - [89]

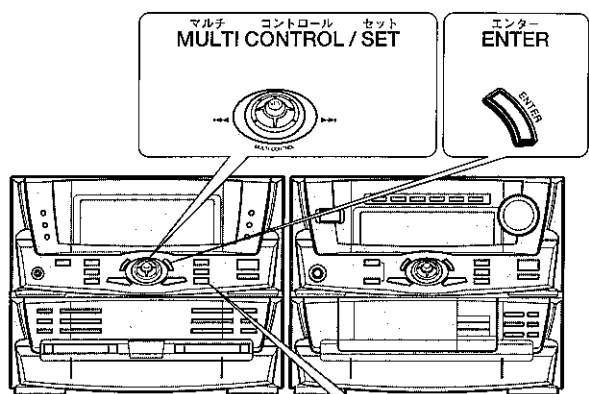
"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

## 編集した内容を取り消す (EDIT CANCEL)

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万が一、編集後にミニディスクを取り出したり、現在編集しているディスク以外のMD1～MD3キーを押したり、他の録音をしたりとすると、取り消すことができなくなりますのでご注意ください。取り消した後、改めてご希望の編集を行ってください。

エディット キャンセル

(EDIT CANCEL)



停止中に操作してください

### 1 編集後にミニディスクを取り出す前にEDITキーを押す

### 2 MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"EDIT CANCEL"を選ぶ

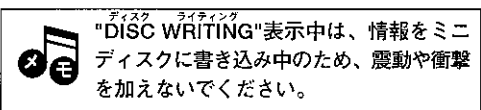
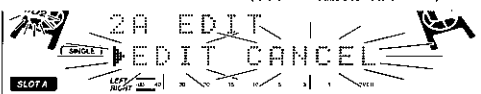
MULTI CONTROLつまみを操作しても、"EDIT CANCEL"が表示されない場合は、編集を取り消すことができません。

### 3 SETキーを押して、確定する

### 4 "CANCEL ok?"と表示されたら、ENTERキーを押して、実行する

### 5 編集終了後、MD1～MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

- MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)
- ① "Q.MOVE" : 曲順をまとめて入れ替える
  - ② "Q.ERASE" : 曲をまとめて消す
  - ③ "EDIT CANCEL" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)



"DISC WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

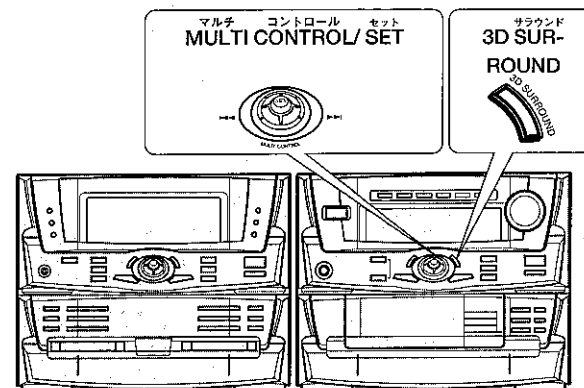
## 効果的な音質調整

本機では、イコライザーと音場再生を選ぶことができます。イコライザーは聴く音楽ジャンルによってお好みで選んでください。また、音場モードは、お好みの雰囲気でお楽しみください。

### 音場効果を楽しむ

#### 3D SURROUNDを体験する

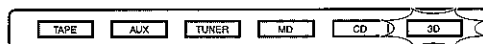
3次元的な音響空間を作り出すシステムです。奥行き感や音場の広さなどを明らかに向上し、リスニングエリアも広がります。



### 1 3D SURROUNDキーを押して、3D SURROUNDをオンにする

CDプレーヤー・レーザーの文字表示部の"3D"の表示中にキーを押すと、オフになります

入力切替が"CD"の場合の入力インジケータ



"3D"点灯

### 2 MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、効果の強さ(レベル)を調節する

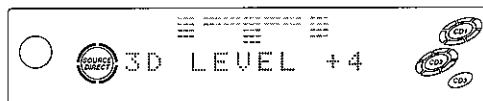
MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←→)

右方向の操作(→) : レベルが上がる  
左方向の操作(←) : レベルが下がる



### 3 5秒以内にSETキーを押して確定する

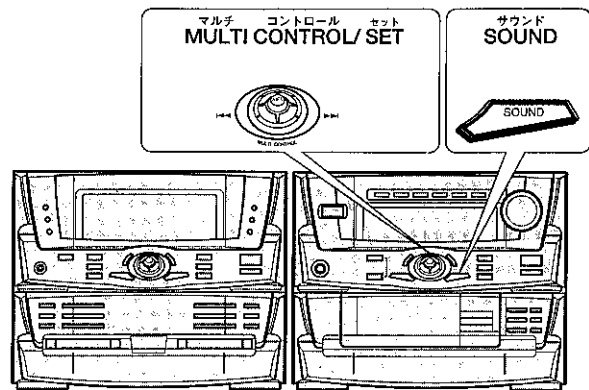
- -10~+10の範囲で調節できます。
- 再生中の曲調などに合わせて、お好みの設定でお楽しみください。



効果の強さ(レベル)の表示

## お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能)

5通りのイコライザーパターンに加えて、あなたの作ったイコライザーパターンを1種類記憶させておき、呼び出して使うことができます。



### イコライザー(周波数バンド)の調整について

イコライザーが"PRESET"(ユーザーメモリー)のときに限り、各周波数バンドの設定項目が表示されます。

### イコライザーパターンを作って記憶させる

お好みのイコライザーパターンを作ることができます。

#### 1 SOUNDキーを押す

#### 2 MULTI CONTROLつまみで表示部から"PRESET"を選ぶ

以下の表示の中から選べます。

- ① EQ
- ② PRESET
- ③ EX.BASS
- ④ NB
- ⑤ SOURCE DIRECT
- ⑥ BALANCE
- ⑦ AUX LEVEL(入力切替がAUX、TAPE時のみ)



#### 3 5秒以内にSETキーを押して確定する

次のページにつづく

### イコライザーパターンを選ぶ

聴いている音楽のジャンルに合わせて、お好みでイコライザーのパターンを選ぶことができます。

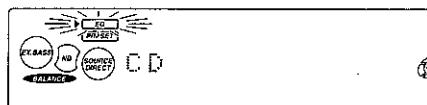
#### 1 聴きたい曲を再生する

#### 2 SOUNDキーを押す

#### 3 MULTI CONTROLつまみで表示部から"EQ"を選ぶ

以下の表示の中から選べます。

- ① EQ
- ② PRESET
- ③ EX.BASS
- ④ NB
- ⑤ SOURCE DIRECT
- ⑥ BALANCE
- ⑦ AUX LEVEL(入力切替がAUX、TAPE時のみ)



#### 4 5秒以内にSETキーを押して確定する

次のページにつづく

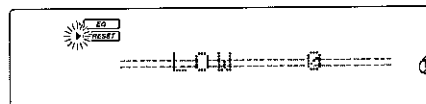
## イコライザーパターンを作って記憶させる (つづき)

#### 4 MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"LOW"、"MID"、"HIGH"のうちいずれかの周波数バンドを選ぶ

- MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)
- ① LOW ..... 低音域(ベースやバスドラムなど)
  - ② MID ..... 中音域(ヴォーカル、ギターなど)
  - ③ HIGH ..... 高音域(シンバルなど)

#### 5 5秒以内にMULTI CONTROLつまみを上下に倒して、レベルを調整する

上方向の操作(↑)：レベルが大きくなる  
下方向の操作(↓)：レベルが小さくなる



● +5~-5の範囲で調節できます。

手順④~⑤を繰り返して、それぞれの周波数バンドのレベルを調整します

#### 6 5秒以内にSETキーを押して確定する



## イコライザーパターンを選ぶ (つづき)

#### 5 MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、聴こうとしているジャンルを選ぶ

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(⇔)

- ① ROCK ..... (ロック)
- ② POP ..... (ポップ)
- ③ CLUB ..... (クラブ)
- ④ JAZZ ..... (ジャズ)
- ⑤ CLASSIC ..... (クラシック)
- ⑥ MANUAL ..... 記憶させたイコライザーパターンを呼び出すことができます
- ⑦ EQ OFF ..... "EQ"消灯：イコライザー解除

#### 6 5秒以内にSETキーを押して確定する

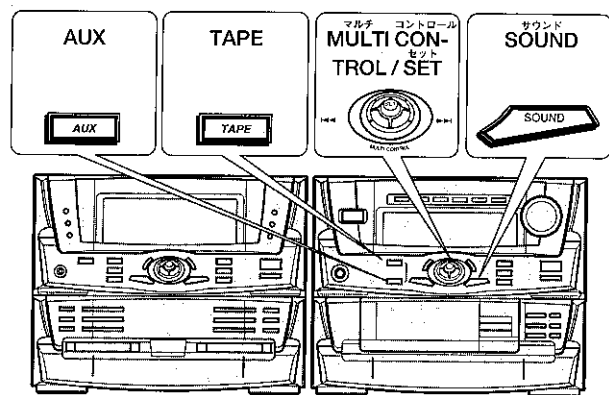
## バランスとインプットレベルの調整

### バランス

左右の音量バランスを調整します。

### インプットレベル

AUX入力端子に接続された外部機器(ビデオデッキ等)、TAPE PLAY端子に接続された外部機器(テープデッキ等)からの音量を調整します。外部機器からの音量が大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。



### バランスの調整

- 1** SOUNDキーを押す
  - 2** MULTI CONTROLつまみで表示部から"BALANCE"を選ぶ
- 以下の表示の中から選べます。

- ① EQ
- ② PRESET
- ③ EX.BASS
- ④ NB
- ⑤ SOURCE DIRECT
- ⑥ BALANCE
- ⑦ AUX LEVEL (入力切替がAUX、TAPE時のみ)

- 3** 5秒以内にSETキーを押して確定する

- 4** MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、バランスを調整する

右方向の操作(→)：左の音が小さくなる  
左方向の操作(←)：右の音が小さくなる



インプットレベルを調整すると、AUX入力端子、およびTAPE PLAY端子に接続された外部機器からの録音レベルも変化します。

"MDに録音する"

- [36]

### インプットレベルの調整

- 1** 音量を調節したい外部機器の入力キー(AUXキーまたはTAPEキー)を押す

- 2** SOUNDキーを押す

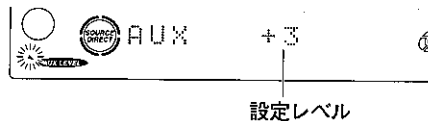
- 3** MULTI CONTROLつまみで表示部から"AUX LEVEL"を選ぶ
- 以下の表示の中から選べます。

- ① EQ
- ② PRESET
- ③ EX.BASS
- ④ NB
- ⑤ SOURCE DIRECT
- ⑥ BALANCE
- ⑦ AUX LEVEL (入力切替がAUX、TAPE時のみ)

- 4** 5秒以内にSETキーを押して確定する

- 5** MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、レベルを調整する

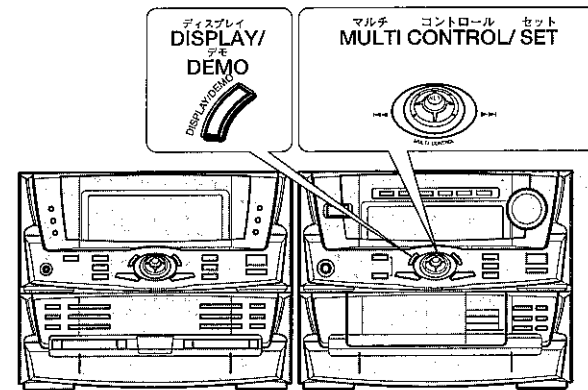
右方向の操作(→)：レベルが大きくなる  
左方向の操作(←)：レベルが小さくなる



● +3～-6の範囲で調節できます。

## 多彩な表示を切り換える

本機のCDプレーヤー・レシーバー表示部には、お好みで選べる立体的に重なって見える2種類の表示内容、音楽に合わせた光りの動きを表現するスペクトラムアナライザーなど、多彩な表示機能を搭載しています。



### デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)が用意されています。イコライザーや音場効果などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

電源をオフ状態にし、キーを押す  
押すたびに切り換わります。



- ① "DEMO ON" (実行)
- ② "DEMO OFF" (デモンストレーション解除)

●電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に働きます。デモンストレーション中にキーを押すと解除できます。

- 1** DISPLAY/DEMOキーを押す

●DEMOオン中は、オフになります。この場合はもう一度キーを押して下さい。

- 2** MULTI CONTROLつまみを左右に倒して、いずれかを選ぶ

- 3** 5秒以内にSETキーを押して確定する

次のページにつづく



リモコンを使って操作する場合は、DISPLAY/DEMOキーの代わりにDISP.MODEキーを、MULTI CONTROLつまみの代わりにPRESET(←、→)キーを、SETキーの代わりにDISP.MODEキーを使って行ってください。

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(↔)

- ① "DOT DISPLAY"：文字表示を切り換えます。
- ② "SPEANA DISP"：スペクトラムアナライザー表示を切り換えます。
- ③ "DISP SELECT"：2重表示を切り換えます。



応用編

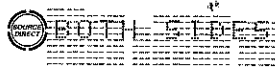
2重表示を切り換える  
(DISP SELECT)

**4** **MULTI CONTROL**つまみを左右に倒して、お好みの表示に切り換える

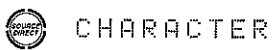
**MULTI CONTROL**つまみ左右方向の操作(↔)

- ① "BOTH SIDES"  
文字表示とスペクトラムアナライザー表示の両方を表示する。
- ② "CHARACTER"  
文字表示のみ表示する。
- ③ "SPEANA"  
スペクトラムアナライザー表示のみ表示する。

① 2重表示



② 文字表示のみ



③ スペクトラムアナライザー表示のみ



**5** 5秒以内に **SET** キーを押して確定する

スペクトラムアナライザー表示を切り換える (SPEANA DISP)

**4** **MULTI CONTROL**つまみを左右に倒して、お好みの表示に切り換える

**MULTI CONTROL**つまみ左右方向の操作(↔)

- ① SPEANA 1
- ② SPEANA 2
- ③ SPEANA 3
- ④ SPEANA 4
- ⑤ SPEANA 5
- ⑥ SPEANA 6
- ⑦ SPEANA 7

●7種類の表示のしかたから選ぶことができます。  
(SPEANA 1~SPEANA 7)



**5** 5秒以内に **SET** キーを押して確定する

文字表示を切り換える  
(DOT DISPLAY)

**4** **MULTI CONTROL**つまみを左右に倒して、お好みの表示に切り換える

**MULTI CONTROL**つまみ左右方向の操作(↔)

入力切替が"CD"の場合

- ① CD TEXT  
CD-TEXTディスクのテキスト表示。(CD-TEXTディスク時のみ)
- ② CD TIME  
PGMモード、CDの時間表示
- ③ CLOCK  
時刻表示

入力切替が"TUNER"の場合

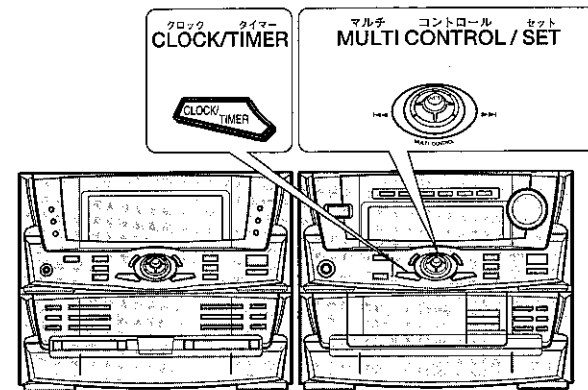
- ① ST. NAME  
受信中の放送局名表示。(放送局をオートプリセット済みのFM時のみ)
- ② FREQUENCY  
プリセットチャンネル、周波数の表示
- ③ CLOCK  
時刻表示

入力切替がその他の場合

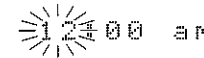
- ① INPUT  
入力切替の表示
- ② CLOCK  
入力切替、時刻表示

**5** 5秒以内に **SET** キーを押して確定する

ACコードをコンセントに接続すると、時計表示が点滅します。説明に従って正確な時刻を合わせてください。



8時45分に合わせる例



**1** **CLOCK/TIMER** キーを押す

**2** **MULTI CONTROL**つまみで表示部から"**CLOCK**"を選ぶ

**3** 5秒以内に **SET** キーを押して確定する

●時間表示が点滅を始めます。

**4** **MULTI CONTROL**つまみを上下左右に倒して、時間を合わせる

**5** 5秒以内に **SET** キーを押して確定する

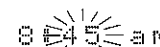
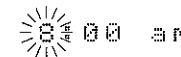
- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時に **SET** キーを押すと正確な時刻表示ができます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

以下の表示の中から選べます。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① PROGRAM 1 | ⑤ A.P.S |
| ② PROGRAM 2 | ⑥ CLOCK |
| ③ O.T.T.    | ⑦ TIMER |
| ④ SLEEP     |         |

**MULTI CONTROL**つまみ上下左右方向の操作(↑、↓、↔)

- 上方向の操作(↑)：時刻が進む
- 下方向の操作(↓)：時刻が戻る
- 右方向の操作(→)："分"の設定
- 左方向の操作(←)："時"の設定



時刻合せを済ませてから、タイマーを設定してください

オペレートイージートゥーユースタイマー(O.T.T.)  
指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生  
が始まり、1時間経つと電源がオフ(ス  
タンバイ)になります。設定直後の1回  
だけ働きます。

### おやすみタイマー(SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源  
が切れます。

タイマー再生、タイマー録音(PROGRAM 1、2)  
設定した時間帯に、選んだソースを再生  
(または放送、外部入力を録音)します。

### AI タイマー再生(PROGRAM 1、2)

タイマー再生開始後、徐々に音量が大き  
くなり、あらかじめ工場設定された音  
量まで上がります。

## カンタンにタイマーを設定する

(Operate easy To use Timer : O.T.T.)

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー  
再生ができます。電源をオフ(スタンバイ)にする前  
に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイ  
マー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフ(ス  
タンバイ)になります。

### 1 聴きたいソースを選び、音量を設定する

### 2 CLOCK/TIMERキーを押す

### 3 MULTI CONTROLつまみで表示部 から"O.T.T."を選ぶ

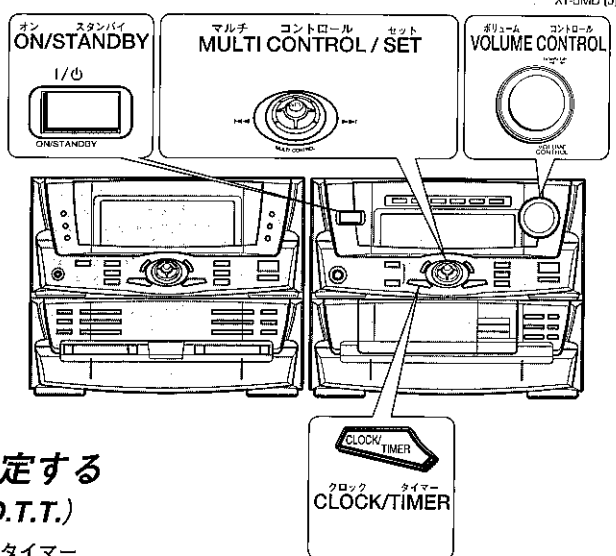
### 4 5秒以内にSETキーを押して確定する

### 5 MULTI CONTROLつまみを左右に 倒して、"O.T.T. ON"を選ぶ

### 6 5秒以内にSETキーを押して確定する

SETキーを押すと、入力ソースおよび、オン  
時刻の表示になります。

再生する機器をかえたい場合は、手順 4 から  
やり直してください。



MDは、ミニディスクからメモリーに読み込まれ  
た情報を元に動作します。

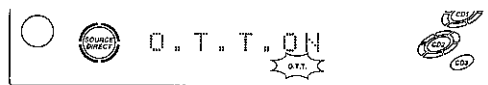
MDでタイマーを設定する前に、メモリーバック  
アップ機能を有効にするため、10分以上電源を  
オン状態にしておいてください。



O.T.T.タイマーによる動作が終了するまで  
は、プログラムタイマーは働きません。

以下の表示の中から選びます。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① PROGRAM 1 | ⑤ A.P.S |
| ② PROGRAM 2 | ⑥ TIMER |
| ③ O.T.T.    |         |
| ④ SLEEP     |         |



MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(↔)

- (→) : "O.T.T. ON" : O.T.T.を使う  
(←) : "O.T.T. OFF" : O.T.T.を使わない



次のページにつづく

タイマーを使う

時刻合せを済ませてから、タイマーを設定してください

### 7 時間表示の点灯中に MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、時間を合わせる

- オン時刻は、5分単位で設定できます。
- 他のタイマーと組み合わせた場合、最後に動作した入力ソースが再生されます。

### 8 5秒以内にSETキーを押して確定する

### 9 ON/STANDBY (I/O) キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする

## 音楽を聴きながら眠る (SLEEP機能)

何分後に電源を切るかを設定します

### 1 ON/STANDBY (I/O) キーを押して、電源をオンにする

### 2 CLOCK/TIMERキーを押す

### 3 MULTI CONTROLつまみで表示部 から"SLEEP"を選ぶ

### 4 5秒以内にSETキーを押して確定する

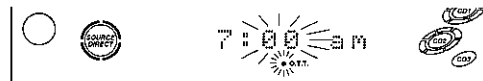
### 5 MULTI CONTROLつまみを左右に 倒して、オフにする時間を設定する

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源が  
オフ(スタンバイ)になります。
- MULTI CONTROLつまみを1回倒すごとに10  
分ずつ変わります。最大約90分まで設定でき  
ます。

### 6 5秒以内にSETキーを押して確定する

### MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑↓)

下方向の操作(↓) : 時刻が進む  
上方向の操作(↑) : 時刻が戻る



オン時刻の表示

解除するには

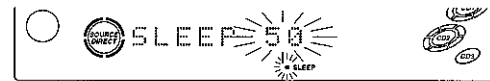
もう一度手順 4 からやり直して、手順 9 で "O.T.T.  
OFF" を選ぶ、または O.T.T.タイマー実行中(電源オ  
ンになってから1時間以内)に ON/STANDBY (I/O)  
キーで電源をオフにする

以下の表示の中から選べます。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① PROGRAM 1 | ⑤ A.P.S |
| ② PROGRAM 2 | ⑥ CLOCK |
| ③ O.T.T.    | ⑦ TIMER |
| ④ SLEEP     |         |

### MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(↔)

10 20 30 ..... 70 80 90 〇 OFF 〇  
10 20 .....



セットする時間

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にする、または CLOCK/  
TIMERキーを押して、MULTI CONTROLつまみで  
"SLEEP"を選び、MULTI CONTROLつまみを解除  
になるまで左右に倒す。



XT-SMD (J)

### プログラムタイマー予約

2系統(PROGRAM 1, PROGRAM 2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROGRAM 1, PROGRAM 2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

テープのタイマー操作については、カセットデッキ(別売)付属の取り扱い説明書をよくお読みください。

- タイマー予約は、PROGRAM 1とPROGRAM 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROGRAM 1とPROGRAM 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

MDは、ミニディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。

MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をオン状態にしておいてください。

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。

### 1 聴く(録音する)ための準備をする

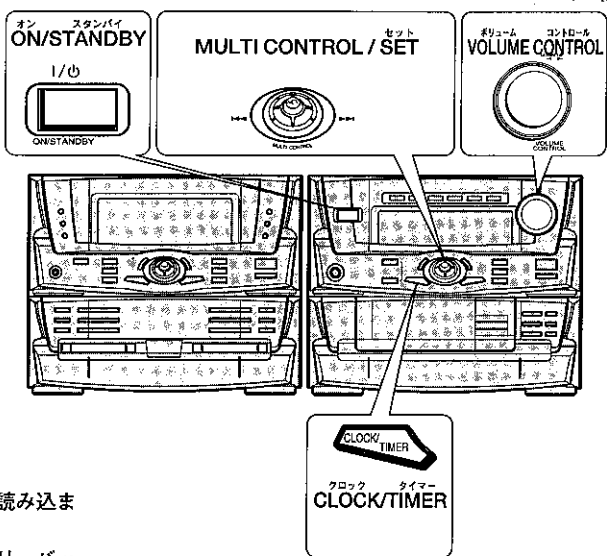
放送局を聴く	CDを聴く	外部入力ソースを聴く	MDを聴く	テープを聴く	録音する
放送局をプリセットしておく	ディスクを入れる(プログラム再生はできません。)	AUX端子、またはTAPE端子に接続した機器のタイマー設定をする	ディスクを入れる	テープをセットする。カセットデッキ(別売)	録音の準備をする。カセットデッキ(別売)

### 2 VOLUME CONTROLつまみで音量を調節する

- 録音するときは、タイマーで電源がオンになると、MUTE機能がオンになります。

### 3 ON/STANDBY(1/0)キーを押して、電源をオフ(スタンバイ状態)にする

次のページにつづく



外部入力ソースをMDで録音する場合は、あらかじめDIGITAL/ANALOGの設定をしておいてください。

XT-SMD (J)

### 4 プログラム番号を選ぶ

- CLOCK/TIMERキーを押す
- 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで表示部から"TIMER"を選ぶ
- 5秒以内にSETキーを押して確定する
- タイマー設定内容表示中にMULTI CONTROLつまみを左右に倒して、設定したいプログラム番号("PROGRAM 1"または"PROGRAM 2")を選ぶ
- タイマー設定内容表示中にSETキーを押して確定する

途中で中止するときは、もう一度CLOCK/TIMERキーを押します。

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←→)

- ①: PROGRAM 1
- ②: PROGRAM 2



### 5 オン時刻を設定する

- MULTI CONTROLつまみを上下左右に倒して、時刻を設定する
- 5秒以内にSETキーを押して確定する

●間違えたときは手順4からやり直してください。

MULTI CONTROLつまみ上下左右方向の操作(↑, ↓, ←, →)

- 上方向の操作(↑): 時刻が進む
- 下方向の操作(↓): 時刻が戻る
- 右方向の操作(→): "分"の設定
- 左方向の操作(←): "時"の設定



### 6 オフ(スタンバイ)時刻を設定する

- MULTI CONTROLつまみを上下左右に倒して、時刻を設定する
- 5秒以内にSETキーを押して確定する

●間違えたときは手順4からやり直してください。

MULTI CONTROLつまみ上下左右方向の操作(↑, ↓, ←, →)

- 上方向の操作(↑): 時刻が進む
- 下方向の操作(↓): 時刻が戻る
- 右方向の操作(→): "分"の設定
- 左方向の操作(←): "時"の設定



### 7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

- MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"PLAY"または"AI"を選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑↓)

- ① PLAY..... タイマー再生
- ② REC
- ③ AI..... だんだん音が大きくなるタイマー再生



- 5秒以内にSETキーを押して確定する

次のページにつづく

放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

- MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、"REC"を選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑↓)

- ① PLAY
- ② REC
- ③ AI



- 5秒以内にSETキーを押して確定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき (つづき)

③ MULTI CONTROLつまみを上下に倒して何を聴くかを選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

- ① TUNER..... 放送
- ② MD..... MD
- ③ CD..... CD
- ④ TAPE..... テープ
- ⑤ AUX..... AUX



④ 5秒以内に SETキーを押して確定する

⑤ 手順④で "TUNER"、"MD"、"CD"を選んだ場合、MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、最初に再生するディスク(プリセットチャンネル)を選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

"TUNER"の場合

- ① : プリセットナンバーが上がる
- ② : プリセットナンバーが下がる

"MD"の場合

- ① MD A disc 1.. SLOT AのMD 1ディスク
- ② MD A disc 2.. SLOT AのMD 2ディスク
- ③ MD A disc 3.. SLOT AのMD 3ディスク
- ④ MD B disc 1.. SLOT BのMD 1ディスク
- ⑤ MD B disc 2.. SLOT BのMD 2ディスク
- ⑥ MD B disc 3.. SLOT BのMD 3ディスク



● 放送局は必ずプリセットしておいてください。

⑥ 5秒以内に SETキーを押して確定する

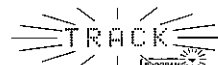
次のページにつづく

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき (つづき)

⑦ 手順⑥で "MD"を選んだ場合、MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、再生モード (PLAY MODE)を選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

- ① TRACK
- ② SEAMLESS



⑧ 5秒以内に SETキーを押して確定する

8 働かせたいプログラム番号をセットする

① CLOCK/TIMERキーを押す

② 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで表示部から "PROGRAM 1"または "PROGRAM 2"を選ぶ

③ 5秒以内に SETキーを押して確定する

④ タイマー設定内容表示中に MULTI CONTROLつまみを右に倒して、"ON"を選ぶ

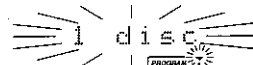
- "ON"にセットしたプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき(つづき)

⑩ 手順⑥で "MD"を選んだ場合、MULTI CONTROLつまみを上下に倒して、録音モード (REC MODE)を選ぶ

MULTI CONTROLつまみ上下方向の操作(↑)

- ① 1 disc..... MD1枚に録音する
- ② SEAMLESS



⑪ 5秒以内に SETキーを押して確定する

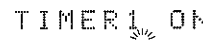
以下の表示の中から選べます。

- ① PROGRAM 1
- ② PROGRAM 2
- ③ O.T.T.
- ④ SLEEP
- ⑤ A.P.S
- ⑥ CLOCK
- ⑦ TIMER

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←→)

右方向の操作(→) : "ON"

左方向の操作(←) : "OFF"



電源がオフ(スタンバイ)になっていることを確認してください。

予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

## 予約の内容を確認する

- 1 CLOCK/TIMERキーを押す
- 2 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで表示部から"TIMER"を選ぶ
- 3 5秒以内にSETキーを押して確定する
- 4 タイマー設定内容表示中にMULTI CONTROLつまみを左右に倒して、確認したいプログラム番号("PROGRAM 1"または"PROGRAM 2")を選ぶ

- 予約内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

## タイマーを働かせたくないとき

- 1 CLOCK/TIMERキーを押す
- 2 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで表示部から"PROGRAM 1"、"PROGRAM 2"のうち点灯しているほうを選ぶ
- 3 5秒以内にSETキーを押して確定する
- 4 タイマー設定内容表示中にMULTI CONTROLつまみを左右に倒して、"OFF"を選ぶ

- "PROGRAM 1"、"PROGRAM 2"ともに消灯させます。
- 予約内容は記憶しています。

## 再び同じ内容のタイマーをセットする

- 1 CLOCK/TIMERキーを押す
- 2 5秒以内にMULTI CONTROLつまみで表示部から"PROGRAM 1"、"PROGRAM 2"を選ぶ
- 3 5秒以内にSETキーを押して確定する
- 4 タイマー設定内容表示中にMULTI CONTROLつまみを右に倒して、"ON"を選ぶ

- ディスク、MDの準備、音量の調節をしておきます。

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←→)

- 1 : PROGRAM 1を表示
- 2 : PROGRAM 2を表示



予約内容を変更したいときは

"プログラムタイマー予約"を始めからやり直してください。

MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←→)

- 1 : "ON"
- 2 : "OFF"



MULTI CONTROLつまみ左右方向の操作(←→)

- 1 : "ON"
- 2 : "OFF"



## メンテナンス

### セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

## 参考

### 結露にご注意

本機と外気の温度差が激しいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源をいれた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のようなときは特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

### スピーカーの設置とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気が発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

### 接点復活剤について

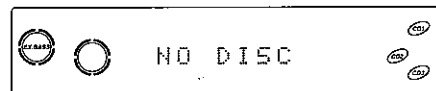
接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

### 輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するとき、下記の操作を行ってください。

1. CD1~CD3(▲)キー、SLOT A、SLOT BのMD1~MD3(▲)キーを押して、CD、MDをすべて取り出します。  
CD1~CD3、MD1~MD3間でのすべてのトレイとスロットをオープンして、ディスクが入っていないことを確認してください。
2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

#### CDプレーヤー・レーザー部



#### MDレコーダー部



- MDは最後にSLOT A、SLOT BのMD1(▲)キーを押す。


3. 数秒間待って、電源をオフ(スタンバイ)にします。

### メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	電源オフ(スタンバイ)または、電源プラグをコンセントから抜いて最低3日で消えるメモリー
時計表示	CDプレーヤー・レーザー部 電源の状態(オンまたはスタンバイ)、A.P.S 入力切換、AUXレベル ボリュームの値 バランスの設定	イコライザーのユーザーメモリー 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムの設定内容 3D SURROUNDレベル
		MDレコーダー部 DIGITAL AUX MONITOR DIGITAL/ANALOG (AUXのみ) CD TEXT COPY 5 TITLE COPY OTES&DUBBING

## ディスクの取り扱いかた

### 本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面に「」マークが入ったものとIEC規格に合格したものをご使用ください。

### ディスク取り扱い上のご注意

#### 取り扱い

再生面にふれないように持ってください。

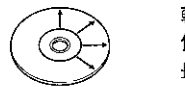


ラベル面  
再生面 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



#### お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



#### 保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

### 異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくぞったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

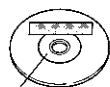
### CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

### レンタルCD、中古CDの取り扱いについて

図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり、金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。



クランピング  
エリア

### ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

#### ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



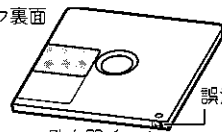
#### お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

#### 誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

#### ミニディスク裏面



誤消去防止つまみ

孔を開く  
(録音禁止) 孔をふさぐ  
(録音可能)

●録音禁止にすると、MDレコーダー表示部の「PROTECT」表示が点灯します。

置き場所について  
極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

#### ほこり対策について

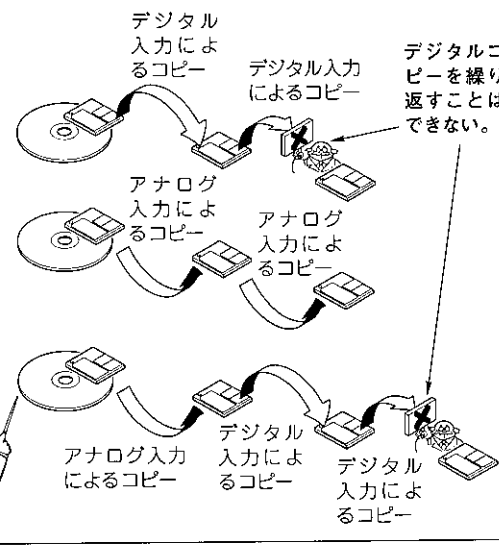
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してしてください。

### デジタル録音とSCMSについて

ミニディスクでは全てのソースに対してデジタル録音することはできません。次の場合は、デジタル録音できませんので注意してください。

コピー禁止コードが付いているとき。(シリアルコピーマネージメントシステム...SCMS)

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)について  
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会  
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
東京オペラシティタワー11階

電話 (03) 5353-0336(代表)  
FAX. (03) 5353-0337

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品

### ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

### MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

XT-5MD (L)

### マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、CDプレーヤー・レシーバー部のSETキーを押しながら、差し込み直す。

### CDプレーヤー・レシーバー/スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●音量を最小にしている。</li> <li>●MUTEがオンになっている。</li> <li>●ヘッドホンプラグが差込まれている。</li> <li>●システムの接続コードがはずれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。</li> <li>●適当な音量にする。</li> <li>●MUTEをオフにする。</li> <li>●ヘッドホンプラグを抜く。</li> <li>●システムの接続コードを確認する。</li> </ul>	→10 →20 →21 →21 →10
プロテクション "PROTECTION"の表示が点滅し、音が出ない。	●スピーカーコードがショートしている。	●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。	→9
ヘッドホンから音がでない。	●差し込みが不完全。	●正しく差し込む。	→21
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●バランスの設定が片寄っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。</li> <li>●左右のバランスを調節する。</li> </ul>	→10 →90
突然、電源が切れた。	オートパワーオフ ●A.P.S.機能が働いた。	オートパワーオフ ●A.P.S.機能を解除する。	→21
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停電があった。</li> <li>●電源プラグを一度抜いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> </ul>	→99
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻を合わせていない。停電があった。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。</li> <li>●タイマーの実行指定をしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。</li> <li>●タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。</li> <li>●"プログラムタイマー予約"をみて"1"または"2"表示を点灯させる。</li> </ul>	→99 →97 →96
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続していない。</li> <li>●放送バンドが合っていない。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続する。</li> <li>●放送バンドを合わせる。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合わせる。</li> </ul>	→9 →32
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>●電気器具の影響によるもの。</li> <li>●テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>●電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>●テレビから離す。</li> </ul>	

XT-5MD (L)

### CDプレーヤー・レシーバー/スピーカー部

症状	原因	処置	参照
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>●長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信できる周波数の放送局をプリセットする。</li> <li>●もう一度プリセットする。</li> </ul>	→33
突然、デモンストレーションが始まった。	●電源プラグを抜いた、あるいは停電があった。	●故障ではありません。DISPLAY/DEMOキーを押して、解除してください。	→31
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>●ディスクがずれている。</li> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> <li>●光学レンズに露がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>●ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> <li>●"結露にご注意"を参照し露を蒸発させる。</li> </ul>	→22 →102 →101
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが入っていない。</li> <li>●再生状態になっていない。</li> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクを入れる。</li> <li>●▶/IIキーを押す。</li> <li>●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> </ul>	→22 →102
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> <li>●本機に震動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> <li>●震動のない場所に設置する。</li> </ul>	→102

### MDレコーダー部(MD規格等の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	●255曲以上(トラック番号255以上)は録音できません。(トラック番号255未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイの録音可能時間表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。</li> <li>●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。</li> </ul>

## MDレコーダー部(MD規格等の症状)

症状	原因
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
" <sup>リーディング</sup> READING"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル長時間録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

## MDレコーダー部(その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ディスクが入っている。	●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。	→[9] →[26]
録音ができない。	●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●AUX録音時の録音レベルが低い。 ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切替がMDになっている。 ●録音時間が短かすぎる。	●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り換える。 ●録音はできません。 ●入力レベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●入力切替を録音したいソースにする。 ●一秒以上のトラックを録音する。	→[102] →[103] →[37]
音がひずむ。	●アナログ録音時に録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。	●AUX機器の入力レベルを調節する。 ●再度録音をする。	→[90]
雑音大きい。	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	
録音、再生が途中で止まる。	●ディスクを挿入口のところに放置している。 ●録音、再生中にディスクを入れようとした。 ●極端に残り時間の短いディスク、再生時間の短いディスクを入れた。	●ディスクを取り出す。 ●ディスクを取り出して、初めからやり直す。 ●ディスクをかえる。	

## MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
<sup>ノーディスク</sup> NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	→[26]
<sup>オン</sup> SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●録音できません。	→[103]
<sup>ディスクフル</sup> DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●255曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには255曲以上録音できません。	
<sup>タイトルフル</sup> TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→[81]
<sup>ブランクディスク</sup> BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
<sup>リーディング</sup> READING	●TOC *1情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
<sup>ディスクライティング</sup> DISC WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
<sup>ディスクエラー</sup> DISC ERROR	●UTOOC *2の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→[77]
<sup>キャンセル エディット</sup> CANNOT EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
<sup>プロテクト</sup> PROTECTED!	●ミニディスクが録音禁止状態(PROTECT)になっている。	●録音可能状態(PROTECT)を解除にする。	→[102]
<sup>プレイ専用</sup> PLAY ONLY!	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクを入れる。	
<sup>ノート オーディオ</sup> NOT AUDIO	●オーディオ用でないデータが記録されている。	●ディスクを取り換える、または他の曲を選ぶ。	
<sup>デジタルロック アンロック</sup> DIN UNLOCK	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルが外れているか、完全に接続されていない。	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。	→[9]
<sup>テキスト オン</sup> CD-TEXT ON!	●CD TEXT COPY機能がオンでOTE録音中に、タイトル入力しようとしている。	●CD TEXT COPY機能をオフにする。	→[41]
<sup>メカ イニシャル</sup> MECHA INIT.	●MDレコーダーのメカニズム部の初期化中であることを示します。	●故障ではありません。	
<sup>テキスト</sup> NO CD TEXT	●CDがCD-TEXTのディスクではないので、テキストコピーできません。	●CD TEXT COPY機能をオフにする。	→[41]
<sup>テキスト プロテクト</sup> TEXT PROTECT	●CD-TEXTディスクのテキスト部分に著作権があるので、テキストコピーできません。	●CD TEXT COPY機能をオフにする。	→[41]

\*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

\*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。<sup>ユートック</sup>このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

## リモコン

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池切れ。</li> <li>● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>● 再生しようとする音源のCDまたはMDが入っていない。</li> <li>● 録音中のMDで再生しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい電池に入れ換える。</li> <li>● 操作範囲内で操作する。</li> <li>● CDまたはMDを入れる。</li> <li>● 録音が終わるまで待つ。</li> </ul>	→ 18

## CDプレーヤー・レシーバー部 (RD-MJ7)

## [アンプ部]

実用最大出力	70W+70W (EIAJ 6Ω)
全高調波歪率	0.05% (1 kHz、25W、6Ω)
入力感度/インピーダンス	
AUX、TAPE	200mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス	
TAPE	200mV/100kΩ
オムニプリアウト	2.0V/220Ω
スーパーウーファープリアウト	2.0V/620Ω

## [CDプレーヤー部]

D/Aコンバージョン	1ビット
周波数特性 (EIAJ)	20Hz~20kHz、±1dB
ダイナミックレンジ (EIAJ)	90dB以上
チャンネルセパレーション (1kHz)	90dB以上
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
デジタル出力	
COAXIAL (DM-WMJ7と接続)	0.5Vp-p/75Ω

## [FMチューナー部]

受信周波数範囲 ..... 76MHz~108MHz

## [AMチューナー部]

受信周波数範囲 ..... 531kHz~1,629kHz

## [電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	120W
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 217mm
	奥行 358mm
質量 (重量)	7.5kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

● 極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

## MDレコーダー部 (DM-WMJ7)

## 読み取り方式

.....非接触光学式読み取り(半導体レーザー)

記録方式 .....磁界変調オーバーライト方式

## 音声圧縮方式

A.T.R.A.C. (Adaptive TTransform Acoustic Coding)

D/Aコンバージョン .....1ビット

A/Dコンバーター ..... $\Delta\Sigma$ 方式

サンプリング周波数 .....44.1 kHz

周波数特性(EIAJ) ... 20 Hz~20 kHz,  $\pm 1$  dB (再生時)

ダイナミックレンジ(EIAJ) .....90dB以上(再生時)

チャンネルセパレーション(1 kHz) ..86dB以上(再生時)

ワウ・フラッター(EIAJ) .....測定限界以下

## デジタル入力

## OPTICAL AUX

.....-21dBm~-15dBm(発光長660nm)

COAXIAL (RD-MJ7と接続) .....0.5Vp-p/75 $\Omega$

最大外形寸法 .....幅 270mm

高さ 217mm

奥行 354mm

質量(重量) .....4.8kg(正味)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

## スピーカー部 (LS-J7)

エンクロージャー .....バスレフ防磁型

## スピーカー構成

## メインスピーカー

ウーファー .....160mm コーン型

ツイーター .....65mm コーン型

スーパーツイーター .....25mm ピエゾドーム型

インピーダンス .....6 $\Omega$

周波数帯域 .....45Hz~20,000Hz

最大入力 .....80W

最大外形寸法 .....幅 200mm

高さ 400mm

奥行 287mm

質量(重量) .....5.0kg(正味)

## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

## 保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みした後、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

## 修理をご依頼になるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

## 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

## 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## お買い上げ店名

電話 ( )